

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(6) a. 1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給の記載より再掲】</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約60分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料1.13.8)</p> <p>【比較のため1.13.2.3(5) a. 1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給の記載より再掲】</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 格納容器スプレイ中の再循環運転不能時において、ほう酸タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、1次系純水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>また、1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、1次系純水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>①発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ化学消防自動車の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び初期消火要員（消防車隊）5名にて作業を実施し、作業開始を判断してから耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始まで65分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。化学消防自動車のホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>構内のアクセスルートの状況を考慮して耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確保する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。 (添付資料1.13.3)</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1) a. (c)より引用】</p> <p>(c) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できない場合）</p>	<p>(iii)操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから1次系純水タンクから使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始まで55分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 (添付資料1.13.13)</p> <p>ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）</p> <p>(i) 手順着手の判断基準 原子炉格納容器内へのスプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、ほう酸タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>また、1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載表現の相違 【大飯】運用の相違（相違理由③） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由③） 【柏崎】設備名称及び記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 ・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑦） 【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【大飯】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3(5) a. 1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給の記載より再掲】</p> <p>(b) 操作手順 1.13.2.2(6) b. と同様。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>(a) 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p>	<p>(ii) 操作手順 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）手順については、1.13.2.2(1) c. (a) i. 「1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから1次系純水タンクから使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始まで55分以内で可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 （添付資料 1.13.13）</p>	<p>【大阪】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>
<p>【比較のため1.13.2.2(6) b. の記載より再掲】</p> <p>b. 1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給</p> <p>重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は、炉心注水により炉心冷却を実施するが、炉心注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要な場合、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへ補給する手順を整備する。</p>	<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在 1.13.2.2(1) a. (b)より引用】</p> <p>(b) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できる場合）</p>	<p>(b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）</p>	<p>【大阪】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、「c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給」にて記載している。</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由③） 【柏崎】設備名称及び記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 ・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(6) b. 1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給の記載より再掲】</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続及び再循環運転による炉心注水不能時において、ほう酸タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できたが、加圧器逃がしタンク経由の補給ができない場合。</p> <p>また、1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できたが、加圧器逃がしタンク経由の補給ができない場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.20図に、タイムチャートを第1.13.21図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給準備を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室及び現場で1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給のための系統構成を実施する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>①. 操作手順</p> <p>耐震性防火水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-24図に、タイムチャートを第1.13-25図に示す。</p> <p>①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、化学消防自動車による耐震性防火水槽を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、初期消火要員（消防車隊）に化学消防自動車による淡水の供給の準備開始を指示する。</p> <p>②発電課長は、運転員（中央制御室）に耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③運転員（中央制御室）は化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④初期消火要員（消防車隊）は、指示を受けた耐震性防火水槽へ化学消防自動車を移動及び設置し復水貯蔵タンクまでホースを敷設する。</p> <p>⑤初期消火要員（消防車隊）は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホースの敷設及び固縛を実施する。</p> <p>⑥初期消火要員（消防車隊）は、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p>	<p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び蓄圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、ほう酸タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できたが、使用済燃料ピット浄化ライン経由の補給ができない場合。</p> <p>また、1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できたが、使用済燃料ピット浄化ライン経由の補給ができない場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1次系純水タンクを水源とした加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。また、概要図を第1.13.12図に、タイムチャートを第1.13.13図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、中央制御室及び現場で1次系純水タンクから加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施し、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>【大阪】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 ・対応手段選択フローの相違に伴う相違。</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由③）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(6) b. 1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給の記載より再掲】</p> <p>③ 当直課長は、運転員等に1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給開始を指示する。なお、補給開始は、1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給中の場合、ほう酸タンクの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>④ 運転員等は、現場で1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給を実施する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピット水位等により、燃料取替用水ピットへの補給が実施されていることを確認する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約70分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料1.13.8)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑦ 発電課長は、発電所対策本部に耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑧ 発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p> <p>⑨ 初期消火要員（消防車隊）は、現場にて化学消防自動車を起動し、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑩ 運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑪ 発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ化学消防自動車の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び初期消火要員（消防車隊）5名にて作業を実施し、作業開始を判断してから耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始まで65分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。化学消防自動車のホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>構内のアクセスルートの状況を考慮して耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確保する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。 (添付資料1.13.3)</p>	<p>③ 発電課長（当直）は、運転員に1次系純水タンクから加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次系純水タンクから加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を開始し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で燃料取替用水ピットへの補給が開始されたことを燃料取替用水ピット水位により確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>(iii) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから1次系純水タンクから加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始まで35分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 (添付資料1.13.14)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大阪】運用の相違（相違理由③） 【大阪】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順書後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。</p> <p>【女川】記載表現の相違（大阪と同様） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大阪】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【女川】記載表現の相違（大阪と同様） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【大阪】運用の相違（相違理由③）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3(5) b. 1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給の記載より再掲】</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>格納容器スプレイ中の再循環運転不能時において、ほう酸タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できたが、加圧器逃がシタンク経由の補給ができない場合。</p> <p>また、1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できたが、加圧器逃がシタンク経由の補給ができない場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>1.13.2.2(6) b. と同様。</p>	<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1) a.、(c)より引用】</p> <p>(c) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できない場合）</p>	<p>ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉格納容器内へのスプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、ほう酸タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できたが、使用済燃料ピット浄化ライン経由の補給ができない場合。</p> <p>また、1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、1次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できたが、使用済燃料ピット浄化ライン経由の補給ができない場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）手順については、1.13.2.2(1) e. (b) i. 「1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから1次系純水タンクから加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始まで35分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p>(添付資料 1.13.14)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【柏崎】設備名称及び記載表現の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <p>・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(7)の記載より再掲】</p> <p>(7) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は、炉心注水により炉心冷却を実施するが、炉心注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要な場合、No. 3淡水タンクから使用済燃料ピット經由によりほう酸水を燃料取替用水ピットへ補給する手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続及び再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、No. 3淡水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>また、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、No. 3淡水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由したほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.22図に、タイムチャートを第1.13.23図に示す。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. の記載より再掲】</p> <p>b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>復水貯蔵タンクを水源とした原子炉压力容器への注水等の対応を実施している場合に、復水貯蔵タンクへの補給手段がないと復水貯蔵タンク水位が低下し、水源が枯渇するため、化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給を実施する。</p> <p>化学消防自動車の水源は、耐震性防火水槽を使用する。</p> <p>(a) 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1) a. (b)より引用】</p> <p>(b) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できる場合）</p> <p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>耐震性防火水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要は以下のとおり。</p> <p>概要図を第1.13-24図に、タイムチャートを第1.13-25図に示す。</p>	<p>d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水等の対応を実施している場合に、燃料取替用水ピットへの補給手段がないと燃料取替用水ピット水位が低下し、水源が枯渇するため、2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由したほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>i. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び蓄圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、2次系純水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>また、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、2次系純水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>2次系純水タンクを水源とした使用済燃料ピットを経由したほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.14図に、タイムチャートを第1.13.15図に示す。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備名称及び記載表現の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 ・対応手段選択フローの相違に伴う相違。</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(7) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等にNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピット経由によりほう酸水を燃料取替用水ピットへ補給準備を指示する。</p> <p>② 運転員等は、現場でNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピット経由による燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等にNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピット経由による燃料取替用水ピットへの補給開始を指示する。なお、補給開始は、1次系純水タンクからの補給中の場合、1次系純水タンクの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>④ 運転員等は、現場でNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を開始する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で使用済燃料ピット水位及び燃料取替用水ピット水位により、燃料取替用水ピットへの補給に異常がないことを確認する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、化学消防自動車による耐震性防火水槽を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、初期消火要員（消防車隊）に化学消防自動車による淡水の供給の準備開始を指示する。</p> <p>②発電課長は、運転員（中央制御室）に耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③運転員（中央制御室）は化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④初期消火要員（消防車隊）は、指示を受けた耐震性防火水槽へ化学消防自動車を移動及び設置し復水貯蔵タンクまでホースを敷設する。</p> <p>⑤初期消火要員（消防車隊）は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホースの敷設及び固縛を実施する。</p> <p>⑥初期消火要員（消防車隊）は、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑦発電課長は、発電所対策本部に耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑧発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p> <p>⑨初期消火要員（消防車隊）は、現場にて化学消防自動車を起動し、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑩運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑪発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ化学消防自動車の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p>	<p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由したほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、中央制御室及び現場で2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施し、2次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（現場）Bは、現場で2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を開始し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で燃料取替用水ピットへの補給が開始されたことを使用済燃料ピット水位及び燃料取替用水ピット水位により確認し、発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順着事後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。</p> <p>【女川】記載表現の相違（大飯と同様）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(7) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約50分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料1.13.8)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び初期消火要員（消防車隊）5名にて作業を実施し、作業開始を判断してから耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始まで65分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。化学消防自動車のホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。 構内のアクセスルートの状況を考慮して耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確保する。 また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。 (添付資料1.13.3)</p>	<p>(iii) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始まで65分以内で可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 (添付資料1.13.15)</p>	<p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>
<p>【比較のため1.13.2.3(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準 格納容器スプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、No. 3淡水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>また、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、No. 3淡水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p>	<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1) a. (c)より引用】</p> <p>(c) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できない場合）</p>	<p>ii. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）</p> <p>(i) 手順着手の判断基準 原子炉格納容器内へのスプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、2次系純水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。 また、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、2次系純水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p>	<p>【柏崎】設備名称及び記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 ・泊は、原子炉格納容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由㉔）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>b. 操作手順 1.13.2.2(7)と同様。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. の記載より再掲】</p> <p>b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>復水貯蔵タンクを水源とした原子炉圧力容器への注水等の対応を実施している場合に、復水貯蔵タンクへの補給手段がないと復水貯蔵タンク水位が低下し、水源が枯渇するため、化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給を実施する。</p> <p>化学消防自動車の水源は、耐震性防火水槽を使用する。</p> <p>(a) 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1) a. (b)より引用】</p> <p>(b) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できる場合）</p>	<p>(ii) 操作手順</p> <p>2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合）手順については、1.13.2.2(1) d. (a) i. 「2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始まで65分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p>（添付資料1.13.15）</p> <p>e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水等の対応を実施している場合に、燃料取替用水ピットへの補給手段がないと燃料取替用水ピット水位が低下し、水源が枯渇するため、1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによるほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>(a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）</p>	<p>【大阪】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備名称及び記載表現の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <p>・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続及び再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.16図に、タイムチャートを第1.13.17図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に1次系純水タンク水及びほう酸タンク水の混合によるほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室及び現場で1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給ラインの系統構成を行い、1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプを起動し、1次系純水タンク水及びほう酸タンク水の混合によるほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>耐震性防火水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要は以下のとおり。</p> <p>概要図を第1.13-24図に、タイムチャートを第1.13-25図に示す。</p> <p>①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、化学消防自動車による耐震性防火水槽を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、初期消火要員（消防車隊）に化学消防自動車による淡水の供給の準備開始を指示する。</p> <p>②発電課長は、運転員（中央制御室）に耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③運転員（中央制御室）は化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④初期消火要員（消防車隊）は、指示を受けた耐震性防火水槽へ化学消防自動車を移動及び設置し復水貯蔵タンクまでホースを敷設する。</p> <p>⑤初期消火要員（消防車隊）は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホースの敷設及び固縛を実施する。</p> <p>⑥初期消火要員（消防車隊）は、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑦発電課長は、発電所対策本部に耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑧発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p>	<p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び蓄圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした燃料取替用水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。</p> <p>概要図を第1.13.16図に、タイムチャートを第1.13.17図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによるほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、中央制御室及び現場で1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給ラインの系統構成を行い、1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員（中央制御室）に1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給開始を指示する。</p>	<p>【大阪】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 ・対応手段選択フローの相違に伴う相違。</p> <p>【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、補給開始手順を操作手順④に記載している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピット水位等により、燃料取替用水ピットへの補給が実施されていることを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料1.13.8)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑨初期消火要員(消防車隊)は、現場にて化学消防自動車を起動し、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑩運転員(中央制御室)は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑪発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるように、発電所対策本部へ化学消防自動車の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名及び初期消火要員(消防車隊)5名にて作業を実施し、作業開始を判断してから耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始まで65分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。化学消防自動車のホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>構内のアクセスルートの状況を考慮して耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確保する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。 (添付資料1.13.3)</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書(6号及び7号炉完本)令和2年5月現在1.13.2.2(1) a. (c)より引用】</p> <p>(c) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給(あらかじめ敷設してあるホースが使用できない場合)</p>	<p>④ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給を開始し、発電課長(当直)へ報告する。</p> <p>⑤ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で燃料取替用水ピットへの補給が開始されたことを燃料取替用水ピット水位により確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>(iii) 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名及び運転員(現場)1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給開始まで30分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 (添付資料1.13.12)</p> <p>ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</p>	<p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備名称及び記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 ・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>格納容器スプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>【比較のため1.13.2.3(4)の記載より再掲】</p> <p>b. 操作手順</p> <p>1.13.2.2(5)と同様。</p>		<p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉格納容器内へのスプレイ中に燃料取替用水ビットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）手順については、1.13.2.2(1)e.(a)i.「1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給開始まで30分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p>(添付資料 1.13.12)</p>	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑦）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7)の記載より再掲】</p> <p>(7) 海水を用いた復水ピットへの補給 重大事故等の発生時において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合、海水を水源とした送水車による復水ピットに補給する手順を整備する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 重大事故等が発生した場合において、淡水貯水槽（No. 1）、淡水貯水槽（No. 2）、淡水タンク、海又は耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへ水を補給する手順を整備する。</p> <p>a. 大容量送水ポンプ（タイプⅠ）による復水貯蔵タンクへの補給 復水貯蔵タンクを水源とした原子炉圧力容器への注水等の対応を実施している場合に、復水貯蔵タンクへの補給手段がないと復水貯蔵タンク水位が低下し、水源が枯渇するため、大容量送水ポンプ（タイプⅠ）による復水貯蔵タンクへの補給を実施する。 大容量送水ポンプ（タイプⅠ）の水源は、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）を優先して使用する。淡水による復水貯蔵タンクへの補給が枯渇等により継続できない場合は、海水による淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）への補給に切り替えるが、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）を経由して復水貯蔵タンクへ補給することにより、復水貯蔵タンクへの補給を継続しながら淡水から海水への切り替えが可能である。 なお、淡水貯水槽への海水補給は、「1.13.2.2(2)a. 大容量送水ポンプ（タイプⅡ）による淡水貯水槽への補給」の手順にて実施する。</p>	<p>(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 重大事故等が発生した場合において、原水槽、代替給水ピット、海又は2次系純水タンクから補助給水ピットへ水を補給する手順を整備する。</p> <p>a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 補助給水ピットを水源とした蒸気発生器への注水等の対応を実施している場合に、補助給水ピットへの補給手段がないと補助給水ピット水位が低下し、水源が枯渇するため、可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施する。 可搬型大型送水ポンプ車の水源は、原水槽又は代替給水ピットを優先して使用する。淡水による補助給水ピットへの補給が枯渇等により継続できない場合は、海水による補助給水ピットへの補給に切り替えるが、</p> <p>淡水による補給開始後、引き続き次の水源からの補給準備を開始することで、水源が枯渇しないように淡水から海水への切替えが可能である。 なお、原水槽への淡水補給は、「1.13.2.2(3)a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給」の手順にて実施する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】設備の相違（相違理由②、④） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 ・泊は、防火水槽を火災のみに使用する方針としている。（大飯と同様）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②、④）</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】記載表現の相違（柏崎と同様） 【女川】設備の相違（相違理由②、④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの通常水位低警報が発信し、さらにNo. 3淡水タンクの水水位低警報等により復水ピットへの補給ができない場合。 また、No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を開始した場合。</p> <p>b. 操作手順 海水を用いた復水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.9図に、タイムチャートを第1.13.10図、ホース敷設ルートを第1.13.11図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。 ② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。 ③ 緊急安全対策要員は、現場で送水車、可搬型ホース等を準備し、所定の位置に配置し敷設するとともに、可搬型ホース先端にストレーナを付け、水面より低く着底しない位置に設置する。 ④ 緊急安全対策要員は、現場で復水ピット入口扉まで可搬型ホースを敷設し、補給準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a)の記載より再掲】</p> <p>(a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準 復水貯蔵タンクへ補給が必要な場合で、淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給が可能な場合。</p> <p>ii. 操作手順 淡水貯水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要（原子炉建屋東側に注水用ヘッダを設置する場合）は以下のとおり（原子炉建屋北側に注水用ヘッダを設置する場合の手順も同様）。概要図を第1.13-13図に、タイムチャートを第1.13-14図及び第1.13-15図に示す。 ①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水の供給の準備開始を指示する。 ②発電課長は、運転員（中央制御室）に淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。 ③運転員（中央制御室）は大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。 ④重大事故等対応要員は、指示を受けた淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）へ大容量送水ポンプ（タイプI）を移動及び設置する。 ⑤重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属品を所定の場所に設置する。 ⑥重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）にホースを接続し、ミニマムフローラインを構成する。 ⑦重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属水中ポンプにホースを接続し、付属水中ポンプを取水箇所へ設置する。 ⑧重大事故等対応要員は、ホース延長回収車で注水用ヘッダを運搬し、原子炉建屋付近に設置する。 ⑨重大事故等対応要員は、ホース延長回収車を使用し大容量送水ポンプ（タイプI）から注水用ヘッダまでのホースを敷設する。</p>	<p>(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合に、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 原水槽を水源とした補助給水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.18図に、タイムチャートを第1.13.19図に、ホース敷設ルートを第1.13.40図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び災害対策要員に原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給の準備開始を指示する。 ② 災害対策要員は、現場の資機材保管場所へ移動し、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースを所定の位置に移動する。 ③ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを敷設し、非常用炉心冷却系の配管と接続する。</p>	<p>【大阪】設備の相違（相違理由④） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、燃料取替用水ピットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。 【大阪】運用の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由④） 【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【女川】記載方針の相違 ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由④） 【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【大阪】設備の相違（相違理由④） 【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【大阪】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑩） 【大阪】記載表現の相違 ・泊は、操作手順⑥にて補給準備完了を報告している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑤ 当直課長は、復水ピットへの補給手段として淡水源が使用不可能なことを確認し、発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。なお、補給開始は、No. 2淡水タンクからの補給中の場合、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信し、さらに復水ピットの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>⑥ 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>⑦ 緊急安全対策要員は、現場で送水車を起動し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始する。</p> <p>⑧ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び復水ピット水位を確認し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>⑨ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び供給状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の給油を実施する（燃料を給油しない場合、送水車は約5.4時間の運転が可能。）。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑩a 復水貯蔵タンク接続口へ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク接続口までホースを敷設、接続し、復水貯蔵タンク外部注水入口弁を全開する。</p> <p>⑩b 復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホース接続用継手の設置並びにホースの敷設及び接続を実施する。</p> <p>⑪重大事故等対応要員は、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑫発電課長は、発電所対策本部に淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑬発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p> <p>⑭重大事故等対応要員は、現場にて大容量送水ポンプ（タイプI）の起動及び復水貯蔵タンク補給弁の開操作を実施し、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑮運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑯発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ大容量送水ポンプ（タイプI）の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p>	<p>④ 災害対策要員は、現場でホース延長・回収車（送水車用）にて可搬型ホースを敷設する。</p> <p>⑤ 災害対策要員は、現場で原水槽マンホール近傍に可搬型大型送水ポンプ車を設置し、可搬型大型送水ポンプ車の吸管を原水槽マンホールへ挿入する。</p> <p>⑥ 災害対策要員は、原水槽から燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑦ 運転員（現場）Bは、現場で補助給水ピットへの補給のための系統構成を実施し、原水槽から燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑧ 発電課長（当直）は、運転員及び災害対策要員に原水槽から補助給水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>⑨ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車を起動し、原水槽から補助給水ピットへの補給を開始するとともに、可搬型大型送水ポンプ車の運転状態に異常がないことを確認し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑩ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で補助給水ピットへの補給が開始されたことを補助給水ピット水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑪ 発電課長（当直）は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給を発電所対策本部長に依頼する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順書後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は可搬型大型送水ポンプ車起動後の運転状態の確認手順を記載している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊の「(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給」の手順にて、比較している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は現場にて1ユニット当たり緊急安全対策要員5名により作業を実施し、所要時間は約3.4時間と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>また、復水ピットへの補給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>海水取水時には、可搬型ホース先端を水面より低く着底しない位置に設置することにより異物の混入を低減する。さらに可搬型ホース先端にストレーナを付けることにより、メッシュより大きな異物の混入を防止する。また、ストレーナのメッシュより小さな異物は通過するが、復水ピットへの補給に影響はない。</p> <p>(添付資料1.13.4、1.13.5)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、復水貯蔵タンク接続口へ接続時及び復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続時は運転員(中央制御室)1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施し、作業開始を判断してから淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへの補給開始まで380分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ(タイプI)からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。構内のアクセスルートの状況を考慮して淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.3)</p>	<p>⑫ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車の運転状態及び送水状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の補給を実施する。(燃料を補給しない場合、可搬型大型送水ポンプ車は約5.5時間の運転が可能。)</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員(現場)1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽から補助給水ピットへの補給開始まで200分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。速やかに作業を開始できるよう、使用する資機材は可搬型大型送水ポンプ車の保管場所及び作業場所近傍に配備する。可搬型大型送水ポンプ車からの可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。補助給水ピットへの補給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.7)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑥)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型大型送水ポンプ車による補給となるため、可搬型大型送水ポンプ車の燃料補給について記載している。 ・可搬型大型送水ポンプ車の燃料補給については、大飯の「海水を用いた復水ピットへの補給」の操作手順記載箇所にて比較している。 <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。(大飯と同様) <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、すべて屋外作業であるため、資機材の配備について記載していない。 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯の送水車を使用した手順と同様の記載としている。 <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の「(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給」の手順にて、比較している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの通常水位低警報が発信し、さらにNo. 3淡水タンクの水水位低警報等により復水ピットへの補給ができない場合。 また、No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を開始した場合。</p> <p>b. 操作手順 海水を用いた復水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.9図に、タイムチャートを第1.13.10図、ホース敷設ルートを第1.13.11図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。 ② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。 ③ 緊急安全対策要員は、現場で送水車、可搬型ホース等を準備し、所定の位置に配置し敷設するとともに、可搬型ホース先端にストレーナを付け、水面より低く着底しない位置に設置する。 ④ 緊急安全対策要員は、現場で復水ピット入口扉まで可搬型ホースを敷設し、補給準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a)の記載より再掲】</p> <p>(a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準 復水貯蔵タンクへ補給が必要な場合で、淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給が可能な場合。</p> <p>ii. 操作手順 淡水貯水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要（原子炉建屋東側に注水用ヘッダを設置する場合）は以下のとおり（原子炉建屋北側に注水用ヘッダを設置する場合の手順も同様）。概要図を第1.13-13図に、タイムチャートを第1.13-14図及び第1.13-15図に示す。 ①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水の供給の準備開始を指示する。 ②発電課長は、運転員（中央制御室）に淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。 ③運転員（中央制御室）は大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。 ④重大事故等対応要員は、指示を受けた淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）へ大容量送水ポンプ（タイプI）を移動及び設置する。 ⑤重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属品を所定の場所に設置する。 ⑥重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）にホースを接続し、ミニマムフローラインを構成する。 ⑦重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属水中ポンプにホースを接続し、付属水中ポンプを取水箇所へ設置する。 ⑧重大事故等対応要員は、ホース延長回収車で注水用ヘッダを運搬し、原子炉建屋付近に設置する。 ⑨重大事故等対応要員は、ホース延長回収車を使用し大容量送水ポンプ（タイプI）から注水用ヘッダまでのホースを敷設する。</p>	<p>(b) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピットの水水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合に、原水槽から補助給水ピットへの補給を開始した場合、又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 代替給水ピットを水源とした補助給水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.20図に、タイムチャートを第1.13.21図に、ホース敷設ルート図を第1.13.41図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び災害対策要員に代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給の準備開始を指示する。 ② 災害対策要員は、現場の資機材保管場所へ移動し、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースを所定の位置に移動する。 ③ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを敷設し、非常用炉心冷却系の配管と接続する。 ④ 災害対策要員は、現場でホース延長・回収車（送水車用）にて可搬型ホースを敷設する。 ⑤ 災害対策要員は、現場で代替給水ピット近傍に可搬型大型送水ポンプ車を設置し、可搬型大型送水ポンプ車の吸管を代替給水ピットへ挿入する。 ⑥ 災害対策要員は、代替給水ピットから燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>【大阪】設備の相違（相違理由④） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、燃料取替用水ピットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。 【大阪】運用の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由④） 【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【女川】記載方針の相違 ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由④） 【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【大阪】設備の相違（相違理由④） 【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【大阪】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑩） 【大阪】記載表現の相違 ・泊は、操作手順⑥にて補給準備完了を報告している。</p> <p>【大阪】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑤ 当直課長は、復水ビットへの補給手段として淡水源が使用不可能なことを確認し、発電所対策本部長へ海水を用いた復水ビットへの補給開始を指示する。なお、補給開始は、No. 2淡水タンクからの補給中の場合、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信し、さらに復水ビットの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>⑥ 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ビットへの補給開始を指示する。</p> <p>⑦ 緊急安全対策要員は、現場で送水車を起動し、海水を用いた復水ビットへの補給を開始する。</p> <p>⑧ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び復水ビット水位を確認し、海水を用いた復水ビットへの補給を開始したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>⑨ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び供給状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の給油を実施する（燃料を給油しない場合、送水車は約5.4時間の運転が可能。）。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑩a 復水貯蔵タンク接続口へ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク接続口までホースを敷設、接続し、復水貯蔵タンク外部注水入口弁を全開する。</p> <p>⑩b 復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホース接続用継手の設置並びにホースの敷設及び接続を実施する。</p> <p>⑪重大事故等対応要員は、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑫発電課長は、発電所対策本部に淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑬発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p> <p>⑭重大事故等対応要員は、現場にて大容量送水ポンプ（タイプI）の起動及び復水貯蔵タンク補給弁の開操作を実施し、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑮運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑯発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ大容量送水ポンプ（タイプI）の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p>	<p>⑦ 運転員（現場）Bは、現場で補助給水ビットへの補給のための系統構成を実施し、代替給水ビットから補助給水ビットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑧ 発電課長（当直）は、運転員及び災害対策要員に代替給水ビットから補助給水ビットへの補給開始を指示する。</p> <p>⑨ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車を起動し、代替給水ビットから補助給水ビットへの補給を開始するとともに、可搬型大型送水ポンプ車の運転状態に異常がないことを確認し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑩ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で補助給水ビットへの補給が開始されたことを補助給水ビット水位により確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑪ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車の運転状態及び送水状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の補給を実施する。（燃料を補給しない場合、可搬型大型送水ポンプ車は約5.5時間の運転が可能。）</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順書手後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は可搬型大型送水ポンプ車起動後の運転状態の確認手順を記載している。（大飯と同様） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊の「(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給」の手順にて、比較している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥） ・泊は、可搬型大型送水ポンプ車による補給となるため、可搬型大型送水ポンプ車の燃料補給について記載している。 ・可搬型大型送水ポンプ車の燃料補給については、大飯の「海水を用いた復水ビットへの補給」の操作手順記載箇所にて比較している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は現場にて1ユニット当たり緊急安全対策要員5名により作業を実施し、所要時間は約3.4時間と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>また、復水ビットへの補給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>海水取水時には、可搬型ホース先端を水面より低く着底しない位置に設置することにより異物の混入を低減する。さらに可搬型ホース先端にストレーナを付けることにより、メッシュより大きな異物の混入を防止する。また、ストレーナのメッシュより小さな異物は通過するが、復水ビットへの補給に影響はない。</p> <p>(添付資料1.13.4、1.13.5)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、復水貯蔵タンク接続口へ接続時及び復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続時は運転員(中央制御室)1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施し、作業開始を判断してから淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへの補給開始まで380分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ(タイプI)からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。構内のアクセスルートの状況を考慮して淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.3)</p>	<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員(現場)1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ビットから補助給水ビットへの補給開始まで145分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。速やかに作業が開始できるように、使用する資機材は可搬型大型送水ポンプ車の保管場所及び作業場所近傍に配備する。可搬型大型送水ポンプ車からの可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。補助給水ビットへの供給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.8)</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。(大飯と同様) <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、すべて屋外作業であるため、資機材の配備について記載していない。 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯の送水車を使用した手順と同様の記載としている。 <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の「(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給」の手順にて、比較している。
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)中に復水ビットの通常水位低警報が発信し、さらにNo.3淡水タンクの水水位低警報等により復水ビットへの補給ができない場合。</p> <p>また、No.3淡水タンクから復水ビットへの補給を開始した場合。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) の記載より再掲】</p> <p>(a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>復水貯蔵タンクへ補給が必要な場合で、淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による復水貯蔵タンクへの補給が可能な場合。</p>	<p>(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)中に補助給水ビットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合に、代替給水ビットから補助給水ビットへの補給を開始した場合、又は代替給水ビットが使用できない場合。</p>	<p>【女川】記載内容の相違</p> <p>炬型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、燃料取替用水ビットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。 <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑨)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>b. 操作手順 海水を用いた復水ビットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.9図に、タイムチャートを第1.13.10図、ホース敷設ルートを第1.13.11図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ海水を用いた復水ビットへの補給準備を指示する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ビットへの補給準備を指示する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場で送水車、可搬型ホース等を準備し、所定の位置に配置し敷設するとともに、可搬型ホース先端にストレーナを付け、水面より低く着底しない位置に設置する。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、現場で復水ビット入口扉まで可搬型ホースを敷設し、補給準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(i) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>ii. 操作手順 淡水貯水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要（原子炉建屋東側に注水用ヘッダを設置する場合）は以下のとおり（原子炉建屋北側に注水用ヘッダを設置する場合も同様）。概要図を第1.13-13図に、タイムチャートを第1.13-14図及び第1.13-15図に示す。</p> <p>①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水の供給の準備開始を指示する。</p> <p>②発電課長は、運転員（中央制御室）に淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③運転員（中央制御室）は大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④重大事故等対応要員は、指示を受けた淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）へ大容量送水ポンプ（タイプI）を移動及び設置する。</p> <p>⑤重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属品を所定の場所に設置する。</p> <p>⑥重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）にホースを接続し、ミニマムフローラインを構成する。</p> <p>⑦重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属水中ポンプにホースを接続し、付属水中ポンプを取水箇所へ設置する。</p> <p>⑧重大事故等対応要員は、ホース延長回収車で注水用ヘッダを運搬し、原子炉建屋付近に設置する。</p> <p>⑨重大事故等対応要員は、ホース延長回収車を使用し大容量送水ポンプ（タイプI）から注水用ヘッダまでのホースを敷設する。</p> <p>⑩a 復水貯蔵タンク接続口へ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク接続口までホースを敷設、接続し、復水貯蔵タンク外部注水入口弁を全開する。</p> <p>⑩b 復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホース接続用継手の設置並びにホースの敷設及び接続を実施する。</p>	<p>ii. 操作手順 海を水源とした補助給水ビットへの補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.22図に、タイムチャートを第1.13.23図に、ホース敷設ルートを第1.13.42図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、災害対策要員に海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 災害対策要員は、現場の資機材保管場所へ移動し、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースを所定の位置に移動する。</p> <p>③ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを敷設し非常用炉心冷却系の配管と接続する。</p> <p>④ 災害対策要員は、現場でホース延長・回収車（送水車用）にて可搬型ホースを敷設する。</p> <p>⑤ 災害対策要員は、現場で海水取水箇所近傍に可搬型大型送水ポンプ車を設置する。</p> <p>⑥ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車から水中ポンプを取り出し、可搬型ホースと接続後、海水取水箇所に水中ポンプを水面より低く、かつ着底しない位置に設置する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載方針の相違 ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑨） 【大阪】記載表現の相違 ・泊は、操作手順⑦にて補給準備完了を報告している。 【大阪】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑤ 当直課長は、復水ピットへの補給手段として淡水源が使用不可能なことを確認し、発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。なお、補給開始は、No. 2淡水タンクからの補給中の場合、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信し、さらに復水ピットの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>⑥ 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>⑦ 緊急安全対策要員は、現場で送水車を起動し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始する。</p> <p>⑧ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び復水ピット水位を確認し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>⑨ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び供給状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の給油を実施する（燃料を給油しない場合、送水車は約5.4時間の運転が可能。）。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑪ 重大事故等対応要員は、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑫ 発電課長は、発電所対策本部に淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑬ 発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p> <p>⑭ 重大事故等対応要員は、現場にて大容量送水ポンプ（タイプI）の起動及び復水貯蔵タンク補給弁の開操作を実施し、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑮ 運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑯ 発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ大容量送水ポンプ（タイプI）の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p>	<p>⑦ 災害対策要員は、海から補助給水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑧ 運転員（現場）Bは、現場で補助給水ピットへの補給のための系統構成を実施し、海から補助給水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑨ 発電課長（当直）は、運転員及び災害対策要員に海から補助給水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>⑩ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車を起動し、海から補助給水ピットへの補給を開始するとともに、可搬型大型送水ポンプ車の運転状態に異常がないことを確認し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑪ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で補助給水ピットへの補給が開始されたことを補助給水ピット水位により確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑫ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車の運転状態及び送水状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の補給を実施する。（燃料を補給しない場合、可搬型大型送水ポンプ車は約5.5時間の運転が可能。）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑩） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大阪】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順着後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は可搬型大型送水ポンプ車起動後の運転状態の確認手順を記載している。（大阪と同様） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大阪】設備の相違 ・燃料は相違するが、燃料が枯渇する前に継続して燃料補給を実施する方針は、大阪と同様である。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は現場にて1ユニット当たり緊急安全対策要員5名により作業を実施し、所要時間は約3.4時間と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>また、復水ピットへの補給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>海水取水時には、可搬型ホース先端を水面より低く着底しない位置に設置することにより異物の混入を低減する。さらに可搬型ホース先端にストレーナを付けることにより、メッシュより大きな異物の混入を防止する。また、ストレーナのメッシュより小さな異物は通過するが、復水ピットへの補給に影響はない。</p> <p>(添付資料 1.13.4、1.13.5)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、復水貯蔵タンク接続口へ接続時及び復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続時は運転員(中央制御室)1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施し、作業開始を判断してから淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへの補給開始まで380分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ(タイプ1)からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。構内のアクセスルートの状況を考慮して淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料 1.13.3)</p>	<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員(現場)1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海から補助給水ピットへの補給開始まで200分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。速やかに作業を開始できるように、使用する資機材は可搬型大型送水ポンプ車の保管場所及び作業場所近傍に配備する。可搬型大型送水ポンプ車からの可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。補助給水ピットへの供給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>海水取水時には、可搬型ホース先端を水面より低く着底しない位置に設置することにより異物の混入を低減する。さらに可搬型ホース先端にストレーナを付けることにより、メッシュより大きな異物の混入を防止する。また、ストレーナのメッシュより小さな異物は通過するが、補助給水ピットへの補給に影響はない。</p> <p>(添付資料 1.13.4、1.13.9)</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。(大飯と同様) <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映) <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、すべて屋外作業であるため、資機材の配備について記載していない。 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯の送水車を使用した手順と同様の記載としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(5)の記載より再掲】</p> <p>(5) N o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給 重大事故等の発生時において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの水位が低下し、補給が必要な場合、N o. 3淡水タンクから復水ピットへ補給する手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの水位が低下し、通常水位低警報が発信した際に、N o. 3淡水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順 N o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.4図に、タイムチャートを第1.13.5図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等にN o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を指示する。</p> <p>② 運転員等は、現場でN o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給のための系統構成を行い、水頭圧を利用した重力注水によりN o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を実施する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. の記載より再掲】</p> <p>b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給 復水貯蔵タンクを水源とした原子炉圧力容器への注水等の対応を実施している場合に、復水貯蔵タンクへの補給手段がないと復水貯蔵タンク水位が低下し、水源が枯渇するため、化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給を実施する。 化学消防自動車の水源は、耐震性防火水槽を使用する。</p> <p>(a) 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>ii. 操作手順 耐震性防火水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.13-24図に、タイムチャートを第1.13-25図に示す。 ①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、化学消防自動車による耐震性防火水槽を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、初期消火要員（消防車隊）に化学消防自動車による淡水の供給の準備開始を指示する。 ②発電課長は、運転員（中央制御室）に耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。 ③運転員（中央制御室）は化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。 ④初期消火要員（消防車隊）は、指示を受けた耐震性防火水槽へ化学消防自動車を移動及び設置し復水貯蔵タンクまでホースを敷設する。 ⑤初期消火要員（消防車隊）は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホースの敷設及び固縛を実施する。 ⑥初期消火要員（消防車隊）は、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p>	<p>b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給 補助給水ピットを水源とした蒸気発生器への注水等の対応を実施している場合に、補助給水ピットへの補給手段がないと補助給水ピット水位が低下し、水源が枯渇するため、2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給を実施する。</p> <p>(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合に、2次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 2次系純水タンクを水源とした補助給水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.13.24図に、タイムチャートを第1.13.25図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、中央制御室及び現場で2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給のための系統構成を実施し、2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>【大阪】設備の相違（相違理由④） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、燃料取替用水ピットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由④） 【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室で復水ビット及びNo. 3淡水タンク水位により、復水ビットへの補給に異常がないことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約15分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料1.13.5)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b、化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑦発電課長は、発電所対策本部に耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。 ⑧発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。 ⑨初期消火要員（消防車隊）は、現場にて化学消防自動車を起動し、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。 ⑩運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。 ⑪発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ化学消防自動車の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び初期消火要員（消防車隊）5名にて作業を実施し、作業開始を判断してから耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始まで65分以内で実施可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。化学消防自動車のホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。 構内のアクセスルートの状況を考慮して耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確保する。 また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。 (添付資料1.13.3)</p>	<p>③ 発電課長（当直）は、運転員に2次系純水タンクから補助給水ビットへの補給開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（現場）Bは、現場で2次系純水タンクから補助給水ビットへの補給を開始し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で補助給水ビットへの補給が開始されたことを補助給水ビット及び2次系純水タンク水位により確認し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから2次系純水タンクから補助給水ビットへの補給開始まで25分以内で可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 (添付資料1.13.6)</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書(6号及び7号炉本機) 令和2年5月現在 1.13.2.2(2)b. より引用】</p> <p>b. 淡水タンクから防火水槽への補給</p> <p>防火水槽を水源として可搬型代替注水ポンプ(A-1級又はA-2級)による原子炉圧力容器への注水等の各種注水を行う場合に防火水槽の水が枯渇する前に淡水タンク(純水タンク又はろ過水タンク)の水を防火水槽へ補給する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>防火水槽を水源として可搬型代替注水ポンプ(A-1級又はA-2級)による原子炉圧力容器への注水等の各種注水を行う場合で、淡水貯水池の水が枯渇するおそれがある場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>淡水タンク(純水タンク又はろ過水タンク)から防火水槽への補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.22図に、タイムチャートを第1.13.23 図に示す。</p> <p>① 緊急時対策本部は、手順着手の判断基準に基づき、緊急時対策要員に淡水タンク(純水タンク又はろ過水タンク)から防火水槽への補給を指示する。</p> <p>② 緊急時対策要員は、淡水貯水池からの淡水貯水池大減側第一送水ライン供給止め弁を全閉する。</p>	<p>(2) 淡水貯水槽へ水を補給するための対応手順</p> <p>重大事故等が発生した場合において、海から淡水貯水槽へ水を補給する手順を整備する。</p> <p>a. 大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給</p> <p>淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による原子炉圧力容器への注水等の対応を実施している場合に、淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)が枯渇するおそれがある場合、海を水源として、大容量送水ポンプ(タイプII)及びホースを用いて、淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)への補給を実施する。</p> <p>(a) 海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による原子炉圧力容器への注水等の各種注水/補給を実施している場合に、淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)が枯渇するおそれがある場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-26 図に、タイムチャートを第1.13-27 図及び第1.13-28 図に、海から淡水貯水槽ルート図を第1.13-33 図及び第1.13-34 図に示す。</p> <p>① 発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、大容量送水ポンプ(タイプII)による海を水源とした淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)への補給及び海水取水箇所を決定し、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ(タイプII)の海水の送水の準備開始を指示する。</p> <p>②a 取水口から海水を取水する場合</p> <p>重大事故等対応要員は、指示を受けた海水取水箇所付近へ大容量送水ポンプ(タイプII)を移動させる。</p> <p>②b 海水ポンプ室から海水を取水する場合</p> <p>重大事故等対応要員は、指示を受けた海水取水箇所付近へ大容量送水ポンプ(タイプII)を移動させ、防潮壁を開放し大容量送水ポンプ(タイプII)を防潮壁内へ移動させる。</p>	<p>(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順</p> <p>重大事故等が発生した場合において、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽へ水を補給する手順を整備する。</p> <p>a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水等の対応を実施している場合に、原水槽が枯渇するおそれがある場合、2次系純水タンク又はろ過水タンクを水源として、可搬型ホースを用いて、原水槽への補給を実施する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水等の各種注水/補給を実施している場合に、原水槽が枯渇するおそれがある場合、かつ2次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合又は火災が発生しておらず、ろ過水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.26 図に、タイムチャートを第1.13.27 図に、ホース敷設ルート図を第1.13.43 図に示す。</p> <p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、発電所対策本部長に2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給を依頼する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、災害対策要員に2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給の準備開始を指示する。</p>	<p>【女川】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大阪】設備の相違(相違理由⑥)</p> <p>【女川】記載内容の相違 対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備名称の相違</p> <p>【柏崎】設備名称の相違 【柏崎】設備表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【柏崎】設備名称の相違 【女川】設備表現の相違 ・泊は、他の補給手順と同様に補給に使用する水源の水位が確保されていることを記載し、記載表現を統一している。</p> <p>【柏崎】設備名称の相違</p> <p>【柏崎】設備名称の相違</p> <p>【柏崎】設備内容の相違 ・柏崎は、淡水貯水池から補給中であるため、補給を停止する手順を記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(2)b. より引用】</p> <p>③ 緊急時対策要員は、指定された淡水タンク（純水タンク又はろ過水タンク）の送水ラインにホースを接続する。</p> <p>④ 緊急時対策要員は、No.4純水タンク工事用水用隔離弁及び淡水貯水池大湊側第一送水ラインNo.4 純水タンク供給弁、又はNo.3ろ過水タンク工事用水用隔離弁及び淡水貯水池大湊側第一送水ラインNo.3ろ過水タンク供給弁を開けて、送水ラインの水張りを開始する。</p> <p>⑤ 緊急時対策要員は、送水ラインに漏えい等の異常がないことを確認する。</p> <p>⑥ 緊急時対策要員は、指定された防火水槽への送水ラインにホースを接続する。</p> <p>⑦ 緊急時対策要員は、送水ライン水張り完了後、ホースの先を防火水槽マンホールへ入れ、淡水貯水池大湊側第一送水ライン防火水槽供給弁を開けて防火水槽へ淡水タンクの水を補給する。</p>	<p>③ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプⅡ）の付属品を所定の場所に設置する。</p> <p>④ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプⅡ）の付属水中ポンプにホースを接続し、付属水中ポンプを海水取水箇所へ設置する。</p> <p>⑤ 重大事故等対応要員は、ホース延長回収車を使用し大容量送水ポンプ（タイプⅡ）から淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）までのホースを敷設する。</p> <p>⑥ 重大事故等対応要員は、海から淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑦ 発電所対策本部は、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ（タイプⅡ）による海水の送水開始を指示する。</p> <p>⑧ 重大事故等対応要員は、現場にて大容量送水ポンプ（タイプⅡ）を起動し、海から淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p>	<p>③ 災害対策要員は、現場の資機材保管場所へ移動し、可搬型ホースを所定の位置に移動する。</p> <p>④ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを敷設し、指定された2次系純水タンク又はろ過水タンクの接続口と接続する。</p> <p>⑤ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを原水槽マンホールまで敷設する。</p> <p>⑥ 災害対策要員は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給準備完了を発電所対策本部長に報告する。また、発電所対策本部長は発電課長（当直）へ連絡する。</p> <p>⑦ 発電所対策本部長は、災害対策要員に2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給開始を指示する。</p> <p>⑧ 災害対策要員は、現場で2次系純水タンク又はろ過水タンク排水弁を開操作し、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給を開始する。</p> <p>⑨ 災害対策要員は、現場で原水槽の水位により、原水槽への補給が開始されたことを確認し、発電所対策本部長へ報告する。また、発電所対策本部長は発電課長（当直）へ連絡する。</p>	<p>【柏崎】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【柏崎】記載表現の相違 【柏崎】設備内容の相違 ・柏崎は、配管とホースを組み合わせた流路となっており、各タンクと送水ラインの配管を接続する手順としている。</p> <p>・泊は、流路が可搬型ホースとなっており、各タンクに可搬型ホースを接続し、原水槽まで敷設する手順としている。</p> <p>【女川】記載内容の相違 対応手段の相違 【柏崎】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備内容の相違 ・柏崎は、淡水タンク→ホース→送水ラインの配管→ホース→防火水槽の流路となっており、送水ラインまでの水張り完了後に防火水槽への送水ラインにホースを接続する手順としている。</p> <p>【柏崎】設備内容の相違 ・泊は、操作手順④にて可搬型ホースを敷設している。</p> <p>【女川】記載内容の相違 対応手段の相違 【柏崎】設備表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【柏崎】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(2)b.より引用】</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、緊急時対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから防火水槽に水を補給するまで約70分で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。</p> <p>また、構内のアクセスルートの状況を考慮して淡水タンクから防火水槽へホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、重大事故等対応要員9名にて作業を実施し、作業開始を判断してから大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) への補給開始まで取水口取水の場合 270 分以内、海水ポンプ室取水の場合 295 分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ(タイプII)からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>構内のアクセスルートの状況を考慮して海から淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) へホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料 1.13.3)</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給開始まで 180 分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。</p> <p>また、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給時に構内のアクセス状況を考慮して2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽へ可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>(添付資料 1.13.7, 1.13.17, 1.13.23)</p>	<p>相違理由</p> <p>【柏崎】設備名称の相違 【女川】記載表現の相違(柏崎と同様) 【女川】記載内容の相違 対応手段の相違 【柏崎】設備表現の相違 (女川審査実績の反映) 【柏崎、女川】記載表現の相違 大阪と同様の記載</p> <p>【柏崎】設備名称の相違 【柏崎、女川】記載表現の相違 ・泊は、大阪の送水車を使用した手順と同様の記載としている。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(3)の記載より再掲】</p> <p>(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1) a. (b)より引用】</p> <p>(b) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できる場合）</p> <p>【比較のため1.13.2.2(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は、炉心注水により炉心冷却を実施するが、炉心注水中に燃料取替用水ピットが枯渇又は破損により供給が必要な場合、燃料取替用水ピットから復水ピットに水源切替えを行う手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 炉心注水中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、復水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を行う手順の概要は以下のとおり。概略系統を第 1.13.14 図に、タイムチャートを第 1.13.15 図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場で燃料取替用水ピットの通水用ディスタンスピースに取替え、水源切替え準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>④ 当直課長は、運転員等に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p>	<p>1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順</p> <p>(1) 高圧炉心スプレイ系の水源地の切替え</p> <p>a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源地の切替え</p> <p>重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替える。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 サブプレッションプール水温度が80℃に到達した場合。</p> <p>(b) 操作手順 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源地の切替え手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.13-29 図に、タイムチャートを第 1.13-30 図に示す。</p> <p>①発電課長は、運転員にサブプレッションプール水の温度が80℃に到達した場合、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替え、その後の高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認するよう指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、高圧炉心スプレイ系の水源地切替スイッチを「CST」位置にすることで、HPCS ポンプ CST 吸込弁が全開、その後、HPCS ポンプ S/C 吸込弁が全閉し、水源がサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替わることを確認する。また、水源切替え後における高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認する。</p>	<p>1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え</p> <p>a. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉容器への注水中の場合）</p> <p>重大事故等時に必要な水の供給が中断することがないよう、代替格納容器スプレイポンプの水源地を燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ切り替える。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、補助給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替（原子炉容器への注水中の場合）手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.13.28 図に、タイムチャートを第 1.13.29 図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び災害対策要員に燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替えの準備開始を指示する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【柏崎】参考にした記載として引用</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） ・泊の比較対象は操作手順①</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室及び現場で燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替及び炉心注水のための系統構成を実施する。</p> <p>⑥ 当直課長は、No. 2淡水タンクの水位低警報発信等により、燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替ができない場合、又はNo. 2淡水タンクを使用中に、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信するまでに、復水ピットを蒸気発生器2次側による炉心冷却の水源として使用していないことを確認し、運転員等へ燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替開始を指示する。</p> <p>⑦ 運転員等は、現場で燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を実施する。</p> <p>⑧ 運転員等は、中央制御室で復水ピット水位等により、水源切替え後に復水ピット等に異常がないことを確認する。</p> <p>⑨ 運転員等は、中央制御室又は現場で恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプを起動し、運転状態及び復水ピット水位により復水ピット等に異常がないことを確認する。恒設代替低圧注水ポンプを起動する場合には空冷式非常用発電装置が起動していることを確認し、起動していなければ、空冷式非常用発電装置を起動後に恒設代替低圧注水ポンプを起動する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等2名及び緊急安全対策要員3名により作業を実施し、所要時間は約110分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p>	<p>【比較のため、川内発電所1/2号炉 技術的能力1.8まとめ資料(1.8.2.1 (1)b. (a)ii)より引用】</p> <p>④ 運転員等は、非常用高圧母線による給電が必要な場合、現場でC又はD非常用母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源をサブプレッショナルチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替えるまで4分以内で可能である。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>② 運転員（中央制御室）A、運転員（現場）B及び災害対策要員は、中央制御室及び現場で燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え及び原子炉容器への注水のための系統構成を実施し、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（現場）Bは、現場で代替格納容器スプレイポンプを起動し、運転状態及び補助給水ピット水位により補助給水ピット等に異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。代替格納容器スプレイポンプを起動する場合には代替非常用発電機が起動していることを確認し、起動していなければ、代替非常用発電機を起動後に代替格納容器スプレイポンプを起動する。非常用高圧母線による給電が可能な場合は、現場でA又はB-非常用高圧母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源を燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ切り替えるまで35分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順書後、系統構成が完了次第、注水を開始するため開始時期については記載していない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・泊は、水源切替えの準備ですべての系統構成が完了しているため、ポンプ起動により、水源切替開始となる。</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・泊は、現場での切替操作である。</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載表現の相違 操作場所の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>ディスタンスピース取替え等については速やかに作業ができるよう作業場所近傍に使用工具を配備する。 (添付資料1.13.6、1.13.7)</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1)a、(c)より引用】</p> <p>(c) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できない場合）</p> <p>【比較のため1.13.2.3(2) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は、格納容器スプレイを実施するが、格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットが枯渇又は破損により供給が必要な場合、燃料取替用水ピットから復水ピットに水源切替を行う手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、復水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を行う手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.30図に、タイムチャートを第1.13.31図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場で燃料取替用水ピットの通水用ディスタンスピースに取替え、水源切替準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>④ 当直課長は、運転員等に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)a. の記載より再掲】</p> <p>a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替え</p> <p>重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないように、高圧炉心スプレイ系の水源をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替える。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 サプレッションプール水温度が80℃に到達した場合。</p> <p>(b) 操作手順 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-29図に、タイムチャートを第1.13-30図に示す。</p> <p>①発電課長は、運転員にサブプレッションプール水の温度が80℃に到達した場合、高圧炉心スプレイ系の水源をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替え、その後高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認するよう指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、高圧炉心スプレイ系の水源切替スイッチを「CST」位置にすることで、HPCS ポンプ CST 吸込弁が全開、その後、HPCS ポンプ S/C 吸込弁が全閉し、水源がサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替わることを確認する。また、水源切替後における高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認する。</p>	<p>(添付資料1.13.10、1.13.11)</p> <p>b. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）</p> <p>重大事故等時に必要な水の供給が中断することがないよう、代替格納容器スプレイポンプの水源を燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ切り替える。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 原子炉格納容器内へのスプレイ中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、補助給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.30図に、タイムチャートを第1.13.31図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき運転員及び災害対策要員に燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替準備を指示する。</p>	<p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【柏崎】参考にした記載として引用</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) ・泊の比較対象は操作手順①</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3(2) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室及び現場で燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替及び格納容器スプレイのための系統構成を実施する。</p> <p>⑥ 当直課長は、No. 2淡水タンクの水位低警報発信等により、燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替ができないことを確認し、運転員等へ燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替開始を指示する。なお、水源切替開始は、No. 2淡水タンク使用中の場合、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>⑦ 運転員等は、現場で燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を実施する。</p> <p>⑧ 運転員等は、中央制御室で復水ピット水位等により、水源切替後に復水ピット等に異常がないことを確認する。</p> <p>⑨ 運転員等は、現場で恒設代替低圧注水ポンプを起動し、運転状態及び復水ピット水位により復水ピット等に異常がないことを確認する。恒設代替低圧注水ポンプを起動する場合には空冷式非常用発電装置が起動していることを確認し、起動していなければ、空冷式非常用発電装置を起動後に恒設代替低圧注水ポンプを起動する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名及び緊急安全対策要員3名により作業を実施し、所要時間は約110分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p>ディスタンスピース取替え等については速やかに作業ができるよう作業場所近傍に使用工具を配備する。 (添付資料1.13.6、1.13.7)</p>	<p>【比較のため、川内発電所1/2号炉 技術的能力1.8まとめ資料(1.8.2.1 (1)b. (a)ii)より引用】</p> <p>④ 運転員等は、非常用高圧母線による給電が必要な場合、現場でC又はD非常用母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>【比較のため1.13.2.2(1) a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替の記載より再掲】</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源を「サブプレッションチェンバ」から復水貯蔵タンクへ切り替えるまで4分以内で可能である。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>② 運転員（中央制御室）A、運転員（現場）B及び災害対策要員は、中央制御室及び現場で燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え及び原子炉格納容器内へのスプレイのための系統構成を実施し、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（現場）Bは、現場で代替格納容器スプレイポンプを起動し、運転状態及び補助給水ピット水位により補助給水ピット等に異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。代替格納容器スプレイポンプを起動する場合には代替非常用発電機が起動していることを確認し、起動していなければ、代替非常用発電機を起動後に代替格納容器スプレイポンプを起動する。非常用高圧母線による給電が可能な場合は、現場でA又はB-非常用高圧母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源を燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ切り替えるまで30分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p>(添付資料1.13.10、1.13.11)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <p>・泊3号炉は本手順着手後、系統構成が完了次第、注水を開始するため開始時期については記載していない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <p>・泊は、水源切替えの準備ですべての系統構成が完了しているため、ポンプ起動により、水源切替開始となる。</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 ・泊は、現場での切替操作である。</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載表現の相違 操作場所の相違</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替</p> <p>重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は炉心注水により炉心冷却を実施するが、炉心注水中に燃料取替用水ピットが枯渇又は破損により供給が必要な場合、燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクに水源切替を行う手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 炉心注水中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.13図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で1次系純水タンク供給弁及びほう酸タンク供給弁を開操作し、燃料取替用水ピット供給弁を開操作することで、水源切替を実施する。</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室で1次系純水タンク及びほう酸タンク水位により、水源切替後に1次系純水タンク及びほう酸タンクに異常がないことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約10分と想定する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え</p> <p>a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替え 重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、高圧炉心スプレイ系の水源をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替える。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 サプレッションプール水温度が80℃に到達した場合。</p> <p>(b) 操作手順 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-29図に、タイムチャートを第1.13-30図に示す。</p> <p>①発電課長は、運転員にサブプレッションプール水の温度が80℃に到達した場合、高圧炉心スプレイ系の水源をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替え、その後の高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認するよう指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、高圧炉心スプレイ系の水源切替スイッチを「CST」位置にすることで、HPCSポンプCST吸込弁が全開、その後、HPCSポンプS/C吸込弁が全閉し、水源がサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替わることを確認する。また、水源切替後における高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替えるまで4分以内で可能である。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>(2) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</p> <p>a. 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 重大事故等時に必要な水の供給が中断することがないよう、充てんポンプの水源を燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへ切り替える。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットが枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.32図に、タイムチャートを第1.13.33図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次系純水タンク供給弁及びほう酸タンク供給弁を開操作し、燃料取替用水ピット供給弁を開操作することで、水源切替を実施する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次系純水タンク及びほう酸タンク水位により、水源切替後に1次系純水タンク及びほう酸タンクに異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源を燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへ切り替えるまで10分以内で可能である。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 ・泊は、他手順と記載表現を統一した。</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替</p> <p>重大事故等の発生時において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットが枯渇又は破損により機能喪失した場合、復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替を行う手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、復水ピット水位計指示値が低下し補助給水ポンプ吸込管が露出する水位5.9%となるまでに、No. 3淡水タンクの水位が確保されており、使用できることを確認した場合。</p> <p>b. 操作手順 復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.2図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室でNo. 3淡水タンク供給弁を開操作し、復水ピット供給弁を閉操作することで、水源切替えを実施する。</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室でNo. 3淡水タンク水位等により、水源切替え後にNo. 3淡水タンク等に異常がないことを確認する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 高圧炉心スプレイ系の水源地の切替え</p> <p>a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源地の切替え 重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替える。</p> <p>【記載表現の参考とした、高浜発電所 設置変更許可申請書（3，4号炉完本）令和3年5月現在1.13.2.1(1)a.より引用】</p> <p>a. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水タンク水位計指示値が低下し補助給水ポンプ吸込管が露出する水位3.6%となるまでに、又は復水タンクが枯渇、破損等により機能喪失した場合に、2次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(b) 操作手順 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源地の切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-29図に、タイムチャートを第1.13-30図に示す。</p> <p>①発電課長は、運転員にサブプレッションプール水の温度が80℃に到達した場合、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替え、その後の高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認するよう指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、高圧炉心スプレイ系の水源地切替スイッチを「CST」位置にすることで、HPCS ポンプ CST 吸込弁が全開、その後、HPCS ポンプ S/C 吸込弁が全閉し、水源地がサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替わることを確認する。また、水源地切替え後における高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認する。</p>	<p>(3) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源地の切替え</p> <p>a. 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源地の切替え 重大事故等時に必要な水の供給が中断することがないよう、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源地を補助給水ピットから2次系純水タンクへ切り替える。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピット水位が低下し補助給水ピット水位異常低警報設定値水位である3%となるまでに、又は補助給水ピットが枯渇又は破損により機能喪失した場合に、2次系純水タンクの水位が確保されており、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源地の切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.34図に、タイムチャートを第1.13.35図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源地の切替えを指示する。</p> <p>② 運転員（現場）Bは、現場で2次系純水タンク供給弁を開操作し、補助給水ピット供給弁を閉操作することで、水源地切替えを実施する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で2次系純水タンク水位により、水源地切替え後に2次系純水タンク等に異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約3分と想定する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替の記載より再掲】</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替えるまで4分以内で可能である。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p>(2) 淡水から海水への切替え a. 復水貯蔵タンクへ補給する水源の切替え 重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないように、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの淡水の供給が継続できない場合は淡水補給から海水補給へ切り替える。 復水貯蔵タンクへの淡水補給から海水補給への水源の切替えは、大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）への海水補給を行うことにより切替操作を行わず大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水送水から海水送水へ切り替える。 大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）への海水補給は、「1.13.2.2(2)a. 大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給」の手順にて整備する。</p> <p>(3) 外部水源から内部水源への切替え 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に内部水源（サブプレッションチェンバ）を水源とした高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができない場合は、主蒸気逃がし安全弁による発電用原子炉の減圧を実施し、外部水源（復水貯蔵タンク）を水源とした低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への各種注水を行うが、その後、事故収束に必要な対応として、外部水源（復水貯蔵タンク）から内部水源（サブプレッションチェンバ）への切替えを行う。 a. 外部水源（復水貯蔵タンク）から内部水源（サブプレッションチェンバ）への切替え 有効性評価において想定する事故シーケンスグループ</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源を補助給水ビットから2次系純水タンクへ切り替えるまで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転状態と同程度である。</p> <p>(添付資料1.13.5)</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 ・泊は、現場での切替操作である。 【女川】記載表現の相違 操作場所の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨） ・泊3号炉の補助給水ビットから2次系純水タンクへの水源切替操作は現場作業を伴うため、作業の成立性について記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>等である格納容器破損モード「雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損）」発生時の事故の収束に必要な対応として、外部水源（復水貯蔵タンク）から内部水源（サブプレッションチェンバ）へ水源を切り替える。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>炉心損傷時、外部水源（復水貯蔵タンク）を使用した低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水を実施している状態において代替循環冷却系が使用可能な場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>外部水源（復水貯蔵タンク）から内部水源（サブプレッションチェンバ）への切替手順の概要は以下のとおり。</p> <p>なお、内部水源（サブプレッションチェンバ）を使用した代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び原子炉格納容器内の除熱手順については、「1.4.2.1(3)a. (b) 代替循環冷却系による残存熔融炉心の冷却」、 「1.7.2.1(1)a. 代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱」及び「1.8.2.2(1)c. 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水」にて整備する。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員（中央制御室）A に外部水源（復水貯蔵タンク）を使用した低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水手段から、内部水源（サブプレッションチェンバ）を使用した代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び原子炉格納容器内の除熱手段へ切り替えるため、代替循環冷却ポンプの起動を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、内部水源（サブプレッションチェンバ）を使用した代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び原子炉格納容器内の除熱が開始されたこと及び復水移送ポンプを停止したことを発電課長に報告する。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>内部水源（サブプレッションチェンバ）を使用した代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び原子炉格納容器内の除熱操作の成立性については、 「1.13.2.1(2)d. (a) サブプレッションチェンバを水源とした代替循環冷却系による残存熔融炉心の冷却」、 「1.13.2.1(2)d. (b) サブプレッションチェンバを水源とした代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱」及び「1.13.2.1(2)d. (c) サブプレッションチェンバを水源とした代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水」にて整備する。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.13.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 大容量送水ポンプ（タイプⅠ）による各接続口から注水等が必要な箇所までの手順については、「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」、「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」、「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」及び「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプⅠ）又は大容量送水ポンプ（タイプⅡ）による各接続口等から水の供給が必要な設備までの手順については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>中央制御室監視計器類への電源供給手順並びに常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、大容量送水ポンプ（タイプⅠ）及び大容量送水ポンプ（タイプⅡ）への燃料補給に関する手順については、「1.14 電源確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断、確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」にて整備する。</p> <p>1.13.2.5 重大事故等時の対応手段の選択 重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。 対応手段の選択フローチャートを第1.13-31 図及び第1.13-32 図に示す。</p>	<p>1.13.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 大容量送水ポンプ（タイプⅠ）による各接続口から注水等が必要な箇所までの手順については、「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」、「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」、「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」及び「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車又は可搬型大容量海水送水ポンプ車による水の供給手順については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>常設代替交流電源設備に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。</p> <p>代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断、確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>1.13.2.5 重大事故等時の対応手段の選択 重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。 対応手段の選択フローチャートを第1.13.44 図に示す。</p>	<p>1.13.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 可搬型大型送水ポンプ車による注水等の手順については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」、「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」、「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」及び「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車又は可搬型大容量海水送水ポンプ車による水の供給手順については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>常設代替交流電源設備に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。</p> <p>代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断、確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>1.13.2.5 重大事故等時の対応手段の選択 重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。 対応手段の選択フローチャートを第1.13.44 図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【女川】記載表現の相違 ・女川は、大容量送水ポンプ（タイプⅠ）又は大容量送水ポンプ（タイプⅡ）による対応手段のうち、屋外作業を「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」にて整備し、屋内作業については技術的能力の各条文中に整備している。 ・泊は、可搬型大型送水ポンプ車による対応手段のうち、水源へ水を補給するための対応手段を「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」にて整備し、水源の利用した対応手段については技術的能力の各条文中に整備している。</p> <p>【女川】 記載表現の相違（リンク先の明確化）</p> <p>【女川】 記載表現の相違（リンク先の明確化） 【大飯】記載方針の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】 記載表現の相違（リンク先の明確化）</p>

灰色：女川 2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊 3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3/4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【比較のため 1.13.2.1 蒸気発生器 2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(9) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、蒸気発生器 2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>復水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合の供給については、短時間で復水ピットの代替水源として確保できることから、No. 3 淡水タンクを優先して使用することとし、No. 3 淡水タンクの水位が低下すれば、A、B 2次系純水タンクを用いたNo. 3 淡水タンクへの補給を実施する。復水ピットからNo. 3 淡水タンクへ切り替える際には補助給水ポンプを停止することなく切替えを行う。</p> <p>次にNo. 3 淡水タンクが水源として使用不可能な場合については、脱気器タンクを水源とした蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器 2次側による炉心冷却（注水）中に、すべての水源が使用不可能で蒸気発生器水位が低下した場合には、1次冷却系のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p>(1) 水源を利用した対応手段</p> <p>重大事故等時には、原子炉圧力容器への注水、原子炉格納容器内の冷却等の復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバを水源とした対応手段を実施するため、必要となる十分な量の水を復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバに確保する。</p> <p>復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバを水源とした注水が実施できない場合は、ろ過水タンクを水源としてろ過水ポンプによる原子炉圧力容器等へ注水を実施する。</p> <p>ろ過水タンクを水源としてろ過水ポンプによる原子炉圧力容器等へ注水が実施できない場合は、淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ I) による原子炉圧力容器等へ注水を実施する。</p> <p>淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ I) による原子炉圧力容器等への注水が実施できない場合は、淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ (タイプ I) による原子炉圧力容器等へ注水を実施する。</p> <p>淡水タンクを水源とした注水が実施できない場合は、海を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ I) による原子炉圧力容器等へ注水を実施する。</p>	<p>(1) 水源を利用した対応手段</p> <p>a. 蒸気発生器への注水に利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、蒸気発生器 2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）のための代替手段として、「1.13.2.1 水源を利用した対応手順」で示す手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合の供給については、中央制御室で操作可能な脱気器タンクを水源とした蒸気発生器への注水を行うとともに、現場にて容易に実施可能な補助給水ピットから 2次系純水タンクへの水源切替の準備を開始する。2次系純水タンクへの水源切替の準備が完了すれば、脱気器タンクを水源とした蒸気発生器への注水を停止し、2次系純水タンクを水源とした蒸気発生器への注水を行う。補助給水ピットから 2次系純水タンクへ切り替える際には補助給水ポンプを停止することなく切替えを行う。</p> <p>補助給水ピットから海、代替給水ピット又は原水槽への水源切替えは、可搬型大型送水ポンプ車の使用準備に時間を要することから、補助給水ピットが水源として使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の水源切替えの手段がなければ使用する。水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。</p> <p>蒸気発生器 2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に、すべての水源が使用不可能で蒸気発生器水位が低下した場合には、1次冷却系のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯、女川】記載表現の相違 ・泊は、蒸気発生器への注水時と原子炉格納容器への注水及び原子炉格納容器内へのスプレイ時で、使用する水源や優先順位が異なるため、島根 2号炉及び東海第二の「1.13.2.5 重大事故等時の対応手段の選択」の記載を参考に、資料構成を見直し、記載している。以降、同様の相違理由の記載は省略する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) 【大飯】記載表現の相違 【大飯】運用の相違 (相違理由①)</p> <p>【大飯】設備の相違 ・泊 3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源の優先順位を記載。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>また、復水ピットが使用可能であり、枯渇するおそれがある場合については、短時間で復水ピットの代替水源として確保できることから、No. 3淡水タンクを優先して使用する。</p> <p>No. 3淡水タンクが使用不可能であれば、No. 2淡水タンクを水源とする消火設備から復水ピットへの補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、補給開始後、引き続き次の水源からの補給準備を開始することで、水源が枯渇しないようにし、最終的には海水に水源を切り替えることで水の供給が中断することはなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を復水ピットへ補給することにより、継続的な蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）を成立させるため、復水ピットの保有水量を1,035m³以上に管理する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.12図に示す。</p>		<p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.44図に示す。</p>	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・水源への補給に関する記載は、泊の記載箇所「(2) 水源へ水を補給するための対応手段」にて再掲し、比較している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(11) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合については、燃料取替用水ピットからの水源切替えを実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系等が使用不可能である場合は、燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへ水源切替えを実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に燃料取替用水ピットから復水ピットへ水源切替えを実施する。</p> <p>なお、復水ピットを水源として使用すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p>		<p>b. 原子炉容器への注水に利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、原子炉容器への注水のための代替手段として、「1.13.2.1 水源を利用した対応手順」で示す手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合については、燃料取替用水ピットからの水源切替えを実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能である場合は、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替えを実施する。次に補助給水ピットの破損等により補助給水ピットへの水源切替えが不可能な場合は、燃料取替用水ピットからろ過水タンクへの水源切替えを実施する。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替えを実施する場合は、補助給水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>海、代替給水ピット又は原水槽への水源切替えは、準備に時間を要することから、補助給水ピットへの水源切替えが不可能な場合に準備を開始し、準備が整った時点で他の水源切替えの手段がなければ、海、代替給水ピット又は原水槽へ水源切替えを実施する。水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】運用の相違 (相違理由②)</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違 ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源の優先順位を記載。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>燃料取替用水ピットが水源として使用可能な場合については燃料取替用水ピットへの補給を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能で1次系純水タンクが使用可能である場合は、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。次に1次系純水タンクが使用不可能であれば、No. 3淡水タンクを使用済燃料ピットを経由させて燃料取替用水ピットへ補給する。次にNo. 2淡水タンクを水源とする消火設備による補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>なお、復水ピットの水を燃料取替用水ピットへ供給すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、当初選択した水源からの供給準備が完了後、引き続き次の水源からの供給準備を開始することで、水源が枯渇しないように、最終的には海水から取水することで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>また、淡水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬式代替低圧注水ポンプによる海水注水により、継続的な炉心注水及び代替炉心注水を成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,860m³以上に管理する。</p> <p>以上の炉心注水時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.29図に示す。</p>		<p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>以上の原子炉容器への注水時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.44図に示す。</p>	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源へ水を補給するための対応手段の記載は、泊の記載箇所「(2) 水源へ水を補給するための対応手段」にて再掲し、比較している。 <p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型大型送水ポンプ車による補給手段を整備しているため、敷設ルートについて記載している。 <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(10) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合については、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替を優先するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を実施する。</p> <p>なお、復水ピットを水源として使用すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>燃料取替用水ピットが水源として使用可能な場合については燃料取替用水ピットへの補給を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能で1次系純水タンクが使用可能である場合は、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。1次系純水タンクが使用不可能であれば次にNo. 3淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。次にNo. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>なお、復水ピットの水を燃料取替用水ピットへ供給すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p>		<p>c. 原子炉格納容器内へのスプレイに利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、原子炉格納容器内へのスプレイのための代替手段として、「1.13.2.1 水源を利用した対応手順」で示す手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用できない場合については、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替を実施する。次に補助給水ピットの破損等により補助給水ピットへの水源切替が不可能な場合は、燃料取替用水ピットからろ過水タンクへの水源切替を実施する。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替を実施する場合は、補助給水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>海、代替給水ピット又は原水槽への水源切替は、準備に時間を要することから、補助給水ピットへの水源切替が不可能な場合に準備を開始し、準備が整った時点で他の水源切替の手段がなければ、海、代替給水ピット又は原水槽へ水源切替を実施する。水源の切替による注水の中絶が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間の最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違 【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由④）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設備の相違 ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源の優先順位を記載。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・大阪は、水源へ水を補給するための対応手段の記載が炉心注水中と同様であるため、泊の記載箇所「(2) 水源へ水を補給するための対応手段」にて1.13.2.2(11)優先順位を再掲し、比較している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、当初選択した水源からの供給準備が完了後、引き続き次の水源からの供給準備を開始することで、水源が枯渇しないように、最終的には海水から取水することで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を確保する。</p> <p>また、淡水を燃料取替用水ビットへ補給すること及び可搬式代替低圧注水ポンプによる海水注水により、継続的な格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイを成立させるため、燃料取替用水ビットの保有水量を1,860m³以上に管理する。</p> <p>以上の格納容器スプレイ時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.32図に示す。</p> <p>【比較のため1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(11) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ビットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合には、燃料取替用水ビットからの水源切替えを実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ビットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系等が使用不可能である場合は、燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへ水源切替えを実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に燃料取替用水ビットから復水ビットへ水源切替えを実施する。</p> <p>なお、復水ビットを水源として使用すると判断した場合は、復水ビットへの補給準備を並行して実施する。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>(2) 水源へ水を補給するための対応手段</p> <p>a. 復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>復水貯蔵タンクを水源として、原子炉圧力容器への注水等の各種注水時において、純水補給水系が使用可能な場合は、純水タンクを水源として純水移送ポンプにより復水貯蔵タンクへ補給する。</p> <p>純水補給水系が使用できない場合は、淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) を水源として、大容量送水ポンプ (タイプ I) により復水貯蔵タンクへ補給する。</p> <p>淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) が使用できない場合で淡水タンクが使用可能な場合は、淡水タンクを水源として、大容量送水ポンプ (タイプ I) により復水貯蔵タンクへ補給する。</p> <p>淡水タンクが使用できない場合は、海を水源として、大容量送水ポンプ (タイプ I) により復水貯蔵タンクへ補給する。</p> <p>大容量送水ポンプ (タイプ I) が使用できない場合は、耐震性防火水槽を水源として、化学消防自動車により復水貯蔵タンクへ補給する。</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>以上の原子炉格納容器内へのスプレイ時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.44図に示す。</p> <p>(2) 水源へ水を補給するための対応手段</p> <p>a. 燃料取替用水ビットへの補給に利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、燃料取替用水ビットへの供給手段として、「1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順」で示す手段を用いて、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水の確保を図る。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は、水源へ水を補給するための対応手段の記載が炉心注水中と同様であるため、泊の記載箇所「(2) 水源へ水を補給するための対応手段」にて1.13.2.2(11)優先順位を再掲し、比較している。 <p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、可搬型大型送水ポンプ車による補給手段を整備しているため、敷設ルートについて記載している。 <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源を利用した対応手段の記載は、泊の記載箇所「(1) 水源を利用した対応手段」にて再掲し、比較している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>燃料取替用水ピットが水源として使用可能な場合については燃料取替用水ピットへの補給を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能で1次系純水タンクが使用可能である場合は、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。次に1次系純水タンクが使用不可能であれば、No.3淡水タンクを使用済燃料ピットを経由させて燃料取替用水ピットへ補給する。次にNo.2淡水タンクを水源とする消火設備による補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>なお、復水ピットの水を燃料取替用水ピットへ供給すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、当初選択した水源からの供給準備が完了後、引き続き次の水源からの供給準備を開始することで、水源が枯渇しないように、最終的には海水から取水することで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を確保する。</p> <p>また、淡水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬式代替低圧注水ポンプによる海水注水により、継続的な炉心注水及び代替炉心注水を成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,860m³以上に管理する。</p> <p>以上の炉心注水時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.29図に示す。</p>		<p>燃料取替用水ピットが水源として使用可能な場合については燃料取替用水ピットへの補給を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能で1次系純水タンクが使用可能である場合は、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。次に1次系純水タンクが使用不可能であれば、2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由させて燃料取替用水ピットへ補給する。次にろ過水タンクを水源とする消火設備による補給を実施する。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給は、準備に時間を要することから、燃料取替用水ピットへの補給が必要であると判断した場合に準備を開始する。保有水量が大きい原水槽を優先して使用するが、原水槽が使用できない場合は、代替給水ピットを使用する。</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、当初選択した水源からの送水準備が完了後、引き続き次の水源からの送水準備を開始することで、水源が枯渇しないように、最終的には海から取水することで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を確保する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬型大型送水ポンプ車による淡水又は海水の注水により、継続的な炉心注水及び代替炉心注水並びに格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーを成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,700m³以上に管理する。</p> <p>以上の使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.44図に示す。</p>	<p>【大阪】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑥） ・泊3号炉の代替給水ピットは、約473m³と容量が小さいことから、原水槽を優先して使用する。</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載内容の相違 ・泊は、可搬型大型送水ポンプ車による補給手段を整備しているため、敷設ルートについて記載している。</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑥） 【大阪】設備の相違（相違理由③、⑦） 【大阪】記載表現の相違 【大阪】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(9) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>復水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合の供給については、短時間で復水ピットの代替水源として確保できることから、No. 3淡水タンクを優先して使用することとし、No. 3淡水タンクの水位が低下すれば、A、B2次系純水タンクを用いたNo. 3淡水タンクへの補給を実施する。復水ピットからNo. 3淡水タンクへ切り替える際には補助給水ポンプを停止することなく切替えを行う。</p> <p>次にNo. 3淡水タンクが水源として使用不可能な場合については、脱気器タンクを水源とした蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に、すべての水源が使用不可能で蒸気発生器水位が低下した場合には、1次冷却系のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>また、復水ピットが使用可能であり、枯渇するおそれがある場合については、短時間で復水ピットの代替水源として確保できることから、No. 3淡水タンクを優先して使用する。</p> <p>No. 3淡水タンクが使用不可能であれば、No. 2淡水タンクを水源とする消火設備から復水ピットへの補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。</p>	<p>b. 淡水貯水槽への補給</p> <p>淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉圧力容器への注水等において、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）が枯渇しないように、大容量送水ポンプ（タイプII）により、海からの補給を実施する。</p> <p>海から淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）への補給は、取水口からの取水を優先し、取水口が使用できない場合には、海水ポンプ室から取水する。</p>	<p>b. 補助給水ピットへの補給に利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、補助給水ピットへの供給手段として、「1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順」で示す手段を用いて、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>また、補助給水ピットが使用可能であり、枯渇するおそれがある場合については、短時間で補助給水ピットの代替水源として確保できることから、2次系純水タンクを優先して使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給は、準備に時間を要することから、補助給水ピットへの補給が必要であると判断した場合に準備を開始する。保有水量が大きい原水槽を優先して使用するが、原水槽が使用できない場合は、代替給水ピットを使用する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>・水源を利用した対応手段の記載は、泊の記載箇所「(1) 水源を利用した対応手段」にて再掲し、比較している。</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由④）</p> <p>・泊3号炉の代替給水ピットは、約473m³と容量が小さいことから、原水槽を優先して使用する。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、補給開始後、引き続き次の水源からの補給準備を開始することで、水源が枯渇しないようにし、最終的には海水に水源を切り替えることで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を復水ピットへ補給することにより、継続的な蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）を成立させるため、復水ピットの保有水量を1,035m³以上に管理する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.12図に示す。</p> <p>1.13.2.5 使用済燃料ピットへの水の供給時に係る手順等 (1) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(2)「No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(2) No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(3)「No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋内消火栓）」及び1.11.2.1(4)「No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓）」にて整備する。</p>		<p>これらのタンク等の水量は有限であるが、補給開始後、引き続き次の水源からの補給準備を開始することで水源が枯渇しないようにし、最終的には海に水源を切り替えることで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を補助給水ピットへ補給することにより、継続的な蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）を成立させるため、補助給水ピットの保有水量を570m³以上に管理する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.44図に示す。</p> <p>c. 原水槽への補給に利用する水源の優先順位 原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.44図に示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【大阪】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(7) a, (a)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(3) e, (a)にて大阪を再掲し比較する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(5)「ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(4) ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(6)「ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(5) 1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(7)「1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(6) 海水から使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、海水から使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(8)「海水から使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(7) その他の手順項目にて考慮する手順 送水車への燃料補給の手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。 操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(4)i.(a)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(5)i.(a)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(6)a.(a)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(9)i.(a)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、女川の審査実績反映に伴い、「1.13.2.4その他の手順項目にて考慮する手順」にまとめて記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.13.2.6 使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー及び放水に係る手順等</p> <p>(1) 送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー</p> <p>使用済燃料ピットから大量の水の漏えいが発生した場合に、送水車及びスプレーヘッドにより海水を使用済燃料ピットへスプレーする手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.2(1)「送水車による使用済燃料ピットへのスプレー」にて整備する。また、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷のおそれがある場合に、送水車及びスプレーヘッドにより海水を原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）に放水する手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち、1.12.2.2(1) a. 「送水車及びスプレーヘッドによる大気への拡散抑制」にて整備する。</p> <p>(2) 大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水</p> <p>使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい等が発生した場合において、大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲により海水を原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へ放水を行う手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.2(2)「大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水」にて整備する。また、貯蔵槽内燃料体等が著しい損傷に至るおそれがある場合に、大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲により原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へ海水を放水する手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち、1.12.2.2(1) b. 「大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制」にて整備する。</p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>送水車への燃料補給の手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプ（放水砲用）への燃料補給の手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>・泊との比較は、1.13.2.1(9) i. (b)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>・泊との比較は、1.13.2.1(9) 1. (b)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>・泊は、女川の審査実績反映に伴い、「1.13.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順」にまとめて記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.13.2.7 炉心の著しい損傷及び格納容器の破損時の格納容器及びアニュラス部への放水に係る手順等</p> <p>(1) 大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水 重大事故等の発生により、大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲により海水を格納容器及びアニュラス部へ放水を行う手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち、1.12.2.1(1) a.「大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制」にて整備する。</p> <p>(2) その他の手順項目にて考慮する手順 大容量ポンプ（放水砲用）への燃料補給の手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」にて整備する。 操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(9) 4. (b)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、女川の審査実績反映に伴い、「1.13.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順」にまとめて記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由																																																				
<p>第1.13.1表 重大事故等における対応手段と整備する手順 (蒸気発生器2台側による炉心冷却 (注水) のための代替手段及び復水ピットへの供給)</p>																																																																									
蒸気発生器2台側による炉心冷却のための対応手段と整備する手順	復水ピット (復水不足状態)	対応手段 復水ピットからの復水供給	対応設備 N.0. 3号復水タンク 電動補助給水ポンプ ^{a)} ユーゼン 電動補助給水ポンプ	設備区分 ^{b)} 多相対化設備	整備する手順書 蒸気発生器2台側による炉心冷却のための対応手段と整備する手順	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制	蒸気発生器2台側による炉心冷却のための対応手段と整備する手順	復水ピット (枯渇)	対応手段 1次冷却水のポンプアップ プレート ブレード ^{c)} 蒸気発生器の冷却	対応設備 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵給水ポンプ ^{a)} 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵給水ポンプ	設備区分 ^{b)} 燃料貯蔵設備	整備する手順書 燃料貯蔵タンクからの復水供給	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制	蒸気発生器2台側による炉心冷却のための対応手段と整備する手順	復水ピット (枯渇)	対応手段 N.0. 3号復水タンク N.0. 2号復水タンク	対応設備 N.0. 3号復水タンク N.0. 2号復水タンク	設備区分 ^{b)} 多相対化設備	整備する手順書 復水タンクからの復水供給	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制	蒸気発生器2台側による炉心冷却のための対応手段と整備する手順	復水ピット (枯渇)	対応手段 N.0. 3号復水タンク N.0. 2号復水タンク	対応設備 N.0. 3号復水タンク N.0. 2号復水タンク	設備区分 ^{b)} 多相対化設備	整備する手順書 復水タンクからの復水供給	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制	蒸気発生器2台側による炉心冷却のための対応手段と整備する手順	復水ピット (枯渇)	対応手段 送水車 船舶ドラム ^{d)}	対応設備 送水車 船舶ドラム ^{d)}	設備区分 ^{b)} 送水車・船舶ドラム	整備する手順書 送水車・船舶ドラムによる復水供給	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制																																							
		<p>注1：大飯発電所 重大事故等発生時に実行する原子力発電所固有の対応手段と整備する手順 注2：ユーゼン 発電機停止により駆動する。 注3：本欄は「1.4.3.2 炉心冷却維持のためのポンプアップ」項目時に蒸気発生器用復水ポンプを冷却するための手順等)にて整備する。 注4：送水車の燃料供給に使用する設備のうち、本欄は「1.4.3.1 原子力発電所固有の対応手段と整備する手順等)にて整備する。 注5：送水車の燃料供給に使用する設備のうち、本欄は「1.4.3.1 原子力発電所固有の対応手段と整備する手順等)にて整備する。 注6：大飯発電所固有の対応手段と整備する手順 a) 注3及び注5に適合する重大事故等対応設備 b) 注3に適合する重大事故等対応設備 c) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制 d) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制</p>																																																																							
		<p>第1.13.2表 重大事故等における対応手段と整備する手順 (炉心注水のための代替手段及び燃料貯蔵用復水ピットへの供給、燃料貯蔵タンクからの供給、燃料貯蔵タンクからの供給)</p>																																																																							
		炉心注水のための代替手段及び燃料貯蔵用復水ピットへの供給	燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給						対応手段 燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給 1次冷却水のポンプアップ ほう機タンク ほう機ポンプ ^{a)} 水戻りポンプ ^{b)}	対応設備 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵給水ポンプ ^{a)} ユーゼン 電動補助給水ポンプ						設備区分 ^{b)} 燃料貯蔵設備	整備する手順書 燃料貯蔵タンクからの復水供給						手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制	燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給						対応手段 燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給 N.0. 2号復水タンク 電動補助給水ポンプ	対応設備 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵給水ポンプ ^{a)} ユーゼン 電動補助給水ポンプ				設備区分 ^{b)} 燃料貯蔵設備	整備する手順書 燃料貯蔵タンクからの復水供給	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制	燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給	対応手段 燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給 N.0. 2号復水タンク 電動補助給水ポンプ	対応設備 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵給水ポンプ ^{a)} ユーゼン 電動補助給水ポンプ	設備区分 ^{b)} 燃料貯蔵設備	整備する手順書 燃料貯蔵タンクからの復水供給	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制	燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給	対応手段 燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給 N.0. 2号復水タンク 電動補助給水ポンプ	対応設備 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵給水ポンプ ^{a)} ユーゼン 電動補助給水ポンプ	設備区分 ^{b)} 燃料貯蔵設備	整備する手順書 燃料貯蔵タンクからの復水供給	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制	燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給	対応手段 燃料貯蔵用復水ピットからの復水供給 N.0. 2号復水タンク 電動補助給水ポンプ	対応設備 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵給水ポンプ ^{a)} ユーゼン 電動補助給水ポンプ	設備区分 ^{b)} 燃料貯蔵設備	整備する手順書 燃料貯蔵タンクからの復水供給	手順の分類 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制																		
									<p>注1：大飯発電所 重大事故等発生時に実行する原子力発電所固有の対応手段と整備する手順 注2：ユーゼン 発電機停止により駆動する。 注3：本欄は「1.4.3.2 炉心冷却維持のためのポンプアップ」項目時に蒸気発生器用復水ポンプを冷却するための手順等)にて整備する。 注4：送水車の燃料供給に使用する設備のうち、本欄は「1.4.3.1 原子力発電所固有の対応手段と整備する手順等)にて整備する。 注5：送水車の燃料供給に使用する設備のうち、本欄は「1.4.3.1 原子力発電所固有の対応手段と整備する手順等)にて整備する。 注6：大飯発電所固有の対応手段と整備する手順 a) 注3及び注5に適合する重大事故等対応設備 b) 注3に適合する重大事故等対応設備 c) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制 d) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融防止の抑制</p>																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由			
第1.13.2表 重大事故等における対応手段と整備する手順 (炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給、格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給) (3/2)													
分類	機能喪失想定とする設備基準事故(SI)設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類							
炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給	燃料取扱用海水ピット(注満)⑤	N.o. 3 除水タンクから使用済燃料ピットへ排水し燃料取扱用海水ピットへの供給	N.o. 3 除水タンク	多様性 重大事故等対応設備	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順			
		N.o. 2 除水タンクから燃料取扱用海水ピットへの供給	N.o. 2 除水タンク								炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	
	海水ピットからの燃料取扱用海水ピットへの供給	海水ピット	海水ピット	重大事故等対応設備	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順			
		海水ピット	海水ピット								炉心注水のための水の確保に関する手順	炉心注水のための水の確保に関する手順	
格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給	燃料取扱用海水ピットからのN.o. 2 除水タンクへの水戻り切替④	N.o. 2 除水タンク	電動排水ポンプ	多様性 重大事故等対応設備	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順			
		ディーゼル排水ポンプ	ディーゼル排水ポンプ								格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	
		海水ピット	海水ピット								格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	
		加圧式燃料注水ポンプ	加圧式燃料注水ポンプ								格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	
	燃料取扱用海水ピットから海水ピットへの水戻り切替	海水ピット	海水ピット	重大事故等対応設備	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順		
		空冷式非常用発電機④	空冷式非常用発電機④									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順
		燃料貯蔵タンク④	燃料貯蔵タンク④									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順
		重油タンク④	重油タンク④									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順
	燃料取扱用海水ピットからの海水への水戻り切替④	タンクローリー④	タンクローリー④	重大事故等対応設備	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順		
		可搬式代替燃料注水ポンプ	可搬式代替燃料注水ポンプ									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順
		電動車(可搬式代替燃料注水ポンプ用)	電動車(可搬式代替燃料注水ポンプ用)									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順
		仮設自立式水櫃	仮設自立式水櫃									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順
		送水車	送水車									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順
		燃料貯蔵タンク④	燃料貯蔵タンク④									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順
燃料取扱用海水ピットからの海水への水戻り切替④	重油タンク④	重油タンク④	重大事故等対応設備	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順			
	タンクローリー④	タンクローリー④									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	
	軽油ドラム缶④	軽油ドラム缶④									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	
	可搬式代替燃料注水ポンプによる燃料取扱用海水ピットへの供給	可搬式代替燃料注水ポンプによる燃料取扱用海水ピットへの供給									格納容器注水のための水の確保に関する手順	格納容器注水のための水の確保に関する手順	
燃料取扱用海水ピット	⑤炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給の燃料取扱用海水ピットの供給時に対応する手段に用いる設備と手順												

【大阪】
 泊の比較箇所を再掲して比較する。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由							
第1.13.3表 重大事故等における対応手段と整備する手順 (熱納容器内循環ポンプを水源とした再循環運転)																												
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備		設備分類*	整備する手順書	手順の分類																					
格納容器内循環ポンプを水源とした再循環運転	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器	再循環運転	熱納容器内循環ポンプ	a,b	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び熱納容器損傷を防止する運転手順書															【大阪】 泊の比較箇所に再掲して比較する。						
			熱納容器内循環ポンプスクリーン																									
			高圧注入ポンプ ^{※1}																									
	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器及び高圧注入ポンプ	代替再循環運転 ^{※2}	熱納容器内循環ポンプ	a,b	a,b	A熱納容器スプレィポンプを用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び熱納容器損傷を防止する運転手順書																					
			熱納容器内循環ポンプスクリーン																									
			A熱納容器スプレィポンプ (RHS-CSS連動ライン使用) ^{※3}																									
			A熱納容器スプレィ冷却器																									
			熱納容器内循環ポンプ																									
			熱納容器内循環ポンプスクリーン																									
	全交電動力電源又は原子炉補機冷却水系	代替再循環運転 ^{※2}	B高圧注入ポンプ	a,b	a,b	B高圧注入ポンプ(海水冷却)を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び熱納容器損傷を防止する運転手順書																					
			海水冷却時																									
			空冷式冷却用発電機置 ^{※4}																									
			大容量ポンプ																									
			燃料油貯蔵タンク ^{※5}																									
熱納容器内循環ポンプ	代替再循環運転 ^{※2}	重油タンク ^{※6}	a,b	a,b	大容量ポンプによる原子炉補機冷却水系連動の手順 空冷式冷却用発電機置燃料補給の手順	S A所達 ^{※7}																						
		タンクローリー ^{※8}																										
		熱納容器内循環ポンプ																										
		熱納容器内循環ポンプスクリーン																										
A余熱除去ポンプ (空調用冷水)	代替再循環運転 ^{※2}	A余熱除去ポンプ (空調用冷水)			A余熱除去ポンプ (空調用冷水)を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順																							

※1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態のための冷却に用いる所達
 ※2：デューセル発電機等により駆動する
 ※3：手順：「1.4 原子炉冷却回路内のポンプ及び配管に故障が生じた場合の対応」にて整備する。
 ※4：空冷式冷却用発電機からの給電手順及び燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「1.6 原子炉熱納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※6：重大事故対応用として用いる設備の名称
 ※7：当該表に適合する重大事故等対応設備 a：37 条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉

第1.13.4表 重大事故等における対応手段と整備する手順
 (使用済燃料ピットへの水の供給)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
使用済燃料ピットへの水の供給	燃料貯蔵用ピット(格納又は放注)	N ₀ 、2号水タンクから使用済燃料ピットへの注水 ^{b)}	N ₀ 、3号水タンク	多様化設備等 格納設備等	使用済燃料ピットの溢漏時の対応手順	設備及び設計基準事故に対する運転手順書
		N ₀ 、2号水タンクから使用済燃料ピットへの注水 ^{c)}	N ₀ 、2号水タンク			
		ポンプ車によるN ₀ 、3号水タンクから使用済燃料ピットへの注水 ^{d)}	ポンプ車			
		ポンプ車によるN ₀ 、2号水タンクから使用済燃料ピットへの注水 ^{e)}	ポンプ車			
		1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水 ^{f)}	1次系純水タンク 1次系補給水ポンプ ^{g)}			
		雨水から使用済燃料ピットへの注水 ^{h)}	送水車 輸送ドラム缶 ⁱ⁾			

※1：大規模電源 重大事故等発生時に必要な原子炉施設の状態を確保するための活動に関する手順。
 ※2：予備は「11日使用済燃料貯蔵槽の注水のための手順等」にて整備する。
 ※3：予備は「11日使用済燃料貯蔵槽の注水のための手順等」にて整備する。
 ※4：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「18 原子炉格納容器内の冷却剤のための手順等」にて整備する。
 ※5：送水車の燃料補給に使用する。手順は「18 原子炉格納容器内の冷却剤のための手順等」にて整備する。
 ※6：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当表と共に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.5表 重大事故等における対応手段と整備する手順
 (使用済燃料ピットからの大量の水の漏れ発生時の使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料体等)へのスプレイ及び放水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
使用済燃料ピットからの大量の水の漏れ発生時の使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料体等)へのスプレイ及び放水	燃料貯蔵用ピット(格納又は放注)	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料体等)へのスプレイ ^{b)}	送水車 スプレイヘッダ 軽筒ドラム缶 ^{c)}	重大事故等対策設備 格納設備等	送水車を用いた燃料貯蔵用ピットへのスプレイのための手順	S/A所達 ^{d)}
		大容量ポンプ(放水用)による原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料体等)への放水 ^{e)}	大容量ポンプ(放水用)			
		大容量ポンプ(放水用)及び放水車による原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料体等)への放水 ^{f)}	放水車 燃料貯蔵タンク ^{g)} 重筒タンク ^{h)} タンクローリー ⁱ⁾			

※1：大規模電源 重大事故等発生時に必要な原子炉施設の状態を確保するための活動に関する手順。
 ※2：予備は「11日使用済燃料貯蔵槽の注水のための手順等」にて整備する。
 ※3：予備は「11日 上層等への放射性物質の注水に関する手順等」にて整備する。
 ※4：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「18 原子炉格納容器内の冷却剤のための手順等」にて整備する。
 ※5：送水車の燃料補給に使用する。手順は「18 原子炉格納容器内の冷却剤のための手順等」にて整備する。
 ※6：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当表と共に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.6表 重大事故等における対応手段と整備する手順
 (格納容器及びピニウス部への放水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
燃料貯蔵用ピニウス部への放水	燃料貯蔵用ピット(格納又は放注)	大容量ポンプ(放水用)	重大事故等対策設備 格納設備等	a	放水車・シルトフェンスによる放射性物質の拡散抑制手順	S/A所達 ^{b)}
		放水車				
		大容量ポンプ(放水用)及び放水車による格納容器及びピニウス部への放水 ^{c)}				
		重筒タンク ^{d)}				
		タンクローリー ^{e)}				

※1：大規模電源 重大事故等発生時に必要な原子炉施設の状態を確保するための活動に関する手順。
 ※2：予備は「11日 上層等への放射性物質の注水に関する手順等」にて整備する。
 ※3：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「18 原子炉格納容器内の冷却剤のための手順等」にて整備する。
 ※4：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当表と共に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【大飯】
 泊の比較箇所にて再掲して比較する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p style="text-align: center;">第1.13.1表より抜粋して掲載</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>① 工を原子炉冷却への注水</p> <p>② 1号冷却系のファンドプリード④</p> <p>③ 燃料取扱用ピット</p> <p>④ 高圧注入ポンプ②</p> <p>⑤ 原水貯蔵タンク</p> <p>⑥ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑦ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑧ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑨ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑩ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑪ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑫ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑬ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑭ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑮ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑯ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑰ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑱ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑲ 燃料取扱用ピット</p> <p>⑳ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉑ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉒ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉓ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉔ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉕ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉖ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉗ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉘ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉙ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉚ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉛ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉜ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉝ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉞ 燃料取扱用ピット</p> <p>㉟ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊱ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊲ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊳ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊴ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊵ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊶ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊷ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊸ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊹ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊺ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊻ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊼ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊽ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊾ 燃料取扱用ピット</p> <p>㊿ 燃料取扱用ピット</p> </div> <p>※1：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設保全のための活動に関する手順」 ※2：「ディーゼル発電機等」より記載する。 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 ※4：送水車の燃料補給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※5：重大事故等発生時における活動の分類 a：当該条文に適合する重大事故等対応設備 b：OT条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	<p style="text-align: center;">第1.13-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備及び手順書一覧(1/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">サプレッションチェンバ</td> <td rowspan="6">復水貯蔵タンクを水源とした対応</td> <td rowspan="6">原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレイ系（高圧炉心スプレイ系ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 制御棒駆動注水系（制御棒駆動水ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本文条【解釈】1b)項を満足するための代替水源（措置）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	サプレッションチェンバ	復水貯蔵タンクを水源とした対応	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレイ系（高圧炉心スプレイ系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 制御棒駆動注水系（制御棒駆動水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	<p style="text-align: center;">【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備、手順書一覧(1/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">燃料取扱用ピットを水源とした対応</td> <td rowspan="12">燃料取扱用ピットを水源とした対応</td> <td rowspan="12">燃料取扱用ピットを水源とした対応</td> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.1 緊急停止直後に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="12">a</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等発生時における活動の分類 a：当該条文に適合する重大事故等対応設備 b：OT条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	手順書の分類	燃料取扱用ピットを水源とした対応	燃料取扱用ピットを水源とした対応	燃料取扱用ピットを水源とした対応	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.1 緊急停止直後に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	a	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。 ・泊は重大事故等 対処設備（設計基準拡張）による 対応手段を整理。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																										
サプレッションチェンバ	復水貯蔵タンクを水源とした対応	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレイ系（高圧炉心スプレイ系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			復水貯蔵タンク 制御棒駆動注水系（制御棒駆動水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																												
	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																												
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	手順書の分類																																																									
燃料取扱用ピットを水源とした対応	燃料取扱用ピットを水源とした対応	燃料取扱用ピットを水源とした対応	燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.1 緊急停止直後に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	a																																																									
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
			燃料取扱用ピット 高圧注入ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p>復水貯蔵タンクを水源とした対応</p> <p>サプレッションチェンバを水源とした対応</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>対応手段、対処設備及び手順書一覧(2/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">復水貯蔵タンクを水源とした対応</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)</td> <td>復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水への注水</td> <td>復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)</td> <td>自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">サプレッションチェンバを水源とした対応</td> <td>原子炉冷却材圧力容器への注水</td> <td>サプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系(高圧炉心スプレイ系ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力容器への注水</td> <td>サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ) 低圧炉心スプレイ系(低圧炉心スプレイ系ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力容器への注水</td> <td>サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力容器への注水</td> <td>サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)</td> <td>自主対策設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水</td> <td>サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水</td> <td>サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本条文中【解釈】1b)項を満足するための代替注水(措置)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対処設備	手順等	復水貯蔵タンクを水源とした対応	原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉注水への注水	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)	自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	サプレッションチェンバを水源とした対応	原子炉冷却材圧力容器への注水	サプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系(高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉冷却材圧力容器への注水	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ) 低圧炉心スプレイ系(低圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉冷却材圧力容器への注水	サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉冷却材圧力容器への注水	サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	自主対策設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内の注水	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内の注水	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	<p>対応手段、対処設備、手順書一覧(2/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>整備する手順等</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉格納容器内の注水</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)</td> <td>自主対策設備</td> <td>復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水への注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)</td> <td>手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力容器への注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>サプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系(高圧炉心スプレイ系ポンプ)</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力容器への注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ) 低圧炉心スプレイ系(低圧炉心スプレイ系ポンプ)</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力容器への注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の注水</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)</td> <td>自主対策設備</td> <td>復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水への注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)</td> <td>手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等時において用いる設備の分類 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：当該事故に適合する重大事故等対処設備 c：自主対策として整備する重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順等	手順書の分類	原子炉格納容器内の注水	原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)	自主対策設備	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a, b	原子炉注水への注水	自主対策設備	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	a, b	原子炉冷却材圧力容器への注水	自主対策設備	サプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系(高圧炉心スプレイ系ポンプ)	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	a	原子炉冷却材圧力容器への注水	自主対策設備	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ) 低圧炉心スプレイ系(低圧炉心スプレイ系ポンプ)	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	a	原子炉冷却材圧力容器への注水	自主対策設備	サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	a	原子炉格納容器内の注水	自主対策設備	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a	原子炉格納容器内の注水	原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)	自主対策設備	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b	原子炉注水への注水	自主対策設備	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	a, b	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。 ・泊は重大事故等 対処設備(設計基準拡張)による 対応手段を整理。</p>
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対処設備	手順等																																																																													
復水貯蔵タンクを水源とした対応	原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														
	原子炉注水への注水	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)	自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																																														
サプレッションチェンバを水源とした対応	原子炉冷却材圧力容器への注水	サプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系(高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														
	原子炉冷却材圧力容器への注水	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ) 低圧炉心スプレイ系(低圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														
	原子炉冷却材圧力容器への注水	サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														
	原子炉冷却材圧力容器への注水	サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	自主対策設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														
	原子炉格納容器内の注水	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																														
	原子炉格納容器内の注水	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	重大事故等対処設備 (設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																														
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順等	手順書の分類																																																																												
原子炉格納容器内の注水	原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)	自主対策設備	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a, b																																																																												
	原子炉注水への注水	自主対策設備	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	a, b																																																																												
	原子炉冷却材圧力容器への注水	自主対策設備	サプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系(高圧炉心スプレイ系ポンプ)	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	a																																																																												
	原子炉冷却材圧力容器への注水	自主対策設備	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ) 低圧炉心スプレイ系(低圧炉心スプレイ系ポンプ)	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	a																																																																												
	原子炉冷却材圧力容器への注水	自主対策設備	サプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	a																																																																												
	原子炉格納容器内の注水	自主対策設備	サプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a																																																																												
原子炉格納容器内の注水	原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ)	自主対策設備	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設) (復水移送ポンプ)	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b																																																																												
	原子炉注水への注水	自主対策設備	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系(常設) (燃料プール補給水ポンプ)	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	a, b																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>【比較のため1.13-1表(1/11)を再掲】</p> <p>第1.13-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備及び手順書一覧(1/11)</p> <table border="1" data-bbox="761 207 1332 997"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">復水貯蔵タンクを本質として対応</td> <td rowspan="3">サプレッションチェンバ</td> <td rowspan="3">原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧中心スプレイ系（高圧中心スプレイ系ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 精製軽水圧入系（精製軽水ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動転圧注水系ポンプ）</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動転圧注水系ポンプ）</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内冷却装置（軽水移送ポンプ）</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の喪失に備える手順等」にて整備する。 ※2：本文【解釈】(b)項を満足するための代替注水（指標）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	復水貯蔵タンクを本質として対応	サプレッションチェンバ	原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧中心スプレイ系（高圧中心スプレイ系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 精製軽水圧入系（精製軽水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動転圧注水系ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動転圧注水系ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内冷却装置（軽水移送ポンプ）	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。	<p>対応手段、対処設備、手順書一覧(3/17)</p> <table border="1" data-bbox="1377 183 1993 1037"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> <th>相違の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">精製軽水ポンプを本質とした対応</td> <td rowspan="10">原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="10">原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ</td> <td>手順は「1.1 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>a, b</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：施設形式に適合する重大事故等対策設備 b：形式に適合する重大事故等対策設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対策設備 ※2：施設形式に適合する重大事故等対策設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	相違の分類	精製軽水ポンプを本質とした対応	原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.1 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b	精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b	精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。		原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b	精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。		精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b	精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。		精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b	精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。		精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。 ・泊は重大事故等 対処設備（設計基準拡張）による 対応手段を整理。</p>
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																													
復水貯蔵タンクを本質として対応	サプレッションチェンバ	原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。																																																														
			復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧中心スプレイ系（高圧中心スプレイ系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																														
			復水貯蔵タンク 精製軽水圧入系（精製軽水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。																																																														
	原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。																																																															
		復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動転圧注水系ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。																																																															
		復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動転圧注水系ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。																																																															
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内冷却装置（軽水移送ポンプ）	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	相違の分類																																																													
精製軽水ポンプを本質とした対応	原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.1 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b																																																													
			精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b																																																													
			精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																														
			原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b																																																													
			精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。																																																														
			精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b																																																													
			精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																														
			精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b																																																													
			精製軽水ポンプ 90度傾斜転圧注水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																														
			精製軽水ポンプ 蒸気発生時給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力ベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蒸気発生を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b																																																													

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.2表(1/2)より抜粋して掲載

燃料取扱用水	No. 2 供水タンク	備
セプトから	電動的だがポンプ	
No. 2 供水タンクへの水供給設備	ディーゼル機がポンプ	

※1：「大飯発電所」重大事故等発生時に実行する原子炉施設の保全のための活動に関する所節
 ※2：ディーゼル発電機等により発電する。
 ※3：手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンス防止に際して緊急に冷却用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：空冷式冷却材循環装置からの冷却水供給（詳細については「1.14 冷却材循環に関する手順等」にて整備する。
 ※5：電源車（中絶大代替機注水ポンプ用）が燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給等」にて整備する。
 ※6：注水車の燃料供給に使用する設備のうちである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給等」にて整備する。
 ※7：重大事故発生時に用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：当該表文に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対処設備及び手順書一覧(3/11)				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等
サブプレッションチャンベ	-	原子炉格納容器冷却系内の圧熱交換及び	サブプレッションチャンベ 代替循環冷却系（代替循環冷却ポンプ）	重大事故等対応設備 手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧状態を防止するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器下部への注水	サブプレッションチャンベ 代替循環冷却系（代替循環冷却ポンプ） 原子炉格納容器下部注水系（常設）（代替循環冷却ポンプ）	重大事故等対応設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンス防止に際して緊急に冷却用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材を冷却するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」にて整備する。
ろ過水タンクを水源とした対応	-	原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：本表文【解釈】b)項を満足するための代替注水原（積置）

泊発電所3号炉

対応手段、対処設備、手順書一覧(4/17)					
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等	手順書の分類
燃料取扱用水セプト	-	原子炉格納容器冷却系内の圧熱交換及び	ろ過水タンク 電動機駆動式ポンプ ディーゼル機駆動式ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.4 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」にて整備する。	手順書の分類
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク 電動機駆動式ポンプ ディーゼル機駆動式ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」にて整備する。	
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク 電動機駆動式ポンプ ディーゼル機駆動式ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」にて整備する。	
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク 電動機駆動式ポンプ ディーゼル機駆動式ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却材を冷却するための手順等」にて整備する。	
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク 電動機駆動式ポンプ ディーゼル機駆動式ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	

※1：重大事故発生時に用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：当該表文に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p style="text-align: center;">第 1.13.4 表より抜粋して掲載</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料ピット への注水*</td> <td>No. 3 淡水タンク</td> <td>多 様 性 に 注 意 す る</td> <td>ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料 ピットへの注水手順</td> </tr> </table> </div> <p style="font-size: 8px;">※1：「大飯発電所」重大事故等発生期における原子炉施設の状態のための活動に関する所庫 ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。 ※3：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※4：注水車の燃料補給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※5：重大事故等対策として用いる設備の分類 a：当該策に適合する重大事故等対応設備 b：当該策に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	燃料取替用水ピット	ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料ピット への注水*	No. 3 淡水タンク	多 様 性 に 注 意 す る	ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料 ピットへの注水手順	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備及び手順書一覧(5/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">淡水貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器上部への注水</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td> <td>重大事故等対応設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水槽 (No. 1) ※2 淡水貯水槽 (No. 2) ※2</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">淡水貯水槽を水源とした対応</td> <td rowspan="2">原子炉ウエルへの注水</td> <td rowspan="2">熱水貯水槽 (No. 1) ※4 淡水貯水槽 (No. 2) ※2 原子炉格納容器上部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td> <td>燃料プール代替注水系(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td> <td>自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等) 燃料プールのスプレイ系(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等)</td> <td>重大事故等対応設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">他用済燃料プールの注水</td> <td rowspan="2">淡水貯水槽 (No. 1) ※2 淡水貯水槽 (No. 2) ※2</td> <td>—</td> <td>自主対策設備</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 8px;">※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本文文【解釈】(b)項を満足するための代替淡水源(貯蔵)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順等	淡水貯蔵タンク	原子炉格納容器上部への注水	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	重大事故等対応設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	淡水貯水槽 (No. 1) ※2 淡水貯水槽 (No. 2) ※2	自主対策設備	淡水貯水槽を水源とした対応	原子炉ウエルへの注水	熱水貯水槽 (No. 1) ※4 淡水貯水槽 (No. 2) ※2 原子炉格納容器上部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等) 燃料プールのスプレイ系(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等)	重大事故等対応設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。	—	他用済燃料プールの注水	淡水貯水槽 (No. 1) ※2 淡水貯水槽 (No. 2) ※2	—	自主対策設備	<p style="text-align: center;">【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧(6/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>設備の相違</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ピット</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の溶融炉心の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替給水ピットを水源とした対応</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 8px;">*1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 *2：重大事故等対策として用いる設備の分類 a：当該策に適合する重大事故等対応設備 b：当該策に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備の相違	整備する手順書	手順書の分類	燃料取替用水ピット	—	—	代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1	自主対策設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の溶融炉心の冷却等のための手順等」にて整備する。	—	—	—	—	—	—	代替給水ピットを水源とした対応	—	—	代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1	自主対策設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。	—	—	—	—	—	—	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。</p>
燃料取替用水ピット	ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料ピット への注水*	No. 3 淡水タンク	多 様 性 に 注 意 す る	ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料 ピットへの注水手順																																																																							
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順等																																																																							
淡水貯蔵タンク	原子炉格納容器上部への注水	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	重大事故等対応設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																							
			淡水貯水槽 (No. 1) ※2 淡水貯水槽 (No. 2) ※2	自主対策設備																																																																							
淡水貯水槽を水源とした対応	原子炉ウエルへの注水	熱水貯水槽 (No. 1) ※4 淡水貯水槽 (No. 2) ※2 原子炉格納容器上部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																																							
			燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等) 燃料プールのスプレイ系(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等)	重大事故等対応設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																							
—	他用済燃料プールの注水	淡水貯水槽 (No. 1) ※2 淡水貯水槽 (No. 2) ※2	—	自主対策設備																																																																							
			分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備の相違	整備する手順書	手順書の分類																																																																		
燃料取替用水ピット	—	—	代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1	自主対策設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の溶融炉心の冷却等のための手順等」にて整備する。	—																																																																					
			—	—	—	—	—																																																																				
代替給水ピットを水源とした対応	—	—	代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1	自主対策設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	—																																																																					
			—	—	—	—	—																																																																				
—	—	—	代替給水ピット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(淡水車用) 燃料補給設備*1	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。	—																																																																					
			—	—	—	—	—																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備及び手順書一覧(6/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">淡水貯蔵タンクサブレーションチェンバ</td> <td rowspan="3">機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、ろ過水系配管・弁、給排水処理設備配管・弁、燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力バウンス抑制装置</td> <td>淡水タンク、結晶代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内冷却装置</td> <td>淡水タンク、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td>原子炉格納容器上部への注水</td> <td>淡水タンク、原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉ウエルへの注水</td> <td>淡水タンク、原子炉格納容器頂部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td> <td>自主対策設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電線の破損に関する手順等」にて整備する。 ※2：本文【解釈】1b)を満足するための代替送水組 (指針)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備	対応手段	対処設備	手順等	淡水貯蔵タンクサブレーションチェンバ	機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備	大容量送水ポンプ(タイプ1)	大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、ろ過水系配管・弁、給排水処理設備配管・弁、燃料補給設備 ※1	自主対策設備	原子炉格納容器圧力バウンス抑制装置	淡水タンク、結晶代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備	原子炉格納容器内冷却装置	淡水タンク、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備	-	-	原子炉格納容器上部への注水	淡水タンク、原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備	原子炉ウエルへの注水	淡水タンク、原子炉格納容器頂部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧(7/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>運用等</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.2 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.3 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.4 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.5 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.17 電線の破損に関する手順等」にて整備する。 ※2：本文【解釈】1b)を満足するための代替送水組 ※3：自主的対策として整備する最大容量等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備	対応手段	対処設備	運用等	手順書の分類	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.2 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.3 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	-	-	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.4 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.5 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」にて整備する。	-	-	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。</p>
	分類	機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																										
	淡水貯蔵タンクサブレーションチェンバ	機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備	大容量送水ポンプ(タイプ1)	大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、ろ過水系配管・弁、給排水処理設備配管・弁、燃料補給設備 ※1	自主対策設備																																																										
			原子炉格納容器圧力バウンス抑制装置	淡水タンク、結晶代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備																																																										
			原子炉格納容器内冷却装置	淡水タンク、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備																																																										
-	-	原子炉格納容器上部への注水	淡水タンク、原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備																																																											
		原子炉ウエルへの注水	淡水タンク、原子炉格納容器頂部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	自主対策設備																																																											
分類	機能喪失を想定する設計基準事象/対処設備	対応手段	対処設備	運用等	手順書の分類																																																										
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.2 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
		燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.3 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
-	-	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.4 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
		燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.5 原子炉格納容器圧力バウンス抑制時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」にて整備する。																																																										
-	-	燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																										
		燃料貯蔵タンク	大容量送水ポンプ(タイプ1)、可搬型ホース・接続口、ホース延長・回収車(送水専用)、燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																										

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉 【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】	相違理由																																																																					
<p style="text-align: center;">第 1.13.4 表より抜粋して掲載</p> <p style="text-align: center;">(情報又は秘伝)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">トへの水の供給</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">ポンプ車による N0、2 汲水タンクから起用済燃料ピットへの注水^{※2}</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">N0、2 汲水タンク ポンプ車</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">ポンプ車による N0、2 汲水タンクから起用済燃料ピットへの注水手順</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">SA所達^{※1}</td> </tr> </table> <p>※1：「大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる原子炉施設の保全のための活動に関する手順」 ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。 ※3：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※4：送水車の燃料補給に使用する貯蔵槽のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※5：重大事故発生時において用いる設備の分類 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：27 条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	トへの水の供給	ポンプ車による N0、2 汲水タンクから起用済燃料ピットへの注水 ^{※2}	N0、2 汲水タンク ポンプ車	ポンプ車による N0、2 汲水タンクから起用済燃料ピットへの注水手順	SA所達 ^{※1}	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備及び手順書一覧(7/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故等対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">海水タンクを水源とした対応</td> <td rowspan="2">—</td> <td>使用済燃料ピットへの注水スプレイ</td> <td>汲水タンク 燃料プール代替注水系（常設配管）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等〕 燃料プール代替注水系（可搬型）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等〕 燃料プールのスプレイ系（常設配管）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等〕 燃料プールのスプレイ系（可搬型）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等〕</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピットへの注水スプレイ</td> <td>汲水タンク 大型化学汚水貯留車 化学汚水貯留車 ホース・接続口 ろ過水系配管・弁 新排水処理設備配管・弁 燃料プールの浄化系配管・弁 スプレイノズル 使用済燃料プール</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海水を水源とした対応</td> <td rowspan="2">復水貯蔵タンク サブプレッションチャンバ</td> <td>大容量送水ポンプ（タイプⅠ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>大容量送水ポンプ（タイプⅠ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>重大事故等対応設備 「重大事故等対応要領書」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ（タイプⅠ） 大容量送水ポンプ（タイプⅡ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>大容量送水ポンプ（タイプⅠ） 大容量送水ポンプ（タイプⅡ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>重大事故等対応設備 「重大事故等対応要領書」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本表文【備考】(h)項を満足するための代替汲水車（積置）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故等対応設備	対応手段	対処設備	手順等	海水タンクを水源とした対応	—	使用済燃料ピットへの注水スプレイ	汲水タンク 燃料プール代替注水系（常設配管）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等〕 燃料プール代替注水系（可搬型）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等〕 燃料プールのスプレイ系（常設配管）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等〕 燃料プールのスプレイ系（可搬型）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等〕	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	使用済燃料ピットへの注水スプレイ	汲水タンク 大型化学汚水貯留車 化学汚水貯留車 ホース・接続口 ろ過水系配管・弁 新排水処理設備配管・弁 燃料プールの浄化系配管・弁 スプレイノズル 使用済燃料プール	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	海水を水源とした対応	復水貯蔵タンク サブプレッションチャンバ	大容量送水ポンプ（タイプⅠ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1	大容量送水ポンプ（タイプⅠ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1	重大事故等対応設備 「重大事故等対応要領書」 「大容量送水ポンプによる送水」	大容量送水ポンプ（タイプⅠ） 大容量送水ポンプ（タイプⅡ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1	大容量送水ポンプ（タイプⅠ） 大容量送水ポンプ（タイプⅡ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1	重大事故等対応設備 「重大事故等対応要領書」 「大容量送水ポンプによる送水」	<p style="text-align: center;">【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧（8/17）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故等対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類※1</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵用ピット</td> <td rowspan="2">—</td> <td>注水ポンプ車による注水</td> <td>大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ車による注水</td> <td>大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の最低レベルを防止するための手順等」にて整備する。</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海水を水源とした対応</td> <td rowspan="2">—</td> <td>注水ポンプ車による注水</td> <td>大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等に関する手順等」にて整備する。</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ車による注水</td> <td>大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海水を水源とした対応</td> <td rowspan="2">—</td> <td>注水ポンプ車による注水</td> <td>大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」及び「1.12 発電機内の冷却設備の稼働を制御するための手順等」にて整備する。</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ車による注水</td> <td>大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td>自主対策設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：重大事故発生時において用いる設備の分類 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：27 条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故等対応設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類	燃料貯蔵用ピット	—	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主対策設備	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の最低レベルを防止するための手順等」にて整備する。	自主対策設備	海水を水源とした対応	—	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等に関する手順等」にて整備する。	自主対策設備	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主対策設備	海水を水源とした対応	—	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」及び「1.12 発電機内の冷却設備の稼働を制御するための手順等」にて整備する。	自主対策設備	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主対策設備	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。</p>
トへの水の供給	ポンプ車による N0、2 汲水タンクから起用済燃料ピットへの注水 ^{※2}	N0、2 汲水タンク ポンプ車	ポンプ車による N0、2 汲水タンクから起用済燃料ピットへの注水手順	SA所達 ^{※1}																																																																				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故等対応設備	対応手段	対処設備	手順等																																																																				
海水タンクを水源とした対応	—	使用済燃料ピットへの注水スプレイ	汲水タンク 燃料プール代替注水系（常設配管）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等〕 燃料プール代替注水系（可搬型）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等〕 燃料プールのスプレイ系（常設配管）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等〕 燃料プールのスプレイ系（可搬型）〔大容量送水ポンプ（タイプⅠ）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等〕	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																				
		使用済燃料ピットへの注水スプレイ	汲水タンク 大型化学汚水貯留車 化学汚水貯留車 ホース・接続口 ろ過水系配管・弁 新排水処理設備配管・弁 燃料プールの浄化系配管・弁 スプレイノズル 使用済燃料プール	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																				
海水を水源とした対応	復水貯蔵タンク サブプレッションチャンバ	大容量送水ポンプ（タイプⅠ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1	大容量送水ポンプ（タイプⅠ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1	重大事故等対応設備 「重大事故等対応要領書」 「大容量送水ポンプによる送水」																																																																				
		大容量送水ポンプ（タイプⅠ） 大容量送水ポンプ（タイプⅡ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1	大容量送水ポンプ（タイプⅠ） 大容量送水ポンプ（タイプⅡ） ホース延長回収車 貯留車 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1	重大事故等対応設備 「重大事故等対応要領書」 「大容量送水ポンプによる送水」																																																																				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故等対応設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類																																																																		
燃料貯蔵用ピット	—	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主対策設備																																																																		
		注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の最低レベルを防止するための手順等」にて整備する。	自主対策設備																																																																		
海水を水源とした対応	—	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等に関する手順等」にて整備する。	自主対策設備																																																																		
		注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主対策設備																																																																		
海水を水源とした対応	—	注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」及び「1.12 発電機内の冷却設備の稼働を制御するための手順等」にて整備する。	自主対策設備																																																																		
		注水ポンプ車による注水	大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主対策設備																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>第 1.13.4 表より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1次系統水タンクから使用済燃料ピットへの注水時</td> <td>1次系統水タンク 1次系統給水ポンプ</td> <td>1次系統水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順</td> <td></td> </tr> <tr> <td>N0、3注水タンクから使用済燃料ピットへの注水時</td> <td>N0、3注水タンク</td> <td>使用済燃料ピットの最終時の対応手順</td> <td>設備及び設計基準事故に对应する運転手順書</td> </tr> </table> <p>※1：「大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所産」 ※2：「ディーゼル発電機等により給電する」 ※3：「手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する」 ※4：「送水車の燃料槽に使用済燃料ピット内での注水」 ※5：「重大事故等対策において用いる設備の分類」 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	1次系統水タンクから使用済燃料ピットへの注水時	1次系統水タンク 1次系統給水ポンプ	1次系統水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順		N0、3注水タンクから使用済燃料ピットへの注水時	N0、3注水タンク	使用済燃料ピットの最終時の対応手順	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; color: blue;">【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧（9/17）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故発生時設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1次系統水タンクからの注水時</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td>1次系統水タンク 1次系統給水ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>2次系統水タンク 2次系統給水ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料貯蔵ピット</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td>高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr> <td>高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td>高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：「重大事故等対策において用いる設備の分類」 ※2：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故発生時設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	1次系統水タンクからの注水時	-	-	1次系統水タンク 1次系統給水ポンプ	自主対策設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。	-	2次系統水タンク 2次系統給水ポンプ	自主対策設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵ピット	-	-	高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。	-	高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。	高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。	高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。	-	-	-	高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。	-	高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。</p>
1次系統水タンクから使用済燃料ピットへの注水時	1次系統水タンク 1次系統給水ポンプ	1次系統水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順																																																				
N0、3注水タンクから使用済燃料ピットへの注水時	N0、3注水タンク	使用済燃料ピットの最終時の対応手順	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書																																																			
分類	機能喪失を想定する設計基準事故発生時設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類																																																
1次系統水タンクからの注水時	-	-	1次系統水タンク 1次系統給水ポンプ	自主対策設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。	-																																																
			2次系統水タンク 2次系統給水ポンプ	自主対策設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																	
燃料貯蔵ピット	-	-	高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。	-																																																
			高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。																																																	
			高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。																																																	
			高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。																																																	
-	-	-	高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。	-																																																
			高圧注水ポンプ 燃料貯蔵ピットへの注水	自主対策設備	手順書「1.10 原子炉燃料貯蔵ピット内での注水」にて整備する。																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉

第1.13.2表(2/2)より抜粋して掲載

可燃式代替圧入注水ポンプ	公称流量	ab	燃料貯蔵タンクからの海水への水汲み上げ	心筋の著しい損傷が発生した場合に、対応する運転手順書	SAJ所蔵 ^{※1}
電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	電機系				
既設簡立式水櫃	既設簡立式水櫃				
送水車	送水車				
燃料貯蔵タンク ^{※2}	燃料貯蔵タンク				
転送ドラム缶 ^{※3}	転送ドラム缶				

※1：「大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所産」
 ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。
 ※3：手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※4：総合制御室(運転監視室)の設備(手順書)と燃料貯蔵タンクに関する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※6：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等発生時において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.4表より抜粋して掲載

海水から燃料貯蔵タンクへの注水	送水車	ab	燃料貯蔵タンク
燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンク		

※1：「大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所産」
 ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。
 ※3：手順は「1.11 燃料貯蔵タンク内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※4：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等発生時において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

【比較のため、1.13-1表(8/11)を再掲】

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等
電水貯蔵タンク サブプレッションチャンバ	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	手順は「1.4 原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)」にて整備する。
		原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	手順は「1.6 原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)」にて整備する。
電水貯蔵タンク	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	手順は「1.8 原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)」にて整備する。
		原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	手順は「1.10 水素発生による原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)」にて整備する。
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	手順は「1.11 燃料貯蔵タンクからの海水への注水」にて整備する。
		燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	手順は「1.11 燃料貯蔵タンクからの海水への注水」にて整備する。

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：水素発生【対策】(b)項を満足するための代替注水(再掲)

【比較のため、1.13-1表(9/11)より抜粋して掲載】

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	手順は「1.5 最終セーティングタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。

泊発電所3号炉

【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】

対応手段、対処設備、手順書一覧(11/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等	整備する手順書	評価書の分類
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a, b	a, b
		燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。		
電水貯蔵タンク	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	手順は「1.8 原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)」にて整備する。	a, b	a, b
		原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	電機系(可燃式代替圧入注水ポンプ)	手順は「1.6 原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)」にて整備する。		
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	手順は「1.10 水素発生による原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)」にて整備する。	a	a
		燃料貯蔵タンクからの海水への注水	燃料貯蔵タンクからの海水への注水	手順は「1.11 燃料貯蔵タンクからの海水への注水」にて整備する。		

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等発生時において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は、水源ごとに
 対応手段及び設備を整理。
 ・泊は流路使用する設備を記載。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉

第1.13.5表及び6表を再掲

第1.13.5表 重大事故等における対応手段と整備する手順
 (使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料体系等)へのスプレイ及び放水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類	
使用済燃料ピットから大量の水が漏れ、貯蔵槽内燃料体系等へのスプレイ及び放水	-	-	送水車	重大事故等対応設備	a	原子炉周辺建屋への放水用・シールドファンによる放射性物質遮蔽手順	SA所達 ⁴⁾
			スプレイヘッダ				
			軽油ドラム缶 ⁵⁾				
			大容量ポンプ(放水用)				
			放水砲				
			燃料貯蔵タンク ⁶⁾				
			重油タンク ⁶⁾				
			タンクローリー ⁶⁾				
			大容量ポンプ(放水用)及び放水砲による原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料体系等)への放水 ⁷⁾				
			燃料貯蔵タンク ⁶⁾				

※1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉周辺の警戒のための活動に関する指針
 ※2：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。
 ※4：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※5：送水車の燃料補給に使用する設備内のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※6：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.6表 重大事故等における対応手段と整備する手順
 (格納容器及びピュラス前への放水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類	
格納容器及びピュラス前への放水	-	-	大容量ポンプ(放水用)	重大事故等対応設備	a	放水用・シールドファンによる放射性物質遮蔽手順	SA所達 ⁴⁾
			放水砲				
			燃料貯蔵タンク ⁶⁾				
			重油タンク ⁶⁾				
			タンクローリー ⁶⁾				

※1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉周辺の警戒のための活動に関する指針
 ※2：手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。
 ※3：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※4：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対処設備及び手順書一覧(9/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類	
格納容器及びピュラス前への放水	-	-	原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)(原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプ)	重大事故等対応設備 (設計基準事故対応設備)	a	緊急停止失敗時に発電用原子炉を求電停止するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却を全冷却するための手順等」にて整備する。	SA所達 ⁴⁾
			原子炉補機代替冷却水系(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換器ユニット、ホース延長回収車、ホース・給熱用ヘッダ・接続口等)				
			大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・給熱用ヘッダ・接続口 貯留庫 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料補給設備 添1				
			大容量送水ポンプ(タイプ2) ホース延長回収車 放水砲 貯留庫 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料補給設備 添1				
			航空機操縦燃料火災への対応				
			原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却を全冷却するための手順等」にて整備する。				
			原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却を全冷却するための手順等」にて整備する。				
			原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却を全冷却するための手順等」にて整備する。				
			原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却を全冷却するための手順等」にて整備する。				
			原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却を全冷却するための手順等」にて整備する。				

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：本条文中【緑字】10)項を満足するための代替放水(指針)

泊発電所3号炉

【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】

対応手段、対処設備、手順書一覧(12/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類*	整備する手順書	手順書の分類	
格納容器及びピュラス前への放水	-	-	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾	重大事故等対応設備	a	手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の冷却を抑制するための手順等」にて整備する。	SA所達 ⁴⁾
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水車用) 非食用取水設備 燃料補給設備 ⁶⁾				

*1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は、水源ごとに
 対応手段及び設備を整理。
 ・泊は流路使用する設備を記載。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.3表を再掲

第1.13.3表 重大事故等における対応手段と整備する手順（格納容器再循環システムを水源とした再循環運転）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器	再循環運転	格納容器再循環システム	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器再循環システムスクリーン			
			高圧注入ポンプ ⁴⁾			
	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器及び高圧注入ポンプ	代替の高圧運転 ⁵⁾	格納容器再循環システム	a,b	B高圧注入ポンプを用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器再循環システムスクリーン			
			A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSSS建機ライオン使用） ⁶⁾			
			A格納容器スプレイ冷却器			
	全交流動力電源又は原子炉再循環冷却系	代替の高圧運転 ⁵⁾	格納容器再循環システム	a,b	大容量ポンプによる原子炉再循環冷却系運転手順書	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器再循環システムスクリーン			
			B高圧注入ポンプ（海水冷却）			
			真空式非常用発電機装置 ⁷⁾			
			大容量ポンプ			
			燃料供給減圧タンク ⁸⁾			
			重油タンク ⁹⁾			
タンクローリー ¹⁰⁾						
格納容器再循環システム	c	A余熱除去ポンプ（空調用冷却）を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	S A所達 ¹¹⁾			
格納容器再循環システムスクリーン						
A余熱除去ポンプ（空調用冷却）						

※1：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための対応」に明記する所達。
 ※2：「ディーゼル発電機」により駆動する。
 ※3：手順書 1.4 原子炉冷却回路にバウンダリ制御時に発電用原子炉を冷却するための手順書にて整備する。
 ※4：空冷式非常用発電機装置からの発電手順及び燃料供給手順については、1.14 電炉の項に記す手順書にて整備する。
 ※5：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順書 1.6 原子炉再循環冷却系の冷却のための手順書にて整備する。
 ※6：重大事故等発生時に用いて、この設備の分類。
 ※7：重大事故等発生時に用いて、この設備の分類。
 ※8：当該表に適合する重大事故等対応設備。 ※9：当該表に適合する重大事故等対応設備。 ※10：当該表に適合する重大事故等対応設備。 ※11：自立的対応として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

泊3号炉との比較対象なし

泊発電所3号炉

対応手段、対処設備、手順書一覧（13/17）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器	再循環運転	格納容器再循環システム 高圧注入ポンプ	a, b	手順書 1.4 原子炉冷却回路にバウンダリ制御時に発電用原子炉を冷却するための手順書にて整備する。	
			格納容器再循環システムスクリーン			
			高圧注入ポンプ ⁴⁾			
			格納容器再循環システム			
			格納容器スプレイポンプ			
代替の高圧運転 ⁵⁾	代替の高圧運転 ⁵⁾	代替の高圧運転 ⁵⁾	格納容器再循環システム 高圧注入ポンプ	a, b	手順書 1.4 原子炉冷却回路にバウンダリ制御時に発電用原子炉を冷却するための手順書にて整備する。	
			格納容器再循環システムスクリーン			
			A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSSS建機ライオン使用） ⁶⁾			
			A格納容器スプレイ冷却器			
全交流動力電源又は原子炉再循環冷却系	代替の高圧運転 ⁵⁾	代替の高圧運転 ⁵⁾	格納容器再循環システム	a, b	手順書 1.4 原子炉冷却回路にバウンダリ制御時に発電用原子炉を冷却するための手順書にて整備する。	
			格納容器再循環システムスクリーン			
			B高圧注入ポンプ（海水冷却）			
			真空式非常用発電機装置 ⁷⁾			
			大容量ポンプ			
			燃料供給減圧タンク ⁸⁾			
			重油タンク ⁹⁾			
タンクローリー ¹⁰⁾						
格納容器再循環システム	c	A余熱除去ポンプ（空調用冷却）を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	S A所達 ¹¹⁾			
格納容器再循環システムスクリーン						
A余熱除去ポンプ（空調用冷却）						

※1：手順書 1.14 電炉の項に記す手順書にて整備する。
 ※2：重大事故等発生時に用いて、この設備の分類。
 ※3：当該表に適合する重大事故等対応設備。 ※4：自立的対応として整備する重大事故等対応設備

相違理由
 【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

第 1.13.2 表を抜粋して再掲

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

対応手段、対処設備及び手順書一覧(10/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等
復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応	燃料取扱用ウォーター（抽出）	No. 2 復水タンクから燃料取扱用ウォーターへの補給 No. 2 復水タンク	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ（タイプ1） ホース延長回収車 補給水配管・弁 燃料補給設備 ※1	重大事故等対応要領書 「復水貯蔵タンクから復水貯蔵タンクへの補給」
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ（タイプ1） ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過タンク 取水タンク 補給水配管・弁 ろ過水配管・弁 給排水処理装置配管・弁 燃料補給設備 ※1	自主対策設備
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ（タイプ1） ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 補給水配管・弁 取水口 取水路 海水ポンプ室 燃料補給設備 ※1	重大事故等対応要領書 「高から復水貯蔵タンクへの補給」
			化学防護用自動車 ホース 耐震性防火水櫃	自主対策設備

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：本文表【解釈】1b)項を満足するための代替決水経（措置）

対応手段、対処設備、手順書一覧(14/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書の相違	手順書の相違
燃料取扱用ウォーターへ水を補給するための対応	燃料取扱用ウォーター（抽出）	No. 2 復水タンクから燃料取扱用ウォーターへの補給 No. 2 復水タンク	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ（タイプ1） ホース延長回収車 補給水配管・弁 燃料補給設備 ※1	2 次冷却材喪失事象発生時に発生する運転手順書	4 炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する運転手順書
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ（タイプ1） ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過タンク 取水タンク 補給水配管・弁 ろ過水配管・弁 給排水処理装置配管・弁 燃料補給設備 ※1	2 次冷却材喪失事象発生時に発生する運転手順書	4 炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する運転手順書
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ（タイプ1） ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 補給水配管・弁 取水口 取水路 海水ポンプ室 燃料補給設備 ※1	2 次冷却材喪失事象発生時に発生する運転手順書	4 炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する運転手順書
			化学防護用自動車 ホース 耐震性防火水櫃	2 次冷却材喪失事象発生時に発生する運転手順書	4 炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する運転手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：重大事故等対象において用いる設備の相違
※3：当該本文に適合する重大事故等対応設備 ※4：近接に適合する重大事故等対応設備 ※5：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
・泊は、水源ごとに
対応手段及び設備を整理。
・泊は管路に使用する設備を記載。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
<p>第 1.13.2 表 (1/2) を抜粋して再掲</p> <table border="1"> <tr> <th>燃料取扱用水ピット (熱源) (図)</th> <th>1次系純水タンク 1次系補給ポンプ内 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ</th> <th>1次系純水タンク 1次系補給ポンプ内 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ</th> <th>後継性 確保 確保</th> <th>原子炉圧力調整 への注水のため の水源を確保す るための手順</th> <th>炉心の著しい損傷及 び燃料格納容器損傷を防 止する運転手順書</th> </tr> </table> <p>※1：「大飯発電所」重大事故等発生時に実行する原子炉施設の状態のための活動に関する手順。 ※2：「プーアール」発電機等により給電する。 ※3：手順は「1.4 原子炉の運転開始」の「ラング」項目に発電用原子炉を冷却するための手順等にて整備する。 ※4：炉内非常用発電機からの給電手順及び燃料供給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※5：電原車（可搬式代替用注水ポンプ用）の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※6：注水水の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※7：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	燃料取扱用水ピット (熱源) (図)	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ内 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ内 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	後継性 確保 確保	原子炉圧力調整 への注水のため の水源を確保す るための手順	炉心の著しい損傷及 び燃料格納容器損傷を防 止する運転手順書	<p>対応手段、対処設備及び手順書一覧(11/11)</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応</td> <td rowspan="3">-</td> <td>海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留庫 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1</td> <td>重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」</td> </tr> <tr> <td>海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2</td> <td></td> <td>自主的対策 設備</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)</td> <td>重大事故等対応要領書 (緊急ケース) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水を切り替えるための対応</td> <td rowspan="3">-</td> <td>夕張水から海水へ水を切り替えるための切替え</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留庫 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1</td> <td>重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」</td> </tr> <tr> <td>海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2</td> <td></td> <td>自主的対策 設備</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) 代替用冷却器 (代替用冷却器)</td> <td>重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」</td> </tr> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本条文中「解釈」1b)項を満足するための代替注水 (注電)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応	-	海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する	大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留庫 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1	重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」	海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2		自主的対策 設備	復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対応要領書 (緊急ケース) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	水を切り替えるための対応	-	夕張水から海水へ水を切り替えるための切替え	大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留庫 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1	重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」	海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2		自主的対策 設備	復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) 代替用冷却器 (代替用冷却器)	重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」	<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (15/17)</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応</td> <td rowspan="3">-</td> <td>海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する</td> <td>1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ</td> <td>自主的対策設備</td> <td>1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ</td> <td>炉心及び設計基準事故発生時に実行する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2</td> <td></td> <td>自主的対策設備</td> <td>1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ</td> <td>炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器損傷を防止する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)</td> <td>重大事故等対応要領書 (緊急ケース) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の分類	整備する手順書	手順書の分類	燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応	-	海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	自主的対策設備	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	炉心及び設計基準事故発生時に実行する運転手順書	海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2		自主的対策設備	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器損傷を防止する運転手順書	復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対応要領書 (緊急ケース) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。 ・泊は管路に使用する設備を記載。</p>
燃料取扱用水ピット (熱源) (図)	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ内 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ内 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	後継性 確保 確保	原子炉圧力調整 への注水のため の水源を確保す るための手順	炉心の著しい損傷及 び燃料格納容器損傷を防 止する運転手順書																																																		
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																			
燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応	-	海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する	大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留庫 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1	重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」																																																			
		海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2		自主的対策 設備																																																			
		復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対応要領書 (緊急ケース) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」																																																				
水を切り替えるための対応	-	夕張水から海水へ水を切り替えるための切替え	大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留庫 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1	重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」																																																			
		海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2		自主的対策 設備																																																			
		復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) 代替用冷却器 (代替用冷却器)	重大事故等対応要領書 「格から取水貯水槽への補給」																																																				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の分類	整備する手順書	手順書の分類																																																	
燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応	-	海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	自主的対策設備	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	炉心及び設計基準事故発生時に実行する運転手順書																																																	
		海水貯水タンク (No. 1) ※2 海水貯水タンク (No. 2) ※2		自主的対策設備	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整がしタンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器損傷を防止する運転手順書																																																	
		復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対応要領書 (緊急ケース) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.2表(1/2)より抜粋して掲載

燃料取扱用ホット (注:高又は積)	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順
	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	

※1：「大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる原子炉冷却の保全のための活動に関する手順」
 ※2：「ディーゼル発電機等により起動する」
 ※3：手順は「1.4 原子炉冷却材圧力容器(タンク)高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：空冷式非常用発電機装置からの発電用冷却水供給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：電源車(可搬式代替注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力容器内の冷却水供給のための手順等」にて整備する。
 ※6：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力容器内の冷却水供給のための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.2表(2/2)より抜粋して掲載

燃料取扱用ホット (注:高又は積)	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順
	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	

※1：「大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる原子炉冷却の保全のための活動に関する手順」
 ※2：「ディーゼル発電機等により起動する」
 ※3：手順は「1.6 原子炉冷却材圧力容器(タンク)高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：空冷式非常用発電機装置からの発電用冷却水供給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：電源車(可搬式代替注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力容器内の冷却水供給のための手順等」にて整備する。
 ※6：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力容器内の冷却水供給のための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.2表(1/2)より抜粋して掲載

燃料取扱用ホット ホットから への水供給	1次系純水タンク	多 種 性 質 の 水 を 供給 する 設備	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順
	1次系補給水ポンプ			

※1：「大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる原子炉冷却の保全のための活動に関する手順」
 ※2：「ディーゼル発電機等により起動する」
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力容器(タンク)高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力容器内の冷却水供給のための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.1表より抜粋して掲載

燃料取扱用ホット ホットから への水供給	Nの、3次系 タンクからの 水供給	多 種 性 質 の 水 を 供給 する 設備	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順
	タービン駆動補給水ポンプ			

※1：「大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる原子炉冷却の保全のための活動に関する手順」
 ※2：「ディーゼル発電機等により起動する」
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力容器(タンク)高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力容器内の冷却水供給のための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

第1.13-1表(11/11)より抜粋して掲載

大飯を 用いる ための 対応	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順	原子炉圧力容器 への注水のため の冷却水供給 の手順
	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	
	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：本表文【解釈】(h)項を満足するための代替淡水(積置)

泊発電所3号炉

対応手段、対処設備、手順書一覧(17/17)

分類	機器名称も想定する 設計基準事故対応設備	対応 手段	対処設備	設備 の 種類	整備する 手順書	手順書の 分類
燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (注:高又は積)	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給
			燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給
			燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給
燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット (注:高又は積)	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給
			燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給
			燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給	燃料取扱用ホット ホットから への水供給

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の
 反映)
 ・泊は、水源ごとに
 対応手段及び設
 備を整理。
 ・泊は管路に使用
 する設備を記
 載。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p>第1.13.7表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>1.13 重大事故等の取束に必要なとなる水の供給手順等</p> <p>監視計器一覧（1/14）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・ A、B2次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・ A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・ 脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等			(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）	(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）	水源の確保	・ No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・ A、B2次系純水タンク水位計（CRT）	(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・ A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・ 脱気器タンク水位計（CRT）	水源の確保	・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p>第1.13-2表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>監視計器一覧（1/3）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準 水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）</td> </tr> <tr> <td>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (5) 淡水タンクを水源とした対応手順 a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準 水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (6) 海を水源とした対応手順 a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準 水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 水源の確保</td> <td>海を利用</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水			重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作 水源の確保	淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (5) 淡水タンクを水源とした対応手順 a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水			重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作 水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (6) 海を水源とした対応手順 a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）			重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作 水源の確保	海を利用		<p>【大飯、女川】 泊の比較箇所にて再掲して比較する。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																								
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等																																																										
(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																								
	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																																								
(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																																								
	水源の確保	・ No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・ A、B2次系純水タンク水位計（CRT）																																																								
(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																								
	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・ A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・ 脱気器タンク水位計（CRT）																																																								
		水源の確保	・ No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																																							
		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																								
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																								
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																																										
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																								
	操作 水源の確保	淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）																																																								
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (5) 淡水タンクを水源とした対応手順 a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																																										
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																								
	操作 水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																								
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (6) 海を水源とした対応手順 a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）																																																										
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																								
	操作 水源の確保	海を利用																																																								

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉		相違理由
監視計器一覧 (2/14)			監視計器一覧 (2/3)					【大飯、女川】 泊の比較箇所を再掲して比較する。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)			
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等			1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 a. 大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給					
(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	判断基準	最終ヒートシンクの確保	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)			
		水源の確保		水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)			
(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位			
		水源の確保		水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位			
(6) No. 2淡水タンクから復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位			
		水源の確保		水源の確保	復水貯蔵タンク水位			
(7) 海水を用いた復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位			
		水源の確保		水源の確保	復水貯蔵タンク水位			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
監視計器一覧 (3/14)			監視計器一覧 (3/3)						【大飯、女川】 泊の比較箇所を再掲して比較する。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計測)				
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 淡水貯水槽へ水を補給するための対応手順 a. 大容量送水ポンプ(タイプB)による淡水貯水槽への補給						
(1) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保	判断基準 「海から淡水貯水槽への補給」	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)				
	操作	水源の確保		操作	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)			
(2) 燃料取替用水ピットからNo. 2 淡水タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保	非常時操作手順書 (備忘ベース) 「水位確保」等 操作 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度				
	操作	水源の確保		原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度	原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位		
(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 最終ヒートシンクの確保 水源の確保	判断基準 「海から淡水貯水槽への補給」	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)				
	操作	水源の確保		操作	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2) 海を利用			
(4) 燃料取替用水ピットから海水への水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保	判断基準 「海から淡水貯水槽への補給」	原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度				
	操作	水源の確保		原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位	復水貯蔵タンク水位			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（4/14）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
		原子炉压力容器内への注水量	・高压注入流量計 ・余熱除去流量計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計（CRT）		
			・排気筒ガスモニタ		
			・復水器空気抽出器ガスモニタ		
			・蒸気発生器/ローダウン水モニタ		
			・高感度型主蒸気管モニタ		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・主蒸気圧力計		
			・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
			・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・炉内計装区域エリアモニタ		
水源の確保	・格納容器じんあいモニタ				
	・格納容器ガスモニタ				
	・燃料取替用水ピット水位計				
信号	・ほう酸タンク水位計				
	・1次系純水タンク水位計（CRT）				
操作	・安全注入作動警報				
	・燃料取替用水ピット水位計				
	・ほう酸タンク水位計				
		・1次系純水タンク水位計（CRT）			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（5/14）				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等				
(G) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	
		原子炉圧力容器内への注水量	・高压注入流量計 ・余熱除去流量計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計（CRT）	
			・排気筒ガスモニタ	
			・復水器空気抽器ガスモニタ	
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・高感度型主蒸気管モニタ ・主蒸気圧力計	
	原子炉格納容器内の放射線量率	・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
		・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
		・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ		
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計		
		・ほう酸タンク水位計		
		・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計		
	信号	・安全注入作動警報		
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	
			・ほう酸タンク水位計	
・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計				

【大飯】
 泊の比較箇所に再掲して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧(6/14)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(7) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		【大阪】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
		原子炉压力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)		
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計(CRT)		
			・排気筒ガスモニタ		
			・復水器空気抽出器ガスモニタ		
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ		
	・高感度型主蒸気管モニタ				
	・主蒸気圧力計				
	原子炉格納容器内の放射線量率	・余熱除去ポンプ吐出圧力計			
		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)			
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ			
		・炉内計装区域エリアモニタ			
	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ			
		・格納容器ガスモニタ			
		・燃料取替用水ピット水位計			
	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)			
・安全注入作動警報					
操作	・No. 3淡水タンク水位計(CRT)				
	・使用済燃料ピット水位計(CRT)				
	・燃料取替用水ピット水位計				
	・1次系純水タンク水位計(CRT)				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
監視計器一覧（7/14）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等						
(8) No. 2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計		【大飯】 泊の比較箇所に掲載して比較する。	
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）			
		格納容器バイパスの監視		・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計（CRT）		
				・排気筒ガスモニタ		
				・復水器空気抽出器ガスモニタ		
				・蒸気発生器ブローダウン水モニタ		
	・高感度型主蒸気管モニタ					
	・主蒸気圧力計					
	原子炉格納容器内の放射線量率		・余熱除去ポンプ吐出圧力計			
			・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）			
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ			
			・炉内計装区域エリアモニタ			
	水源の確保		・格納容器じんあいモニタ			
			・格納容器ガスモニタ			
			・燃料取替用水ビット水位計			
	信号		・No. 2淡水タンク水位計（CRT）			
・No. 3淡水タンク水位計（CRT）						
操作	水源の確保	・安全注入作動警報				
		・燃料取替用水ビット水位計				
		・No. 2淡水タンク水位計（CRT）				
		・No. 3淡水タンク水位計（CRT）				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧(8/14)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(9) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計		【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
		原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)		
		格納容器バイパスの監視	・ 原子炉周辺建屋サンプタンク水位計(CRT)		
			・ 排気筒ガスモニタ		
			・ 復水器空気抽出器ガスモニタ		
			・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ		
			・ 高感度型主蒸気管モニタ		
		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計		
			・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		
			・ 蒸気発生器水位計(広域) ・ 蒸気発生器水位計(狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		
			・ 格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・ 炉内計装区域エリアモニタ		
			・ 格納容器じんあいモニタ		
		水源の確保	・ 格納容器ガスモニタ		
			・ 燃料取替用水ピット水位計		
・ ほう酸タンク水位計					
・ 復水ピット水位計					
信号	・ 1次系純水タンク水位計(CRT)				
	・ 安全注入作動警報				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由	
監視計器一覧 (9/14)									【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等										
(9) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	操作 水源の確保	・復水ピット水位計 ・燃料取替用水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)								
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等										
(1) 燃料取替用水ピットからNo.2淡水タンクへの水源切替	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 水源の確保	・格納容器スプレイ流量計 ・燃料取替用水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)							
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)(b.6)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。								
(2) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 水源の確保	・格納容器スプレイ流量計 ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計							
	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)								
(3) 燃料取替用水ピットから海水への水源切替	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 水源の確保	・格納容器スプレイ流量計 ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計							
	操作	水源の確保 「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)(b.6)「可搬式代替底注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。								
監視計器一覧 (10/14)										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等										
(4) 1次系純水タンク及び(ほう)酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計							
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)							
	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計							
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)							
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスメータ							
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)							
		信号	・安全注水作動警報							
1.13.2.2(5)と同様。										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（11/14）					【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・炉内計装区域エリアモニタ		
			・格納容器じんあいモニタ		
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計				
	・ほう酸タンク水位計				
	・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器遮断タンク水位計				
信号	・安全注入作動警報				
操作	加圧器遮断タンク経由の補給は1.13.2.2(4)と同様、使用済燃料ピット脱塩ろ過による補給は1.13.2.2(4)bと同様。				
監視計器一覧（12/14）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・格納容器じんあいモニタ		
			・格納容器ガステニタ		
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計				
	・1次系純水タンク水位計（CRT）				
	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）				
信号	・安全注入作動警報				
操作	1.13.2.2(7)と同様。				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（1.3/1.4）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(7) No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・炉内計装区域エリアモニタ		
			・格納容器じんあいモニタ		
水源の確保	・格納容器ガスモニタ				
	・燃料取替用水ピット水位計	・No. 3淡水タンク水位計（CRT）			
	・No. 2淡水タンク水位計（CRT）				
信号	・安全注入作動警報				
操作	1.13.2.2 (8)と同様。				
監視計器一覧（1.4/1.4）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・炉内計装区域エリアモニタ		
			・格納容器じんあいモニタ		
水源の確保	・格納容器ガスモニタ				
	・燃料取替用水ピット水位計	・ほうろくタンク水位計			
	・復水ピット水位計	・1次系統水タンク水位計（CRT）			
信号	・安全注入作動警報				
操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計（CRT）			

【大飯】
 泊の比較箇所に再掲して比較する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<p>監視計器一覧(2/14)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧(2/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード</td> <td>判断基準</td> <td> 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器補助給水流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No.3淡水タンク水位計(CRT) ・脱気器タンク水位計(CRT) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等			(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器補助給水流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No.3淡水タンク水位計(CRT) ・脱気器タンク水位計(CRT)	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.2表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>監視計器一覧(1/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水筒を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ビットを水源とした対応手順 a. 燃料取替用水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a) 燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード</td> <td>判断基準</td> <td> 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(広域) ・補助給水流量 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器への注水量 ・低圧注入流量 ・高圧注入流量 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b. (e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレー流量 ・B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量(AM用) 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b. (b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー」及び1.6.2.2(1)b. (b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水筒を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ビットを水源とした対応手順 a. 燃料取替用水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水			a) 燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(広域) ・補助給水流量 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。	(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水			a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 ・低圧注入流量 ・高圧注入流量 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b. (e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。	b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却			a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー	判断基準	原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレー流量 ・B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量(AM用) 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b. (b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー」及び1.6.2.2(1)b. (b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー」にて整備する。	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等																																									
(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器補助給水流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No.3淡水タンク水位計(CRT) ・脱気器タンク水位計(CRT)																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
1.13.2.1 水筒を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ビットを水源とした対応手順 a. 燃料取替用水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水																																									
a) 燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(広域) ・補助給水流量 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。																																							
(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																																									
a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 ・低圧注入流量 ・高圧注入流量 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位																																							
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b. (e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。																																							
b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却																																									
a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー	判断基準	原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレー流量 ・B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量(AM用) 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位																																							
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b. (b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー」及び1.6.2.2(1)b. (b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー」にて整備する。																																							
<p>監視計器一覧(3/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>判断基準</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(2) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替</td> <td>水源の確保</td> <td> 原子炉圧力容器内への注水量 ・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No.2淡水タンク水位計(CRT) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1b.c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	判断基準	監視計器	(2) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替	水源の確保	原子炉圧力容器内への注水量 ・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No.2淡水タンク水位計(CRT)	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1b.c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。																																	
対応手段	判断基準	監視計器																																							
(2) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替	水源の確保	原子炉圧力容器内への注水量 ・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No.2淡水タンク水位計(CRT)																																							
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1b.c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。																																							
<p>監視計器一覧(9/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>判断基準</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替</td> <td>水源の確保</td> <td> 原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレー流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1b.b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレー」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	判断基準	監視計器	(1) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替	水源の確保	原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレー流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1b.b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレー」にて整備する。																																	
対応手段	判断基準	監視計器																																							
(1) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替	水源の確保	原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレー流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)																																							
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1b.b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレー」にて整備する。																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																									
<div data-bbox="203 582 613 624" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="768 512 1330 553" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</div> <div data-bbox="741 563 1355 703" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">水源の確保</td> <td style="width: 70%;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）</td> </tr> </table> </div>	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）	<p>監視計器一覧（3/29）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ピットを水源とした対応手順 d. 代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">i. 代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td> 原子炉格納容器内の冷却 <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td>「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b. (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b. (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ピットを水源とした対応手順 d. 代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	i. 代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器内の冷却 <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位 	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b. (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b. (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。	<p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p>
判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																										
操作	水源の確保	淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																										
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ピットを水源とした対応手順 d. 代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																												
(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																										
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																										
i. 代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却																												
(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器内の冷却 <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位 																										
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b. (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b. (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																										

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">(5) 淡水タンクを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 30%;">水源の確保</td> <td style="width: 45%;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(5) 淡水タンクを水源とした対応手順				a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水				重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作	水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	<p>監視計器一覧（4/29）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(5) 原水樽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">a. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシシク</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">b. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシシク</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">c. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取扱用ビット水位 ・ 補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) b. (f) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(5) 原水樽を水源とした対応手順			a. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量 	最終ヒートシシク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		b. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水			(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量 	最終ヒートシシク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		c. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水			(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取扱用ビット水位 ・ 補助給水ビット水位 	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) b. (f) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。		<p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p>
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																								
(5) 淡水タンクを水源とした対応手順																																																																								
a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																																																								
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																					
	操作	水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																								
(5) 原水樽を水源とした対応手順																																																																								
a. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																								
(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量 																																																																					
		最終ヒートシシク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 																																																																					
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 																																																																					
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																						
b. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																																																																								
(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量 																																																																					
		最終ヒートシシク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 																																																																					
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 																																																																					
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																						
c. 原水樽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																																																																								
(6) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 																																																																					
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取扱用ビット水位 ・ 補助給水ビット水位 																																																																					
		操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) b. (f) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(5) 淡水タンクを水源とした対応手順</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 35%;">水源の確保</td> <td style="width: 50%;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(5) 淡水タンクを水源とした対応手順			a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水			判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	<p>監視計器一覧 (5/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(5) 原水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e、「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">i. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉格納容器への注水量 <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMFI） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b、(6)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b、(6)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(5) 原水槽を水源とした対応手順			d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e、「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	i. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量 <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMFI） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位 	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b、(6)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b、(6)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。	<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																											
(5) 淡水タンクを水源とした対応手順																																											
a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																											
判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																									
操作	水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																									
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																											
(5) 原水槽を水源とした対応手順																																											
d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																																											
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																									
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e、「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																									
i. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却																																											
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量 <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMFI） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位 																																									
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b、(6)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b、(6)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
<p>監視計器一覧(1/14)より抜粋して掲載</p>	<p>監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p>	<p>監視計器一覧(6/29)</p>	<p>相違理由</p>																																																																															
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計 (CRT) ・脱気器タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </table> <p>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計 (CRT) ・脱気器タンク水位計 (CRT)	操作	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(6) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準 水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 水源の確保</td> <td>海を利用</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(6) 海を水源とした対応手順			a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）			重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作 水源の確保	海を利用	<table border="1"> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.2(1)a、「(h)「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c、「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順			a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量計	水源の確保	・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。		b. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量計	水源の確保	・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。		c. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量計	水源の確保	・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.2(1)a、「(h)「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。		(9) 海を水源とした対応手順			a. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量計	水源の確保	・補助給水ビット水位計	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c、「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>
判断基準		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																																																															
	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計 (CRT) ・脱気器タンク水位計 (CRT)																																																																																
操作	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																																		
(6) 海を水源とした対応手順																																																																																		
a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）																																																																																		
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																
	操作 水源の確保	海を利用																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																																		
(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順																																																																																		
a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																																		
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量計																																																																																
	水源の確保	・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位																																																																																
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																	
b. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																																																																																		
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量計																																																																																
	水源の確保	・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位																																																																																
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																	
c. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																																																																																		
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量計																																																																																
	水源の確保	・補助給水ビット水位計 ・脱気器タンク水位																																																																																
操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.2(1)a、「(h)「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																	
(9) 海を水源とした対応手順																																																																																		
a. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																																		
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量計																																																																																
	水源の確保	・補助給水ビット水位計																																																																																
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c、「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																	
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>																																																																																		
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>																																																																																		
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>																																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(9/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">(3) 燃料取替用水ピットから海水への水源切替</td> <td style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉格納容器内への注水量</td> <td style="width: 15%;">・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="4">「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。</td> </tr> </table>	(3) 燃料取替用水ピットから海水への水源切替	判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計		操作	水源の確保	・復水ピット水位計	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。				<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(6) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">水源の確保</td> <td style="width: 15%;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>海を利用</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(6) 海を水源とした対応手順				a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）				重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作	水源の確保	海を利用	<p>監視計器一覧(7/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・低圧注入流量 ・高圧注入流量 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(4)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b.(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(9) 海を水源とした対応手順			b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	c. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 ・低圧注入流量 ・高圧注入流量 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(4)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。	d. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b.(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑤)</p>
(3) 燃料取替用水ピットから海水への水源切替		判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																											
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																												
	操作	水源の確保	・復水ピット水位計																																																																												
「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。																																																																															
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																															
(6) 海を水源とした対応手順																																																																															
a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）																																																																															
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																												
	操作	水源の確保	海を利用																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																															
(9) 海を水源とした対応手順																																																																															
b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																																																																															
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位																																																																													
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																													
c. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																																																																															
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 ・低圧注入流量 ・高圧注入流量 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																													
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(4)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。																																																																													
d. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																																																																															
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 水源の確保 ・補助給水ピット水位																																																																													
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																													
f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却																																																																															
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																													
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)b.(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																									
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="14">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環リム水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・No. 2 排水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環リム水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・復水ピット水位計	・No. 2 排水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重大事故等対応要領書「排水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」</th> <th>判断基準</th> <th>水源の確保</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要領書「排水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	監視計器		操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	<p>監視計器一覧(8/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水時の場合)</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECSS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 初心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="14"></td> <td rowspan="14">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・ 格納容器内循環ポンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器バイパスの監視</td> <td>・ 補助建屋サンパタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器連がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器連がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器連がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水時の場合)	判断基準	信号	・ ECSS作動	原子炉圧力容器内の温度	・ 初心出口温度		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・ 格納容器内循環ポンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	格納容器バイパスの監視	・ 補助建屋サンパタンク水位	・ 排気筒ガスモニタ	・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・ 復水器排気ガスモニタ	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	・ 蒸気発生器水位(狭域)	・ 主蒸気ライン圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去冷却器出口温度	・ 加圧器連がしタンク水位	・ 加圧器連がしタンク圧力	・ 加圧器連がしタンク温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由④) 【大阪】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																												
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環リム水位計(広域)																																																																																									
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																									
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																									
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																									
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																									
			・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																									
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																									
			・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																									
			信号	・安全注入作動警報																																																																																								
		操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																								
・復水ピット水位計																																																																																												
・No. 2 排水タンク水位計(CRT)																																																																																												
重大事故等対応要領書「排水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	監視計器																																																																																									
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																																									
			復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																												
1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水時の場合)	判断基準	信号	・ ECSS作動																																																																																									
		原子炉圧力容器内の温度	・ 初心出口温度																																																																																									
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																									
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・ 格納容器内循環ポンプ水位(狭域)																																																																																									
		最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																									
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																									
		格納容器バイパスの監視	・ 補助建屋サンパタンク水位																																																																																									
			・ 排気筒ガスモニタ																																																																																									
			・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																									
			・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																									
			・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																									
			・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																									
・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																												
・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																												
・ 主蒸気ライン圧力																																																																																												
・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																												
・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																												
・ 加圧器連がしタンク水位																																																																																												
・ 加圧器連がしタンク圧力																																																																																												
・ 加圧器連がしタンク温度																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																									
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環リンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">信号</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>復水ビット水位計</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>安全注入作動警報</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	信号	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計	操作	水源の確保	復水ビット水位計	・復水ビット水位計	1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT)	安全注入作動警報	・安全注入作動警報				泊3号炉との比較対象なし	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>水源の確保</th> <th>復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「脱水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	重大事故等対応要領書「脱水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	操作	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	<p>監視計器一覧(9/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水時の場合)</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>・後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>・原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>・高压注入流量</td> </tr> <tr> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水時の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・エアロックエアモニタ	電源	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	・泊幹線1L電圧、2L電圧	操作	・後志幹線1L電圧、2L電圧	・甲母線電圧、乙母線電圧	・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)	ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動	・原子炉圧力容器内の温度	操作	水源の確保	・加圧器水位	・原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材圧力(広域)	・高压注入流量	・低圧注入流量	・原子炉格納容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大阪】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																												
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位計(広域)																																																																																									
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																									
	水源の確保	信号	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																								
			燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																								
			ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計																																																																																								
	操作	水源の確保	復水ビット水位計	・復水ビット水位計																																																																																								
			1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																								
			安全注入作動警報	・安全注入作動警報																																																																																								
				泊3号炉との比較対象なし																																																																																								
判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																																										
重大事故等対応要領書「脱水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	操作	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																												
i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水時の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)																																																																																									
			・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																									
			・エアロックエアモニタ																																																																																									
		電源	・炉内計装区域エアモニタ																																																																																									
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																									
			・格納容器ガスモニタ																																																																																									
			・泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																									
	操作	・後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																										
		・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																										
		・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																										
		・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																										
		・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																										
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量																																																																																										
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)																																																																																										
ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動																																																																																									
			・原子炉圧力容器内の温度																																																																																									
	操作	水源の確保	・加圧器水位																																																																																									
			・原子炉圧力容器内の水位																																																																																									
			・1次冷却材圧力(広域)																																																																																									
			・高压注入流量																																																																																									
			・低圧注入流量																																																																																									
・原子炉格納容器への注水量																																																																																												
・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																												
・原子炉格納容器内の温度																																																																																												
・格納容器内温度																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計		・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)		操作	信号	・安全注入作動警報	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 1.2em;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(10/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器内の圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>蒸気ヒートシシクスの確保</td> <td>・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>泊幹線1L電圧, 2L電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凝志幹線1L電圧, 2L電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>甲母線電圧, 乙母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-1A, B, C1, C2, D母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(1)a. b) 1. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器内の圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器への注水量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・補助給水流量	蒸気ヒートシシクスの確保	・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	泊幹線1L電圧, 2L電圧		凝志幹線1L電圧, 2L電圧		甲母線電圧, 乙母線電圧		6-1A, B, C1, C2, D母線電圧		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)	操作	1.13.2.2(1)a. b) 1. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																			
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																
	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																	
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																	
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																	
		・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																	
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																	
・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																			
操作	信号	・安全注入作動警報																																																																																	
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																			
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																																			
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																			
b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																			
ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器内の圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・格納容器スプレイ流量																																																																																
		原子炉格納容器への注水量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・補助給水流量																																																																																
		蒸気ヒートシシクスの確保	・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																
	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																
		泊幹線1L電圧, 2L電圧																																																																																	
		凝志幹線1L電圧, 2L電圧																																																																																	
		甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																	
		6-1A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																																	
補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(AM用)																																																																																	
	操作	1.13.2.2(1)a. b) 1. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>監視計器一覧(14/14)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(2/3)を再掲</p>	<p>監視計器一覧 (11/29)</p>																																																																																														
<p>監視計器一覧 (14/14)</p> <table border="1" data-bbox="100 247 705 997"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計 (広域)	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計 (CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計 (CRT)	<table border="1" data-bbox="750 231 1344 391"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>補給</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要図書「洗水貯水槽から復水貯水タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯水タンク水位 洗水貯水槽 (No. 1) 洗水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>補給</td> <td>復水貯水タンク水位 洗水貯水槽 (No. 1) 洗水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	補給	監視計器	重大事故等対応要図書「洗水貯水槽から復水貯水タンクへの補給」	水源の確保	復水貯水タンク水位 洗水貯水槽 (No. 1) 洗水貯水槽 (No. 2)	補給	復水貯水タンク水位 洗水貯水槽 (No. 1) 洗水貯水槽 (No. 2)	<table border="1" data-bbox="1377 223 1993 1077"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="25">1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="15">判断基準</td> <td>原号</td> <td>・3DCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位 (広域) ・格納容器内循環ポンプ水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシシクの確保</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・補助凝縮タンクタンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器パイパスの監視</td> <td>・排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・加圧器連がシタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・加圧器連がシタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・加圧器連がシタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原号	・3DCS作動	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位 (広域) ・格納容器内循環ポンプ水位 (狭域)	最終ヒートシシクの確保	・補助給水流量	・蒸気発生器水位 (広域)	・蒸気発生器水位 (狭域)	・燃料取替用水ピット水位	・補助凝縮タンクタンク水位	格納容器パイパスの監視	・排気筒ガスモニタ	・排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	・排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	・復水器排気ガスモニタ	・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・高感度型主蒸気管モニタ	・蒸気発生器水位 (狭域)	・主蒸気ライン圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去冷却器入口温度	・余熱除去冷却器出口温度	・加圧器連がシタンク水位	・加圧器連がシタンク圧力	・加圧器連がシタンク温度	<p>【女川】運用の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】運用の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																
(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計 (広域)																																																																																													
	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																													
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																																																													
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																													
			・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																													
		・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計 (CRT)																																																																																														
	信号	・安全注入作動警報																																																																																														
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計 (CRT)																																																																																													
		判断基準	補給	監視計器																																																																																												
	重大事故等対応要図書「洗水貯水槽から復水貯水タンクへの補給」	水源の確保	復水貯水タンク水位 洗水貯水槽 (No. 1) 洗水貯水槽 (No. 2)																																																																																													
		補給	復水貯水タンク水位 洗水貯水槽 (No. 1) 洗水貯水槽 (No. 2)																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																
b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原号	・3DCS作動																																																																																													
		原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																													
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																													
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位 (広域) ・格納容器内循環ポンプ水位 (狭域)																																																																																													
		最終ヒートシシクの確保	・補助給水流量																																																																																													
			・蒸気発生器水位 (広域)																																																																																													
			・蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																													
			・燃料取替用水ピット水位																																																																																													
			・補助凝縮タンクタンク水位																																																																																													
		格納容器パイパスの監視	・排気筒ガスモニタ																																																																																													
			・排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)																																																																																													
	・排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)																																																																																															
	・復水器排気ガスモニタ																																																																																															
	・蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																															
	・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																															
	・蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																															
	・主蒸気ライン圧力																																																																																															
	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																															
	・余熱除去冷却器入口温度																																																																																															
	・余熱除去冷却器出口温度																																																																																															
	・加圧器連がシタンク水位																																																																																															
・加圧器連がシタンク圧力																																																																																																
・加圧器連がシタンク温度																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="197 347 622 395" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</div> <div data-bbox="853 363 1245 411" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</div> </div>																																																																																
<p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">燃料取替用水ピット水位計</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計	・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの供給」</th> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 10%;">水源の確保</th> <th style="width: 50%;">復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td style="text-align: center;">水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)		操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧(12/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">電源</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・炉内計装1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・R-A, B, C-1, C-2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・信号</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・BCVS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・炉心出口温度 ・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力(広域) ・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給			i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	電源	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・エアロックエリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	補機監視機能	・炉内計装1L電圧, 2L電圧	・後志幹線1L電圧, 2L電圧	・甲母線電圧, 乙母線電圧	・R-A, B, C-1, C-2, D母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・信号	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・BCVS作動	原子炉圧力容器内の水位	・炉心出口温度 ・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力(広域) ・高圧注入流量	原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p style="color: red;">【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p style="color: red;">【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																													
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																														
	水源の確保	格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																													
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																													
			・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																													
		燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計																																																																													
・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																
信号	・安全注入作動警報																																																																															
操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																														
		・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)																																																																														
重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																													
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給																																																																																
i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	電源	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																																																													
			・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																													
			・エアロックエリアモニタ																																																																													
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																													
			・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																													
	補機監視機能	・炉内計装1L電圧, 2L電圧																																																																														
		・後志幹線1L電圧, 2L電圧																																																																														
		・甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																														
		・R-A, B, C-1, C-2, D母線電圧																																																																														
		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																														
操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																														
		・信号																																																																														
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・BCVS作動																																																																														
	原子炉圧力容器内の水位	・炉心出口温度 ・加圧器水位																																																																														
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力(広域) ・高圧注入流量																																																																														
	原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																														
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
<p>監視計器一覧(14/14)を再掲</p>																																																																																																											
監視計器一覧(14/14)		監視計器一覧(13/29)																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>復水ビット水位計</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>安全注入作動警報</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		・格納容器じんあいモニタ		・格納容器ガスモニタ	信号	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計	操作	復水ビット水位計	・復水ビット水位計	1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT)	安全注入作動警報	・安全注入作動警報	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシシクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td></td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td></td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td></td> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終ヒートシシクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	原子炉格納容器内の放射線量率		・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・エアロックエリアモニタ	電源		・炉内計装区域エリアモニタ		・格納容器じんあいモニタ		・格納容器ガスモニタ	補機監視機能		・泊幹線1L電圧、2L電圧		・後志幹線1L電圧、2L電圧		・甲母線電圧、乙母線電圧		・B-A、B、C1、C2、D母線電圧	操作		・原子炉補機冷却水供給母管流量		・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																											
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																								
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																								
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																								
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																								
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																								
			・格納容器ガスモニタ																																																																																																								
	信号	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																								
		ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計																																																																																																								
操作	復水ビット水位計	・復水ビット水位計																																																																																																									
	1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																									
	安全注入作動警報	・安全注入作動警報																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																											
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																																																											
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																											
b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																											
ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器内の圧力																																																																																																								
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																								
		最終ヒートシシクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																								
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																								
		原子炉格納容器内の放射線量率		・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																							
				・エアロックエリアモニタ																																																																																																							
	電源		・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																								
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																								
			・格納容器ガスモニタ																																																																																																								
	補機監視機能		・泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																								
			・後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																								
			・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																								
			・B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																								
操作		・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																									
		・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																																									
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量																																																																																																									
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)																																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>安全注人作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	燃料取替用水ピット水位計		ほう酸タンク水位計		復水ピット水位計		信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)		操作	安全注人作動警報		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの供給」</th> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの供給」</td> <td>初期基準</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	監視項目	監視計器	重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの供給」	初期基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(14/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="14">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・BCCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(運用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助凝縮タンクタンク水位 ・排気筒ガスモニタ ・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・復水器排気ガスモニタ ・蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>格納容器バイパスの監視</td> <td>・高感度型主蒸気管モニタ ・蒸気発生器水位(狭域) ・主蒸気ライン圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去冷却器入口温度 ・余熱除去冷却器出口温度 ・加圧器連がシタンク水位 ・加圧器連がシタンク圧力 ・加圧器連がシタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給			1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・BCCS作動	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(運用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助凝縮タンクタンク水位 ・排気筒ガスモニタ ・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・復水器排気ガスモニタ ・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	格納容器バイパスの監視	・高感度型主蒸気管モニタ ・蒸気発生器水位(狭域) ・主蒸気ライン圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去冷却器入口温度 ・余熱除去冷却器出口温度 ・加圧器連がシタンク水位 ・加圧器連がシタンク圧力 ・加圧器連がシタンク温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由④) 【大阪】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																	
(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)																																																																														
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																														
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																														
	水源の確保	燃料取替用水ピット水位計																																																																															
		ほう酸タンク水位計																																																																															
		復水ピット水位計																																																																															
	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																															
	操作	安全注人作動警報																																																																															
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																														
	重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	監視項目	監視計器																																																																													
重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの供給」	初期基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																														
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給																																																																																	
1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・BCCS作動																																																																														
		原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																														
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(運用)																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)																																																																														
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																														
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助凝縮タンクタンク水位 ・排気筒ガスモニタ ・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・復水器排気ガスモニタ ・蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																														
		格納容器バイパスの監視	・高感度型主蒸気管モニタ ・蒸気発生器水位(狭域) ・主蒸気ライン圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去冷却器入口温度 ・余熱除去冷却器出口温度 ・加圧器連がシタンク水位 ・加圧器連がシタンク圧力 ・加圧器連がシタンク温度																																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>監視計器一覧(14/14)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(2/3)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(15/29)</p>																																																																																														
<p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器循環環リンパ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器循環環リンパ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・復水ビット水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	・燃料取替用水ビット水位計	・復水ビット水位計	・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p>泊3号炉との比較対象なし</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 20px;"> <thead> <tr> <th>重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」</th> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	監視項目	監視計器		水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作	復水貯蔵タンク水位		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・泊発機1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">ii. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・エアロックエリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	電源	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	・泊発機1L電圧、2L電圧	・後志幹線1L電圧、2L電圧	補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧	・6-A, B, C1, C2, D母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	ii. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動	原子炉压力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量	・低圧注入流量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由②)</p> <p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器循環環リンパ水位計(広域)																																																																																													
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																													
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																													
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																													
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																													
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																													
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																													
			・ほう酸タンク水位計																																																																																													
			・復水ビット水位計																																																																																													
・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																
信号	・安全注入作動警報																																																																																															
	操作	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																														
		・復水ビット水位計																																																																																														
・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																																
重大事故等対応要項書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	監視項目	監視計器																																																																																													
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																														
	操作	復水貯蔵タンク水位																																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																
i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																																																																													
			・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																													
			・エアロックエリアモニタ																																																																																													
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																													
		電源	・格納容器じんあいモニタ																																																																																													
			・格納容器ガスモニタ																																																																																													
			・泊発機1L電圧、2L電圧																																																																																													
			・後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																													
		補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																													
			・6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																																													
			・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																													
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量																																																																																													
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)																																																																																													
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)																																																																																													
操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																														
ii. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動																																																																																													
		原子炉压力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																													
		原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																																													
			・低圧注入流量																																																																																													
		・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環リンパ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料取替用水ピット水位計</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注人作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環リンパ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計	・復水ピット水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)		信号	・安全注人作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 1.2em;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(16/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">① 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">ii. 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(狭域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環リンパ水位(広域) ・格納容器内循環リンパ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(1)a. ①. 「水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			① 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			ii. 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(狭域)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環リンパ水位(広域) ・格納容器内循環リンパ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量	・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	操作	1.13.2.2(1)a. ①. 「水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。	<p>【女川】運用の相違(相違理由④) 【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																												
(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環リンパ水位計(広域)																																																																									
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																									
		水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																								
			燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計																																																																								
				・ほう酸タンク水位計																																																																								
	・復水ピット水位計																																																																											
	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																											
	信号	・安全注人作動警報																																																																										
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																									
			・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																												
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																												
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																												
① 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																												
ii. 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(狭域)																																																																									
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環リンパ水位(広域) ・格納容器内循環リンパ水位(狭域)																																																																									
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量																																																																									
			・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																									
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																									
			原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																								
			電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																								
				補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																							
					操作	1.13.2.2(1)a. ①. 「水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(13/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧 (13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・No. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2 (8)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	信号	・燃料取替用水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・No. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2 (8)と同様。		<p style="font-size: 24px; border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（原用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器内前置サンプ水位（広域） ・ 格納容器内前置サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 補助凝結サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器バイパスの監視</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 泡水器排気ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器過熱タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器過熱タンク圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器過熱タンク温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ エアロックエアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 炉内計装区域エアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（原用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内前置サンプ水位（広域） ・ 格納容器内前置サンプ水位（狭域）	原子炉格納容器内の注水量	・ 補助凝結サンプタンク水位	格納容器バイパスの監視	・ 排気筒ガスモニタ		・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）		・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）		・ 泡水器排気ガスモニタ		・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ		・ 高感度型主蒸気管モニタ		・ 蒸気発生器水位（狭域）		・ 主蒸気ライン圧力		・ 余熱除去ポンプ出口圧力		・ 余熱除去冷却器入口温度		・ 余熱除去冷却器出口温度		・ 加圧器過熱タンク水位		・ 加圧器過熱タンク圧力		・ 加圧器過熱タンク温度		原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）		・ エアロックエアモニタ		・ 炉内計装区域エアモニタ		・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ		<p style="color: red;">【大飯】運用の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																													
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																													
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																													
		信号	・燃料取替用水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・No. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・安全注入作動警報																																																																																													
	操作	1.13.2.2 (8)と同様。																																																																																														
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																
(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																													
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（原用）																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内前置サンプ水位（広域） ・ 格納容器内前置サンプ水位（狭域）																																																																																													
		原子炉格納容器内の注水量	・ 補助凝結サンプタンク水位																																																																																													
		格納容器バイパスの監視	・ 排気筒ガスモニタ																																																																																													
			・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																													
・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																																
・ 泡水器排気ガスモニタ																																																																																																
・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																
・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																
・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																
・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																
・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																
・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																																
・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																																
・ 加圧器過熱タンク水位																																																																																																
・ 加圧器過熱タンク圧力																																																																																																
・ 加圧器過熱タンク温度																																																																																																
原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																															
	・ エアロックエアモニタ																																																																																															
	・ 炉内計装区域エアモニタ																																																																																															
	・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ																																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(13/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧 (13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td></td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>信号</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.13.2.2 (8)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ	水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計		・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)		信号	・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)		操作	・安全注入作動警報		操作	1.13.2.2 (8)と同様。	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (18/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水中の場合)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・使用済燃料ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">判断基準</td> <td rowspan="15">信号</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・BPCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.13.2.2 (1) b. (a) 1. 「ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水中の場合)			判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	・2次系純水タンク水位	操作	水源の確保	・使用済燃料ビット水位	・ろ過水タンク水位	判断基準	信号	・燃料取替用水ビット水位	・ろ過水タンク水位	・BPCS作動	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量		・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)		・格納容器再循環サンプ水位 (狭域)		・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)		・エアロックエリアモニタ	操作	水源の確保	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ			・燃料取替用水ビット水位			・2次系純水タンク水位			・ろ過水タンク水位		1.13.2.2 (1) b. (a) 1. 「ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																								
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域)																																																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																																					
	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																					
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																					
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																																																																					
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																					
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																					
水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																						
		・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																						
	信号	・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																						
	操作	・安全注入作動警報																																																																																																						
	操作	1.13.2.2 (8)と同様。																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水中の場合)																																																																																																								
判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																						
		・2次系純水タンク水位																																																																																																						
操作	水源の確保	・使用済燃料ビット水位																																																																																																						
		・ろ過水タンク水位																																																																																																						
判断基準	信号	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																						
		・ろ過水タンク水位																																																																																																						
		・BPCS作動																																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																					
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量																																																																																																					
			・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																					
			・格納容器再循環サンプ水位 (狭域)																																																																																																					
			・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																																																																					
			・エアロックエリアモニタ																																																																																																					
		操作	水源の確保	・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																				
・格納容器じんあいモニタ																																																																																																								
・格納容器ガスモニタ																																																																																																								
		・燃料取替用水ビット水位																																																																																																						
		・2次系純水タンク水位																																																																																																						
		・ろ過水タンク水位																																																																																																						
	1.13.2.2 (1) b. (a) 1. 「ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																												
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		水源の確保	・格納容器じんあいモニタ		・格納容器ガスモニタ		・燃料取替用水ピット水位計		・ほう酸タンク水位計		操作	・1次系純水タンク水位計（CRT）		・加圧器逃がしタンク水位計		信号		・安全注入作動警報	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。			<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(19/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">判断基準</td> <td rowspan="10">格納容器パイパスの監視</td> <td>信号</td> <td>・DCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器西循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器西循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器パイパスの監視</td> <td>・補助建屋サンプタンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク温度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	格納容器パイパスの監視	信号	・DCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量	原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器西循環サンプ水位（広域）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器西循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位		・1次系純水タンク水位		・ほう酸タンク水位		格納容器パイパスの監視	・補助建屋サンプタンク水位		・排気筒ガスモニタ		・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）		・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）		・復水器排気ガスモニタ		・蒸気発生器ブローダウン水モニタ		・高感度型主蒸気管モニタ		・蒸気発生器水位（狭域）		・主蒸気ライン圧力		・余熱除去ポンプ出口圧力		・余熱除去冷却器入口温度		・余熱除去冷却器出口温度		・加圧器逃がしタンク水位		・加圧器逃がしタンク圧力		・加圧器逃がしタンク温度		<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																													
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																																															
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																												
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）																																																																																																																													
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																																													
		・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																																													
	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																																													
		・格納容器ガスモニタ																																																																																																																													
		・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																													
・ほう酸タンク水位計																																																																																																																															
操作	・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																																																														
	・加圧器逃がしタンク水位計																																																																																																																														
信号		・安全注入作動警報																																																																																																																													
加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																													
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																																															
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																																															
e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																															
b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																															
判断基準	格納容器パイパスの監視	信号	・DCS作動																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																																												
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																																																																												
		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力（AM用）																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器西循環サンプ水位（広域）																																																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器西循環サンプ水位（広域）																																																																																																																												
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																													
		・1次系純水タンク水位																																																																																																																													
		・ほう酸タンク水位																																																																																																																													
格納容器パイパスの監視	・補助建屋サンプタンク水位																																																																																																																														
	・排気筒ガスモニタ																																																																																																																														
	・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																																																														
	・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																																																														
	・復水器排気ガスモニタ																																																																																																																														
	・蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																																														
	・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																																														
	・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																																														
	・主蒸気ライン圧力																																																																																																																														
	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																														
・余熱除去冷却器入口温度																																																																																																																															
・余熱除去冷却器出口温度																																																																																																																															
・加圧器逃がしタンク水位																																																																																																																															
・加圧器逃がしタンク圧力																																																																																																																															
・加圧器逃がしタンク温度																																																																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" data-bbox="100 231 716 965"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	信号	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。			<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(20/29)</p> <table border="1" data-bbox="1377 199 1993 981"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを</td> </tr> <tr> <td colspan="3">経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AMU)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">ほう酸タンク水位</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td rowspan="5">格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(f).e. (a) i. 「1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを經由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの補給			f. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを			経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・エアロックエアモニタ	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・1次系純水タンク水位	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ECCS作動	・加圧器水位	・1次冷却材圧力(広域)	・格納容器内温度	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力(広域)	・格納容器スプレイ流量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AMU)	・格納容器再循環サンプ水位(広域)	・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	水源の確保	ほう酸タンク水位	・燃料取替用水ピット水位	・1次系純水タンク水位	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・エアロックエアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	・格納容器ガスモニタ	操作	1.13.2.2(f).e. (a) i. 「1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを經由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																										
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																							
	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																							
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																							
			・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																							
			・炉内計装区域エアモニタ																																																																																							
		水源の確保	・格納容器じんあいモニタ																																																																																							
・格納容器ガスモニタ																																																																																										
信号	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																									
	・ほう酸タンク水位計																																																																																									
加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																										
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																										
e. 1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの補給																																																																																										
f. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを																																																																																										
経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																										
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																								
		・エアロックエアモニタ																																																																																								
操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																								
		・1次系純水タンク水位																																																																																								
判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ECCS作動																																																																																								
		・加圧器水位																																																																																								
		・1次冷却材圧力(広域)																																																																																								
		・格納容器内温度																																																																																								
		・原子炉格納容器圧力																																																																																								
	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力(広域)																																																																																								
		・格納容器スプレイ流量																																																																																								
		・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AMU)																																																																																								
		・格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																								
		・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																								
水源の確保	ほう酸タンク水位	・燃料取替用水ピット水位																																																																																								
		・1次系純水タンク水位																																																																																								
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・エアロックエアモニタ																																																																																								
		・炉内計装区域エアモニタ																																																																																								
		・格納容器じんあいモニタ																																																																																								
		・格納容器ガスモニタ																																																																																								
		・格納容器ガスモニタ																																																																																								
操作	1.13.2.2(f).e. (a) i. 「1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを經由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																															
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の低レンジエアモニタ</td> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内のガスモニタ</td> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・加圧器逃がしタンク水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	原子炉格納容器内の低レンジエアモニタ	・格納容器エアロック区域エアモニタ	原子炉格納容器内のガスモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器じんあいモニタ	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器ガスモニタ	原子炉格納容器内の水位	・燃料取替用水ピット水位計	原子炉格納容器内の注水量	・ほう酸タンク水位計	操作	原子炉格納容器内の注水量	・1次系純水タンク水位計（CRT）	原子炉格納容器内の注水量	・加圧器逃がしタンク水位計	信号			・安全注入作動警報	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。				<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(21/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">格納容器バイパスの監視</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ RCS作動 ・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器西側サンプ水位（広域） ・ 格納容器西側サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器逃がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器逃がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	格納容器バイパスの監視	原子炉圧力容器内の水位	・ RCS作動 ・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器西側サンプ水位（広域） ・ 格納容器西側サンプ水位（狭域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 補助建屋サンプタンク水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 排気筒ガスモニタ	原子炉格納容器内の注水量	・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	原子炉格納容器内の注水量	・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の注水量	・ 復水器排気ガスモニタ	原子炉格納容器内の注水量	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	原子炉格納容器内の注水量	・ 高感度型主蒸気管モニタ	原子炉格納容器内の注水量	・ 蒸気発生器水位（狭域）	原子炉格納容器内の注水量	・ 主蒸気ライン圧力	原子炉格納容器内の注水量	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	原子炉格納容器内の注水量	・ 余熱除去冷却器入口温度	原子炉格納容器内の注水量	・ 余熱除去冷却器出口温度	原子炉格納容器内の注水量	・ 加圧器逃がしタンク水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 加圧器逃がしタンク圧力	原子炉格納容器内の注水量	・ 加圧器逃がしタンク温度	<p>【大飯】運用の相違（相違理由③）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																																		
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																															
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																															
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																															
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																															
	水源の確保	原子炉格納容器内の高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																																															
		原子炉格納容器内の低レンジエアモニタ	・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																																															
		原子炉格納容器内のガスモニタ	・炉内計装区域エアモニタ																																																																																																															
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器ガスモニタ																																																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ほう酸タンク水位計																																																																																																															
操作	原子炉格納容器内の注水量	・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																																																
	原子炉格納容器内の注水量	・加圧器逃がしタンク水位計																																																																																																																
信号			・安全注入作動警報																																																																																																															
加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。																																																																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																																		
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																																		
e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																		
b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																		
判断基準	格納容器バイパスの監視	原子炉圧力容器内の水位	・ RCS作動 ・ 加圧器水位																																																																																																															
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																															
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																																															
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器西側サンプ水位（広域） ・ 格納容器西側サンプ水位（狭域）																																																																																																															
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ 補助建屋サンプタンク水位																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ 排気筒ガスモニタ																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																															
		原子炉格納容器内の注水量	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																															
原子炉格納容器内の注水量	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																																	
原子炉格納容器内の注水量	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																																	
原子炉格納容器内の注水量	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																	
原子炉格納容器内の注水量	・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																																																	
原子炉格納容器内の注水量	・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																																																	
原子炉格納容器内の注水量	・ 加圧器逃がしタンク水位																																																																																																																	
原子炉格納容器内の注水量	・ 加圧器逃がしタンク圧力																																																																																																																	
原子炉格納容器内の注水量	・ 加圧器逃がしタンク温度																																																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>格納容器エアロック区域エアモニタ</td> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">信号</td> <td>炉内計装区域エアモニタ</td> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>格納容器じんあいモニタ</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>格納容器ガスモニタ</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>燃料取替用水ピット水位計</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計 ・安全注入作動警報 加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。 使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	格納容器エアロック区域エアモニタ	・格納容器エアロック区域エアモニタ	信号	炉内計装区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	格納容器じんあいモニタ	・格納容器じんあいモニタ	格納容器ガスモニタ	・格納容器ガスモニタ	操作	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計	ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計 ・安全注入作動警報 加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。 使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<p>監視計器一覧(22/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>エアロックエアモニタ</td> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力（原用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（原用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位</td> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>エアロックエアモニタ</td> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計 ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	エアロックエアモニタ	・エアロックエアモニタ	操作	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	燃料取替用水ピット水位	・燃料取替用水ピット水位	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力（原用）	水源の確保	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（原用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）	燃料取替用水ピット水位	・燃料取替用水ピット水位	1次系純水タンク水位	・1次系純水タンク水位	ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	エアロックエアモニタ	・エアロックエアモニタ	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																															
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																												
	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																												
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																												
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																											
			格納容器エアロック区域エアモニタ	・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																											
		信号	炉内計装区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ																																																																																											
格納容器じんあいモニタ	・格納容器じんあいモニタ																																																																																														
格納容器ガスモニタ	・格納容器ガスモニタ																																																																																														
操作	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																													
	ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計																																																																																													
・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計 ・安全注入作動警報 加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。 使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																															
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																												
		エアロックエアモニタ	・エアロックエアモニタ																																																																																												
操作	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																												
		燃料取替用水ピット水位	・燃料取替用水ピット水位																																																																																												
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力（原用）																																																																																												
	水源の確保	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（原用）																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）																																																																																												
		燃料取替用水ピット水位	・燃料取替用水ピット水位																																																																																												
		1次系純水タンク水位	・1次系純水タンク水位																																																																																												
		ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位																																																																																												
操作	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																												
		エアロックエアモニタ	・エアロックエアモニタ																																																																																												
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																													
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(12/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧 (12/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3">L.13.2.2 (7)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	信号	・燃料取替用水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）	操作	・安全注入作動警報	L.13.2.2 (7)と同様。			<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (23/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納への注水の場合）</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動 ・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">格納容器バイパスの監視</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位 ・ 補助凝縮サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ） ・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ） ・ 産水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>高感度型主蒸気管モニタ</td> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器入口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器出口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>加圧器達がシタンク水位</td> <td>・ 加圧器達がシタンク水位</td> </tr> <tr> <td>加圧器達がシタンク圧力</td> <td>・ 加圧器達がシタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>加圧器達がシタンク温度</td> <td>・ 加圧器達がシタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給			1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納への注水の場合）	判断基準	信号	・ ECCS作動 ・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）	格納容器バイパスの監視	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位 ・ 補助凝縮サンプタンク水位	信号	・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ） ・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ） ・ 産水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローウン水モニタ	高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度	余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	加圧器達がシタンク水位	・ 加圧器達がシタンク水位	加圧器達がシタンク圧力	・ 加圧器達がシタンク圧力	加圧器達がシタンク温度	・ 加圧器達がシタンク温度	<p>【大阪】運用の相違（相違理由㉞）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																													
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																													
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																													
		信号	・燃料取替用水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）																																																																													
		操作	・安全注入作動警報																																																																													
	L.13.2.2 (7)と同様。																																																																															
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																															
	1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納への注水の場合）	判断基準	信号	・ ECCS作動 ・ 加圧器水位																																																																												
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位																																																																													
原子炉圧力容器への注水量			・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																													
原子炉圧力容器内の圧力			・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																													
原子炉格納容器内の温度			・ 格納容器内温度																																																																													
原子炉格納容器内の圧力			・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																													
原子炉格納容器内の水位			・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）																																																																													
格納容器バイパスの監視		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位 ・ 補助凝縮サンプタンク水位																																																																													
		信号	・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ） ・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ） ・ 産水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローウン水モニタ																																																																													
		高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																													
		蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																													
		主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力																																																																													
		余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																													
		余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																													
余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																															
加圧器達がシタンク水位	・ 加圧器達がシタンク水位																																																																															
加圧器達がシタンク圧力	・ 加圧器達がシタンク圧力																																																																															
加圧器達がシタンク温度	・ 加圧器達がシタンク温度																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(12/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(12/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの供給</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ビット水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(7)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内圧力計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ビット水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2(7)と同様。	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(24/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="6">信号</td> <td>・ECS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位 ・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(1) d. (a) 1. 「2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給			判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位	判断基準	信号	・ECS作動	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位 ・2次系純水タンク水位	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	操作	1.13.2.2(1) d. (a) 1. 「2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】運用の相違(相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																	
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内圧力計																																																														
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																														
	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																														
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ビット水位計(CRT)																																																														
		信号	・安全注入作動警報																																																														
		操作	1.13.2.2(7)と同様。																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給																																																																	
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																															
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ビット水位																																																														
判断基準	信号	・ECS作動																																																															
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																														
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																														
	操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																														
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位 ・2次系純水タンク水位																																																														
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアロモニタ(低レンジ) ・エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																														
		操作	1.13.2.2(1) d. (a) 1. 「2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(10/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(10/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2 (5)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）	信号	・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2 (5)と同様。		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 30%;">水源の確保</th> <th style="width: 30%;">復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「耐震性防火槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>		判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	重大事故等対応要領書「耐震性防火槽から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(25/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECS作動 ・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・補助循環サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器パイプスの監視</td> <td>・排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器パイプモニタ（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	判断基準	信号	・ECS作動 ・加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器への注水量	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の温度	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・補助循環サンプタンク水位	格納容器パイプスの監視	・排気筒ガスモニタ	・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・復水器排気ガスモニタ	・高感度型主蒸気管モニタ	・蒸気発生器パイプモニタ（狭域）	・主蒸気ライン圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去冷却器入口温度	・余熱除去冷却器出口温度	・加圧器逃がしタンク水位	・加圧器逃がしタンク圧力	・加圧器逃がしタンク温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・エアロックエアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	<p style="text-align: center; color: red;">【大阪】運用の相違（相違理由㉞）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																			
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																	
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																	
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																	
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																	
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																	
		・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																	
		・炉内計装区域エアモニタ																																																																																	
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																	
・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																			
信号	・安全注入作動警報																																																																																		
操作	1.13.2.2 (5)と同様。																																																																																		
	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																
重大事故等対応要領書「耐震性防火槽から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																			
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	判断基準	信号	・ECS作動 ・加圧器水位																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																
		原子炉圧力容器への注水量	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・格納容器内温度																																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域）																																																																																
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・補助循環サンプタンク水位																																																																																
		格納容器パイプスの監視	・排気筒ガスモニタ																																																																																
			・排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																
			・排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																
・復水器排気ガスモニタ																																																																																			
・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																			
・蒸気発生器パイプモニタ（狭域）																																																																																			
・主蒸気ライン圧力																																																																																			
・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																			
・余熱除去冷却器入口温度																																																																																			
・余熱除去冷却器出口温度																																																																																			
・加圧器逃がしタンク水位																																																																																			
・加圧器逃がしタンク圧力																																																																																			
・加圧器逃がしタンク温度																																																																																			
原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																		
	・エアロックエアモニタ																																																																																		
	・炉内計装区域エアモニタ																																																																																		
	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(10/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(10/14)</p> <table border="1" data-bbox="100 247 716 933"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(5)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	信号	・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2(5)と同様。	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" data-bbox="739 478 1355 662"> <thead> <tr> <th>相違基準</th> <th>水源地の確保</th> <th>復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「耐震性貯水水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	相違基準	水源地の確保	復水貯蔵タンク水位	重大事故等対応要領書「耐震性貯水水槽から復水貯蔵タンクへの補給」			操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(26/29)</p> <table border="1" data-bbox="1377 199 1993 893"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水の場合）</td> <td>操作</td> <td> 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>相違基準</td> <td> 信号 ・ECS作動 原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力（広域） 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） 原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域） 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・エアロックエリアモニタ 原子炉格納容器内の放射線量率 ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ </td> </tr> <tr> <td>ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）</td> <td>操作</td> <td> 1.13.2.2(i) e.、(a) i.、1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水の場合）」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位	相違基準	信号 ・ECS作動 原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力（広域） 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） 原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域） 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・エアロックエリアモニタ 原子炉格納容器内の放射線量率 ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	操作	1.13.2.2(i) e.、(a) i.、1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水の場合）」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】運用の相違（相違理由⑧）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																											
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																									
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																									
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																									
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）																																																									
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																									
		・炉内計装区域エリアモニタ																																																									
		・格納容器じんあいモニタ																																																									
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																									
		・ほう酸タンク水位計																																																									
	信号	・安全注入作動警報																																																									
操作	1.13.2.2(5)と同様。																																																										
相違基準	水源地の確保	復水貯蔵タンク水位																																																									
重大事故等対応要領書「耐震性貯水水槽から復水貯蔵タンクへの補給」																																																											
操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																									
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																											
i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位																																																									
	相違基準	信号 ・ECS作動 原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力（広域） 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） 原子炉格納容器への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器再循環サンプ水位（狭域） 水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・エアロックエリアモニタ 原子炉格納容器内の放射線量率 ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																									
ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	操作	1.13.2.2(i) e.、(a) i.、1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉容器への注水の場合）」の操作手順と同様である。																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/14)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%;">(7) 漏水を用いた復水ビットへの補給</td> <td rowspan="2" style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;">・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </table>	(7) 漏水を用いた復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)	操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)	水源の確保	・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2淡水タンク水位計 (CRT)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">重大事故等対応要領書 「淡水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">水源の確保</td> <td style="width: 65%;">復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">重大事故等対応要領書 「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">重大事故等対応要領書 「漏から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	重大事故等対応要領書 「淡水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	重大事故等対応要領書 「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	重大事故等対応要領書 「漏から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (27/29)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 55%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">b) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">c) 首末水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 2次系補助給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補助給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給			a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位	b) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位	c) 首末水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位	b. 2次系補助給水ポンプによる補助給水ビットへの補給			a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補助給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位	(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順			a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	判断基準	水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位	操作	水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p>【女川】運用の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>
(7) 漏水を用いた復水ビットへの補給			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																																																			
		水源の確保		・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																																																				
		操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																																																				
	水源の確保		・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2淡水タンク水位計 (CRT)																																																																					
重大事故等対応要領書 「淡水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																					
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																					
重大事故等対応要領書 「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																					
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																					
重大事故等対応要領書 「漏から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																					
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給																																																																								
a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位																																																																						
	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位																																																																						
b) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位																																																																						
	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位																																																																						
c) 首末水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位																																																																						
	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位																																																																						
b. 2次系補助給水ポンプによる補助給水ビットへの補給																																																																								
a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補助給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位																																																																						
	操作	水源の確保 ・補助給水ビット水位 ・2次系純水タンク水位																																																																						
(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順																																																																								
a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	判断基準	水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位																																																																						
	操作	水源の確保 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位																																																																						
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%;">(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td rowspan="2" style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;">・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </table>	(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)	操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>																																																										
(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																																																			
		水源の確保		・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																																																				
		操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																																																				
	水源の確保		・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																																																					
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(3/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替</td> <td rowspan="2" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td style="width: 15%;">・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計</td> <td>・N o. 2 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </table>	(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計	・N o. 2 淡水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(3/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">非常時操作手順書(微絶ベース) 「水位確保」等</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉格納容器内の温度</td> <td style="width: 15%;">サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位</td> <td>サブプレッションプール水温度 圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え				非常時操作手順書(微絶ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度	非常時操作手順書(設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位	サブプレッションプール水温度 圧力抑制室水位		操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (28/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 70%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 6-A, B 母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(A用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 6-A, B 母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え			判断基準	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 6-A, B 母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数	判断基準	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(A用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 6-A, B 母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数	(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え			判断基準	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ビット水位	水源の確保	・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	電源	・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>
(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替			判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計																																																																	
		最終ヒートシンクの確保		・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計																																																																		
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計																																																																				
操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計	・N o. 2 淡水タンク水位計(CRT)																																																																			
		1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え																																																																				
非常時操作手順書(微絶ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度																																																																			
非常時操作手順書(設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位	サブプレッションプール水温度 圧力抑制室水位																																																																			
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																			
操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																				
		電源	・ 6-A, B 母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																																																			
判断基準	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(A用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																			
操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																				
		電源	・ 6-A, B 母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																																																			
(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ビット水位																																																																				
		水源の確保	・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																																																			
操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																				
		電源	・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																																																			
<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (3/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 70%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計(CRT)	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計	電源	・ 1次系純水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(3/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">非常時操作手順書(微絶ベース) 「水位確保」等</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉格納容器内の温度</td> <td style="width: 15%;">サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位</td> <td>サブプレッションプール水温度 圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え				非常時操作手順書(微絶ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度	非常時操作手順書(設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位	サブプレッションプール水温度 圧力抑制室水位		操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (29/29)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 70%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 2次系純水タンク水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 2次系純水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替え			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 補助給水ビット水位	水源の確保	・ 2次系純水タンク水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 2次系純水タンク水位																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																			
操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計																																																																				
		電源	・ 1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																			
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧が心スプレイ系の水源の切替え																																																																						
非常時操作手順書(微絶ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度																																																																			
非常時操作手順書(設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度 原子炉格納容器の水位	サブプレッションプール水温度 圧力抑制室水位																																																																			
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替え																																																																						
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 補助給水ビット水位																																																																				
		水源の確保	・ 2次系純水タンク水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																			
操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																				
		電源	・ 2次系純水タンク水位																																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(1/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">(1) 復水ビットからN o. 3 淡水タンクへの水源切替</td> <td rowspan="2" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 15%;">・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計 ・ N o. 3 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計 ・ N o. 3 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </table>	(1) 復水ビットからN o. 3 淡水タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ N o. 3 淡水タンク水位計(CRT)	操作	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ N o. 3 淡水タンク水位計(CRT)																																																													
(1) 復水ビットからN o. 3 淡水タンクへの水源切替			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																	
		水源の確保		・ 復水ビット水位計 ・ N o. 3 淡水タンク水位計(CRT)																																																																		
	操作	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ N o. 3 淡水タンク水位計(CRT)																																																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
第1.13.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			第1.13-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備				第1.13.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備				【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
対象条文	供給対象設備	給電元	対象条文	供給対象設備	供給元		対象条文	供給対象設備	給電元		
【1.13】 重大事故等の取束に必要となる水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	【1.13】 重大事故等の取束に必要となる水の供給手順等	計測用電源 (復水貯蔵タンク水位)	設備	母線	【1.13】 重大事故等時に必要となる水の供給手順等	原子炉格納容器スプレイ設置弁	設備	母線	
	A 高压注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線			常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系			常設代替交流電源設備	B2-2 原子炉コントロールセンター	
	B 高压注入ポンプ	4-3 (4) B 非常用高压母線		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	非常用交流電源設備		代替格納容器スプレイポンプ 兼圧調整			
	A 充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線							非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ 兼圧調整	
	B 充てんポンプ	4-3 (4) B 非常用高压母線		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ 兼圧調整		代替格納容器スプレイポンプ 兼圧調整			
	C 充てんポンプ	3-3 (4) A2 非常用低圧母線							非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ 兼圧調整	
				3-3 (4) B2 非常用低圧母線	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ 兼圧調整					
	A 格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線									
	A 加圧器逃がし弁	A2 ソレノイド分電盤									
	B 加圧器逃がし弁	B2 ソレノイド分電盤									

※：供給内容は監理設計

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.1.1図 炉心注水機能喪失</p> <p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析 (2/5)</p>	<p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析</p> <p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析 (1/2)</p> <p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析 (1/2)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・対応手段を緑枠とした。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>※3 1次系循環水タンク及びほうろくタンクから燃料取扱用水ピットへの配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次系循環水タンク ・1次系補給水ポンプ ・ほうろくタンク ・ほうろくポンプ <p>※4 1次系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの配管（追加設置したポンプ含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次系循環水タンク ・1次系補給水ポンプ ・燃料取扱用水配管の追加設置 ・燃料取扱用水ポンプ <p>※5 1次系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの配管（追加設置したポンプ含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次系循環水タンク ・1次系補給水ポンプ <p>※6 N1、3系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの配管（追加設置したポンプ含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N1、3系循環水タンク ・使用済燃料ピットポンプ <p>※7 N1、N2、2系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N1、2系循環水タンク <p>※8 燃料取扱用水ピットから燃料取扱用水ピットへの配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料取扱用水ピット </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> </div> </div> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (3/5)</p>			<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、使用済燃料ピットへの注水機能、炉心注水機能、格納容器スプレイ機能のFT図を1.13.1図(1/2)に記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、掲載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析（5/5）</p>			<p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、使用済燃料ピットへの注水機能、炉心注水機能、格納容器スプレイ機能のFT図を1.13.1図(1/2)に記載している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、掲載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析（1/5）</p>		<p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析（2/2）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・対応手段を緑枠とした。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (4/5)</p>			<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、蒸気発生器2次側による炉心冷却機能、再循環運転機能のFT図を1.13.1図(2/2)に記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-2図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水 (原子炉建屋北側接続の場合) 概要図</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

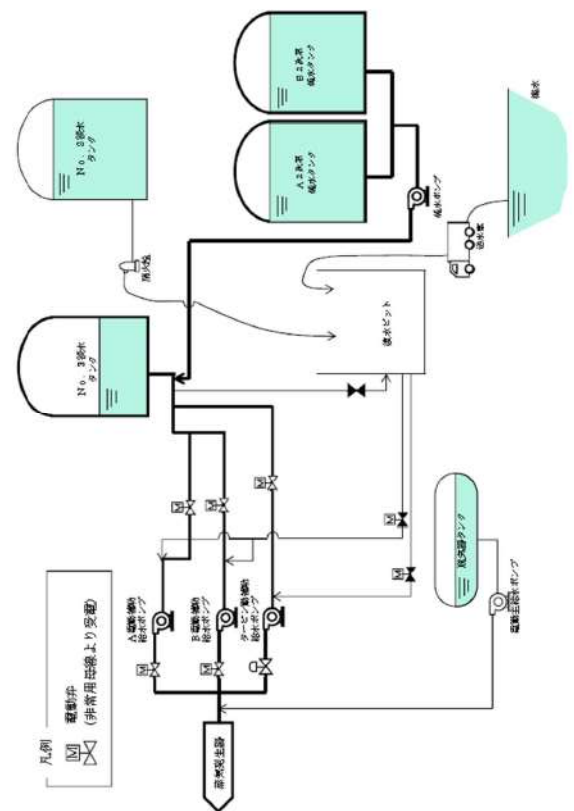
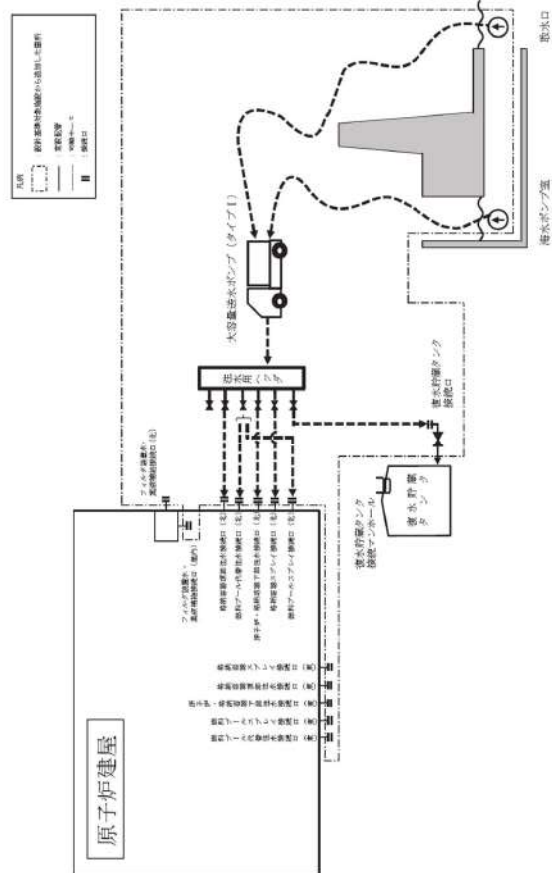
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
	<p>第1.13-4図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による送水概要図 （原子炉建屋北側接続の場合）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>ろ過水タンク非常用圧力調整機停止弁（大容量送水ポンプ用）</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	弁名称	①#1	ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）	①#2	ろ過水タンク非常用圧力調整機停止弁（大容量送水ポンプ用）	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>
操作手順	弁名称								
①#1	ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）								
①#2	ろ過水タンク非常用圧力調整機停止弁（大容量送水ポンプ用）								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1133図 A、B 2次蒸気純水タンクからNo. 3 純水タンクへの補給 配路系統</p>	 <p>第1.13-6図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）概要図 （原子炉建屋北側接続の場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】 記載方針の相違（相違理由②）</p>

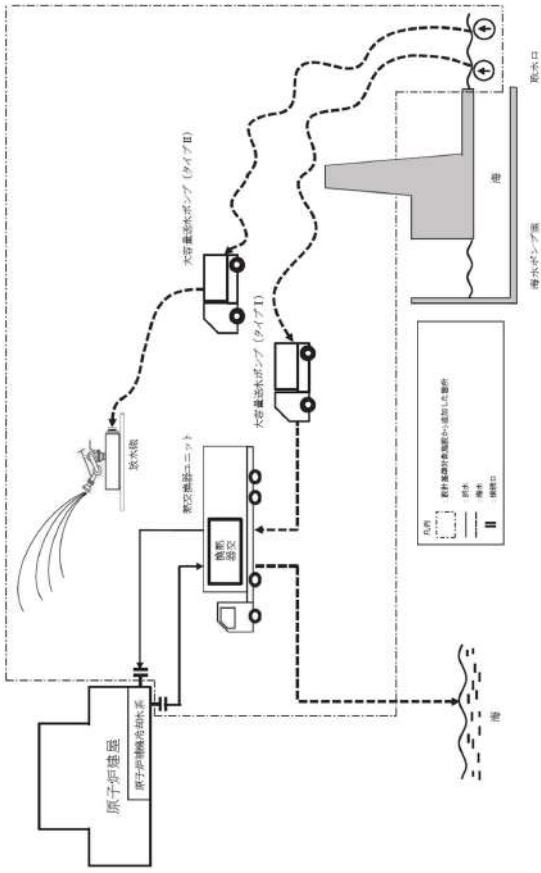
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="728 438 1366 678"> <p>第1.13-7図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（1/2） （取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p> </div> <div data-bbox="728 805 1366 1045"> <p>第1.13-8図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> </div>		<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>
	<div data-bbox="1467 766 1915 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>		

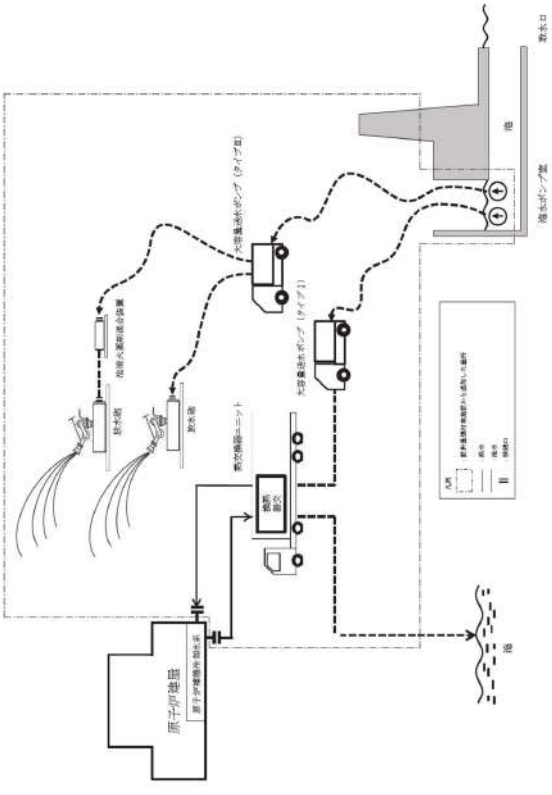
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-9図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（1/2） （取水口から海水を取水する場合）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-10図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図 1.13-11 海を水源とした大容量海水ポンプによる海水（各種供給）タイムチャート（1/2） （取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

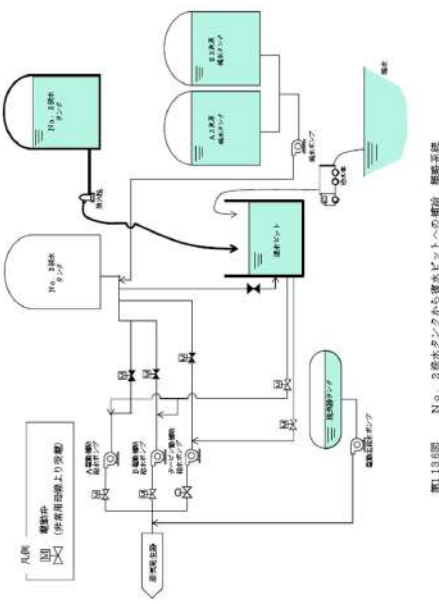
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-12図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>第1136図 No. 3熱水タンクから復水ピットへの供給 標準系図</p> </div> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員(名)</th> <th>所要時間(分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No. 3熱水タンクからのピットへの給水</td> <td rowspan="3">緊急安全弁作業者 3</td> <td>7分10秒</td> </tr> <tr> <td>7分10秒</td> </tr> <tr> <td>7分10秒</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 緊急時運用時には1名で確認員兼作業者を充てる。</p> <p>第1137図 No. 2熱水タンクから復水ピットへの供給 タイムチャート</p> </div> </div>	手順の項目	要員(名)	所要時間(分)	No. 3熱水タンクからのピットへの給水	緊急安全弁作業者 3	7分10秒	7分10秒	7分10秒		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 大飯3/4号炉との比較対象なし </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p>
手順の項目	要員(名)	所要時間(分)									
No. 3熱水タンクからのピットへの給水	緊急安全弁作業者 3	7分10秒									
		7分10秒									
		7分10秒									

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 347 640 1241" style="border: 2px solid black; height: 560px; width: 238px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="651 352 680 922" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 10px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p data-bbox="689 448 719 1150">第1.13.8図 No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給 ホース敷設ルート</p>		<div data-bbox="1435 767 1944 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 大飯3 / 4号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2018 751 2159 831" style="color: red;">【大飯】 設備の相違(相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

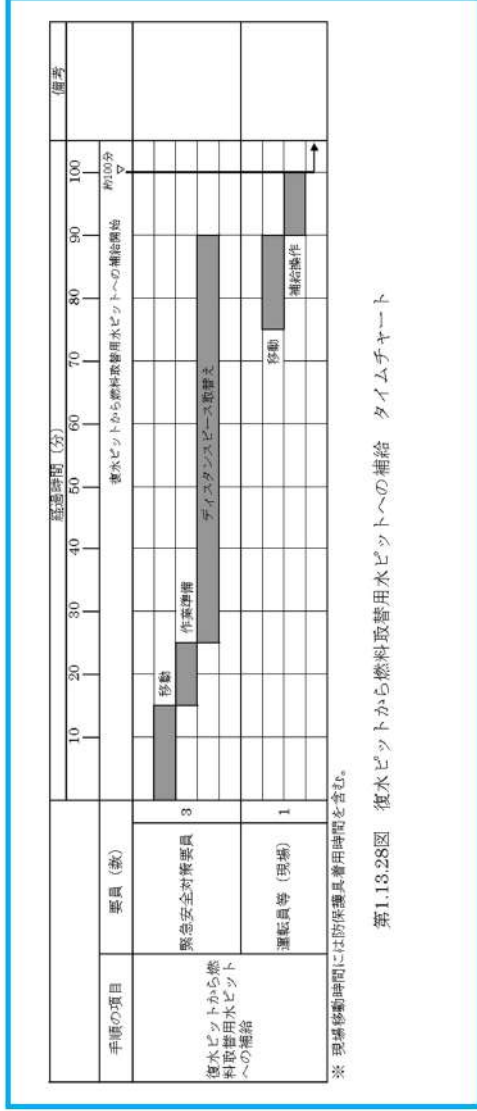
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第113.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-13図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>第1.13.2図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 973 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ロープ</td> <td>ロープ接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ロープ</td> <td>ロープ接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型送水ポンプ車駆動用ラインシフト</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料取替用水ピット→燃料取替用水タンク送水ラインシフト</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水タンク→燃料取替用水タンク送水ラインシフト</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→駆動</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～10同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ロープ	ロープ接続	②	可搬型ロープ	ロープ接続	③	可搬型送水ポンプ車駆動用ラインシフト	全閉→全開	④	燃料取替用水ピット→燃料取替用水タンク送水ラインシフト	全閉→全開	⑤	燃料取替用水タンク→燃料取替用水タンク送水ラインシフト	全閉→全開	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→駆動	<p>【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ロープ	ロープ接続																						
②	可搬型ロープ	ロープ接続																						
③	可搬型送水ポンプ車駆動用ラインシフト	全閉→全開																						
④	燃料取替用水ピット→燃料取替用水タンク送水ラインシフト	全閉→全開																						
⑤	燃料取替用水タンク→燃料取替用水タンク送水ラインシフト	全閉→全開																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→駆動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

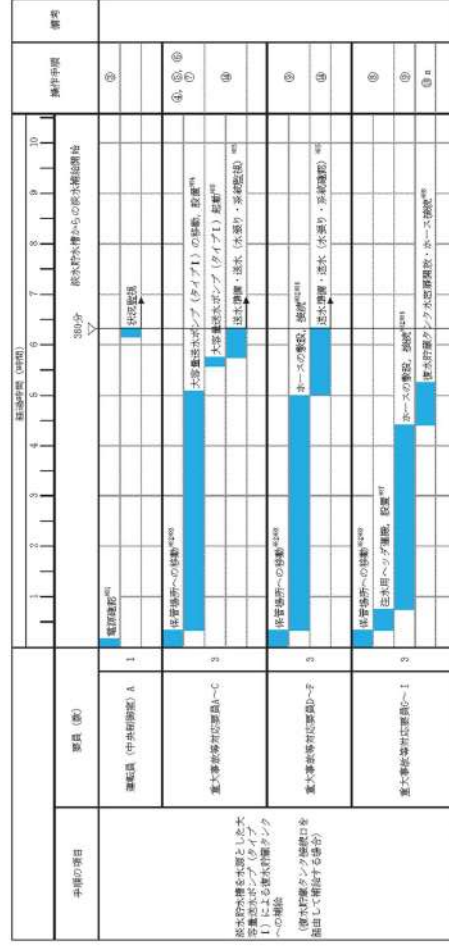
大阪発電所3/4号炉

【比較のため、記載順序入替え】



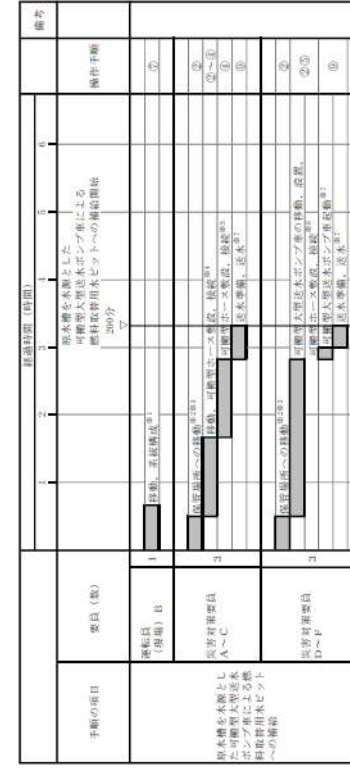
第1.13.28図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-14図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/2）
 （復水貯蔵タンク接続口を臨用する場合）

泊発電所3号炉

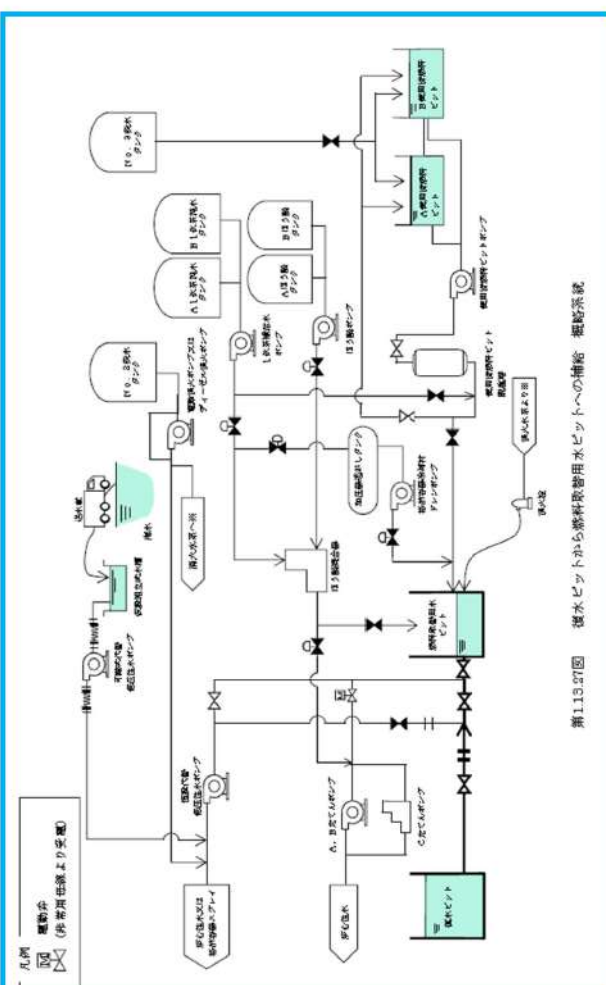
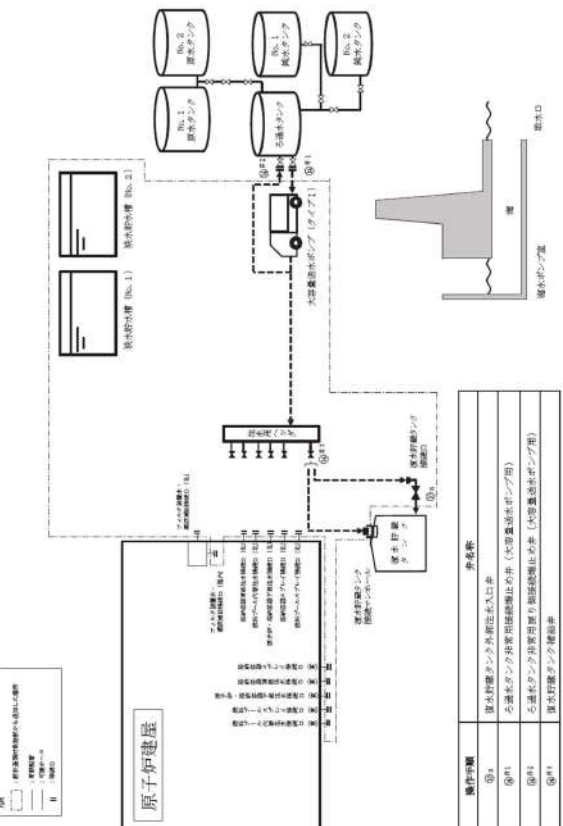
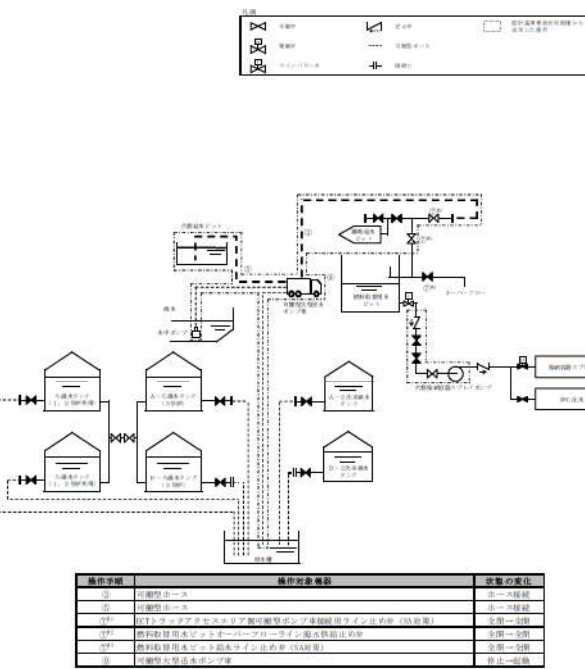


第1.13.3図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

- ・【大阪】設備の相違（相違理由⑥）
- ・【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、再掲】</p>  <p>第113.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	 <p>第1.13-16図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	 <p>第1.13.4図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 989 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>水位上昇</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>水位上昇</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	停止→稼働	②	可搬型ポンプ	停止→稼働	③	可搬型ポンプ	停止→稼働	④	燃料取替用水ピット	水位上昇	⑤	燃料取替用水ピット	水位上昇	⑥	可搬型ポンプ	停止→稼働	<p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ポンプ	停止→稼働																						
②	可搬型ポンプ	停止→稼働																						
③	可搬型ポンプ	停止→稼働																						
④	燃料取替用水ピット	水位上昇																						
⑤	燃料取替用水ピット	水位上昇																						
⑥	可搬型ポンプ	停止→稼働																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>手順の項目</p> <p>運転員（中央制御室）A 1</p> <p>運転員（中央制御室）B 1</p> <p>重大事故等対応要員A-C 3</p> <p>重大事故等対応要員D-F 3</p> <p>重大事故等対応要員G-I 3</p> <p>※1：中央制御室での監視及び操作は1名が担当する ※2：中央制御室での監視及び操作は2名が担当する ※3：緊急停止ポンプ（タイプ1）及び緊急停止ポンプ（タイプ2）の稼働を想定した稼働時間及び大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕時間）を算出する ※4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間として、緊急停止ポンプ（タイプ1）からの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間と、緊急停止ポンプ（タイプ2）からの送水ポンプ（タイプ2）の稼働時間とを算出する ※5：緊急停止ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕時間）を算出する ※6：緊急停止ポンプ（タイプ2）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕時間）を算出する ※7：送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間及び送水ポンプ（タイプ2）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕時間）を算出する ※8：設計中点を考慮して想定した作業時間（余裕時間）を算出する</p>	<p>手順の項目</p> <p>運転員（中央制御室）A 1</p> <p>運転員（中央制御室）B 1</p> <p>重大事故等対応要員A-C 3</p> <p>重大事故等対応要員D-F 3</p> <p>重大事故等対応要員G-I 3</p> <p>※1：中央制御室での監視及び操作は1名が担当する ※2：中央制御室での監視及び操作は2名が担当する ※3：緊急停止ポンプ（タイプ1）及び緊急停止ポンプ（タイプ2）の稼働を想定した稼働時間及び大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕時間）を算出する ※4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間として、緊急停止ポンプ（タイプ1）からの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間と、緊急停止ポンプ（タイプ2）からの送水ポンプ（タイプ2）の稼働時間とを算出する ※5：緊急停止ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕時間）を算出する ※6：緊急停止ポンプ（タイプ2）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕時間）を算出する ※7：送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間及び送水ポンプ（タイプ2）の稼働時間を考慮した作業時間（余裕時間）を算出する ※8：設計中点を考慮して想定した作業時間（余裕時間）を算出する</p>	<p>相違理由</p>

第1.13-18図 送水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水時送水ポンプへの補給タイムチャート（2/2）
 （送水貯蔵タンク投籠マンホールを踏田して補給する割合）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

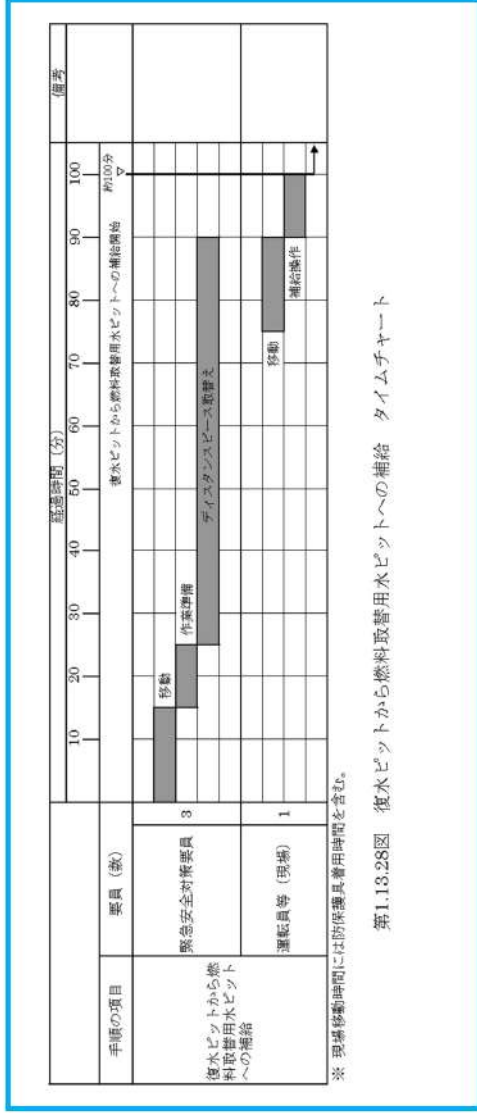
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、再掲】</p> <p>第113.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-19図 海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>第1.13.6図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 973 1926 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車(運転用ライン止弁) (SAR) 開</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料取替用水ピットオーバーフローライン(海水供給止弁) (SAR) 開</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ピット送水ライン止弁 (SAR) 開</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→運転</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑥同一操作手順書内に複数の操作又は確認を実施する種別があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	可搬型大型送水ポンプ車(運転用ライン止弁) (SAR) 開	全開→全閉	④	燃料取替用水ピットオーバーフローライン(海水供給止弁) (SAR) 開	全開→全閉	⑤	燃料取替用水ピット送水ライン止弁 (SAR) 開	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→運転	<p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③	可搬型大型送水ポンプ車(運転用ライン止弁) (SAR) 開	全開→全閉																						
④	燃料取替用水ピットオーバーフローライン(海水供給止弁) (SAR) 開	全開→全閉																						
⑤	燃料取替用水ピット送水ライン止弁 (SAR) 開	全開→全閉																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→運転																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

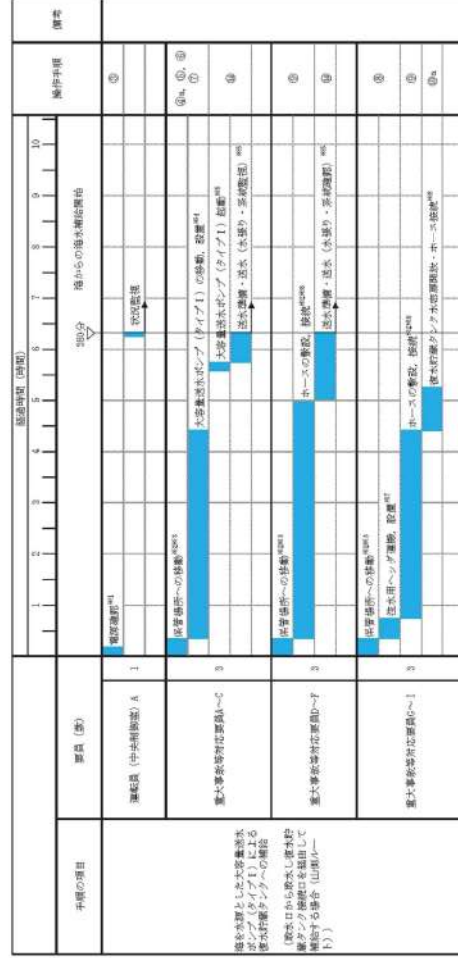
【比較のため、再掲】



第1.13.28図 復水ピットから燃料取扱替用水ピットへの補給 タイムチャート

※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。

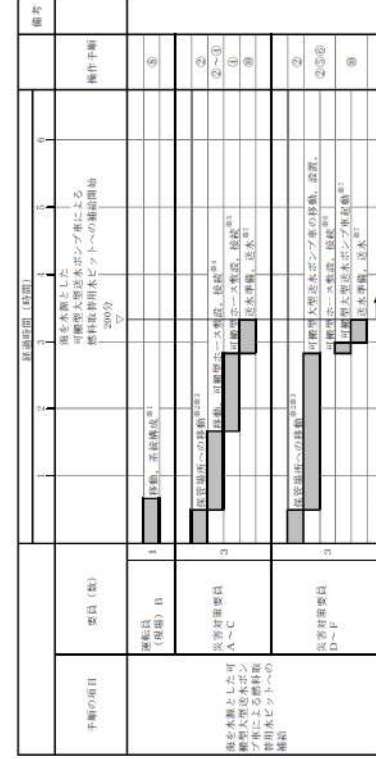
女川原子力発電所2号炉



※1：作業準備時間には防保護具の着用時間を含む。
 ※2：燃料取扱替用水ピットからの取水（燃料取扱替用水ピットからの取水）
 ※3：燃料取扱替用水ピットへの補給（燃料取扱替用水ピットへの補給）
 ※4：燃料取扱替用水ピットからの取水（燃料取扱替用水ピットからの取水）
 ※5：燃料取扱替用水ピットへの補給（燃料取扱替用水ピットへの補給）
 ※6：燃料取扱替用水ピットからの取水（燃料取扱替用水ピットからの取水）
 ※7：燃料取扱替用水ピットへの補給（燃料取扱替用水ピットへの補給）
 ※8：燃料取扱替用水ピットからの取水（燃料取扱替用水ピットからの取水）

第1.13-20図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/4）
 （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合（山側ルート））

泊発電所3号炉



※1：作業準備時間には防保護具の着用時間を含む。
 ※2：燃料取扱替用水ピットからの取水（燃料取扱替用水ピットからの取水）
 ※3：燃料取扱替用水ピットへの補給（燃料取扱替用水ピットへの補給）
 ※4：燃料取扱替用水ピットからの取水（燃料取扱替用水ピットからの取水）
 ※5：燃料取扱替用水ピットへの補給（燃料取扱替用水ピットへの補給）
 ※6：燃料取扱替用水ピットからの取水（燃料取扱替用水ピットからの取水）
 ※7：燃料取扱替用水ピットへの補給（燃料取扱替用水ピットへの補給）
 ※8：燃料取扱替用水ピットからの取水（燃料取扱替用水ピットからの取水）

第1.13.7図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給 タイムチャート

- ・【大阪】
設備の相違（相違理由⑥）
- ・【大阪】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャート
と操作手順番号
を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p> <p style="text-align: center;">第 1.13-24 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>65分 耐震性防火水槽からの補給開始</p> <p>1 運転員（中央制御室）A 1 状況監視 1 化学消防自動車への移動^{※1} 5 化学消防自動車の移動・設置^{※4} 5 本一スの敷設・接続^{※5} 5 化学消防自動車の起動^{※6} 5 送水（水車・流量調整）^{※6}</p> <p>備考 ③ ④、⑤ ⑥</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>
	<p>手順の項目 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧作業時の水供給</p>		
	<p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：化学消防自動車の保管場所から第1保管エリアまでの移動を想定した移動時間に見込んだ時間 ※3：事務所又は事務室から第1保管エリアまでの移動を想定した移動時間に見込んだ時間 ※4：化学消防自動車の移動距離として、第1保管エリアから耐震性防火水槽までの移動時間と化学消防自動車の移動時間を見込んだ時間 ※5：本一ス敷設前後の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※6：化学消防自動車の起動の準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>第 1.13-25 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧作業時の水供給タイムチャート</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第11324図 No. 2 放水タンクから燃料取替用水ビレットへの補給 概要図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1406 1037 1948 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>消防ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>電動機駆動消火ポンプ*</td> <td>停止一起動</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ*</td> <td>停止一起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：どちらか1台を起動する。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	④	消防ホース	ホース接続	⑤	電動機駆動消火ポンプ*	停止一起動		ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止一起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化													
④	消防ホース	ホース接続													
⑤	電動機駆動消火ポンプ*	停止一起動													
	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止一起動													

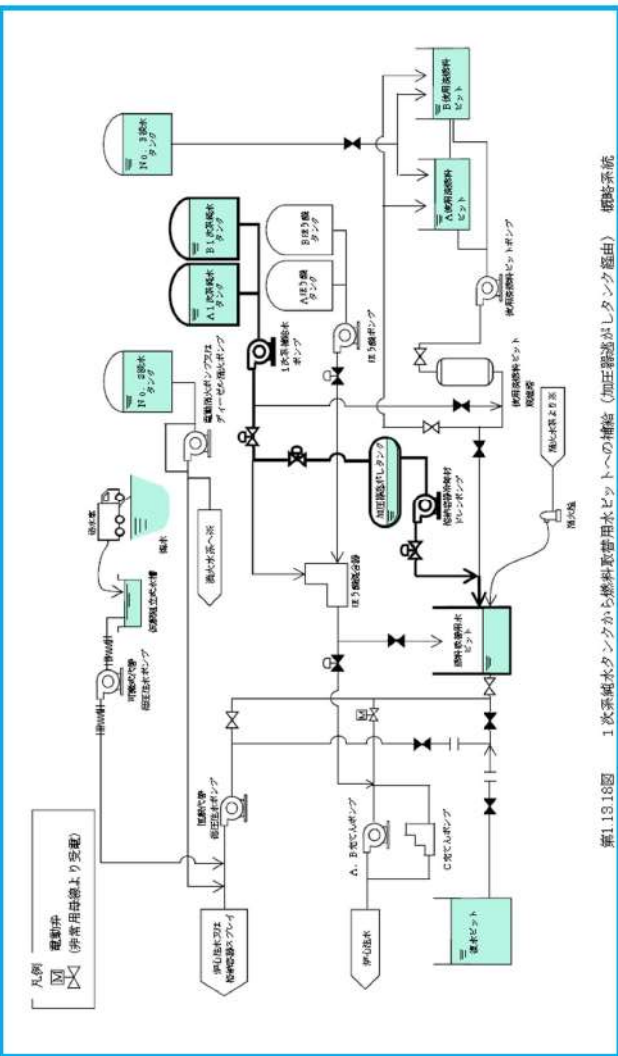
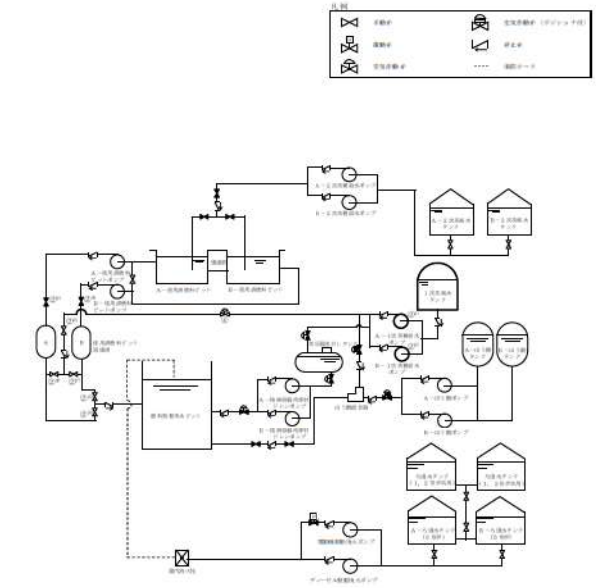
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.25図 No. 2 過水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※：現場移動等時には防護用具着用確認を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第 1.13.9 図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加 <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違

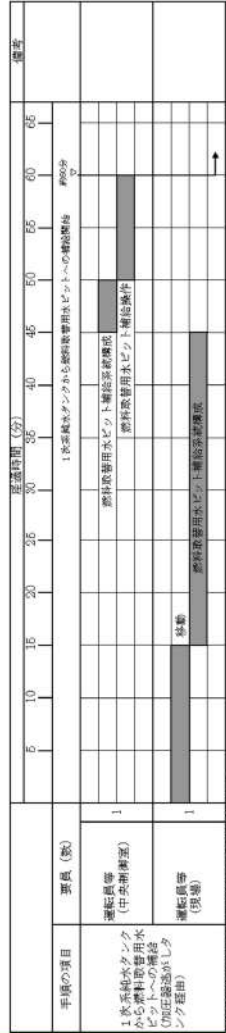
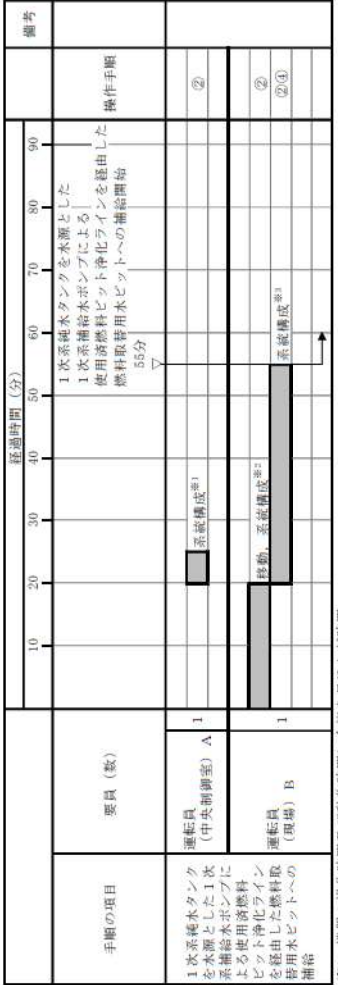
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>前1.13.18図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器がしタンク経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 957 1948 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①²¹</td> <td>A-1 1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②²²</td> <td>B-1 2次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③²³</td> <td>A-1 使用済燃料ピット脱塩器入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④²⁴</td> <td>B-1 使用済燃料ピット脱塩器入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤²⁵</td> <td>使用済燃料ピット脱塩器の排水戻り弁</td> <td>遮断確認</td> </tr> <tr> <td>⑥²⁶</td> <td>A-1 使用済燃料ピット脱塩器排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦²⁷</td> <td>B-1 使用済燃料ピット脱塩器排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧²⁸</td> <td>A-SIP*アイルタ出口燃料取替用水ピット本浄化戻りライン閉鎖弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨²⁹</td> <td>B-SIP*アイルタ出口燃料取替用水ピット本浄化戻りライン閉鎖弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>脱塩器補給水止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～10：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ²¹	A-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ²²	B-1 2次系補給水ポンプ	停止→起動	③ ²³	A-1 使用済燃料ピット脱塩器入口弁	全閉→全開	④ ²⁴	B-1 使用済燃料ピット脱塩器入口弁	全閉→全開	⑤ ²⁵	使用済燃料ピット脱塩器の排水戻り弁	遮断確認	⑥ ²⁶	A-1 使用済燃料ピット脱塩器排水弁	全閉→全開	⑦ ²⁷	B-1 使用済燃料ピット脱塩器排水弁	全閉→全開	⑧ ²⁸	A-SIP*アイルタ出口燃料取替用水ピット本浄化戻りライン閉鎖弁	全閉→全開	⑨ ²⁹	B-SIP*アイルタ出口燃料取替用水ピット本浄化戻りライン閉鎖弁	全閉→全開	⑩	脱塩器補給水止め弁	全閉→全開	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
① ²¹	A-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② ²²	B-1 2次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
③ ²³	A-1 使用済燃料ピット脱塩器入口弁	全閉→全開																																		
④ ²⁴	B-1 使用済燃料ピット脱塩器入口弁	全閉→全開																																		
⑤ ²⁵	使用済燃料ピット脱塩器の排水戻り弁	遮断確認																																		
⑥ ²⁶	A-1 使用済燃料ピット脱塩器排水弁	全閉→全開																																		
⑦ ²⁷	B-1 使用済燃料ピット脱塩器排水弁	全閉→全開																																		
⑧ ²⁸	A-SIP*アイルタ出口燃料取替用水ピット本浄化戻りライン閉鎖弁	全閉→全開																																		
⑨ ²⁹	B-SIP*アイルタ出口燃料取替用水ピット本浄化戻りライン閉鎖弁	全閉→全開																																		
⑩	脱塩器補給水止め弁	全閉→全開																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.19図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器速がしタンク経由） タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防塵器具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第1.13.11図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.20図 1次系純水タンクから燃料取替用水セットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1422 957 1960 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>B-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②³⁾</td> <td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁴⁾</td> <td>加圧器逃がしタンク補給水ラインの弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁵⁾</td> <td>A-燃料取替用水ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②⁶⁾</td> <td>燃料取替用水ドレンポンプ出口C内の隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁷⁾</td> <td>B-燃料取替用水ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>②^{1)~②⁷⁾同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。}</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹⁾	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ²⁾	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ³⁾	加圧器逃がしタンクドレン弁	全開→全閉	② ⁴⁾	加圧器逃がしタンク補給水ラインの弁	全開→全閉	② ⁵⁾	A-燃料取替用水ドレンポンプ	停止→起動	② ⁶⁾	燃料取替用水ドレンポンプ出口C内の隔離弁	全開→全閉	② ⁷⁾	B-燃料取替用水ドレンポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																									
② ¹⁾	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
② ²⁾	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
② ³⁾	加圧器逃がしタンクドレン弁	全開→全閉																									
② ⁴⁾	加圧器逃がしタンク補給水ラインの弁	全開→全閉																									
② ⁵⁾	A-燃料取替用水ドレンポンプ	停止→起動																									
② ⁶⁾	燃料取替用水ドレンポンプ出口C内の隔離弁	全開→全閉																									
② ⁷⁾	B-燃料取替用水ドレンポンプ	停止→起動																									

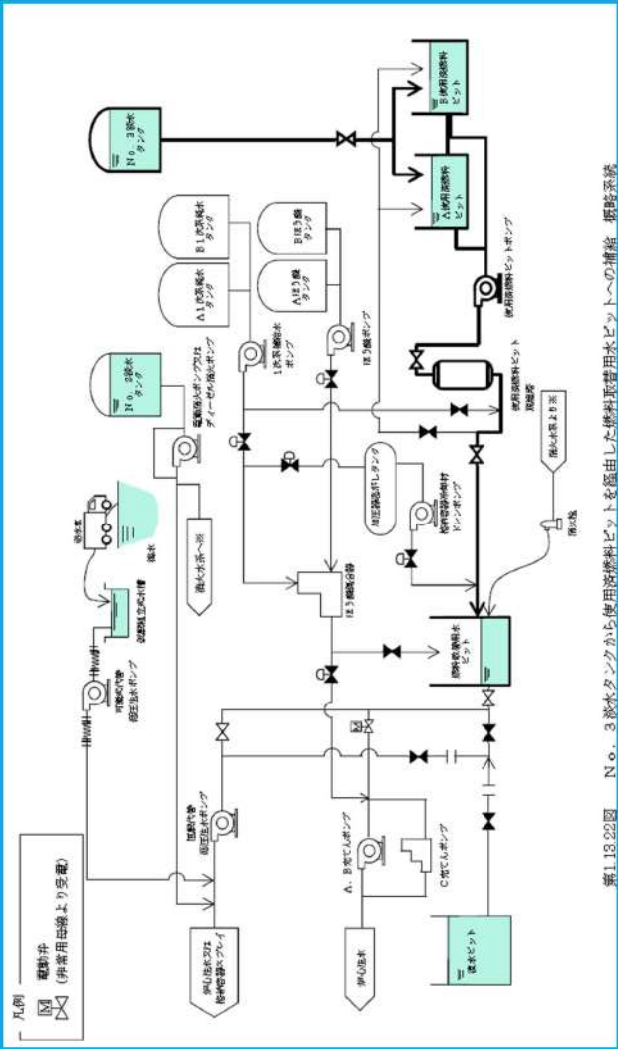
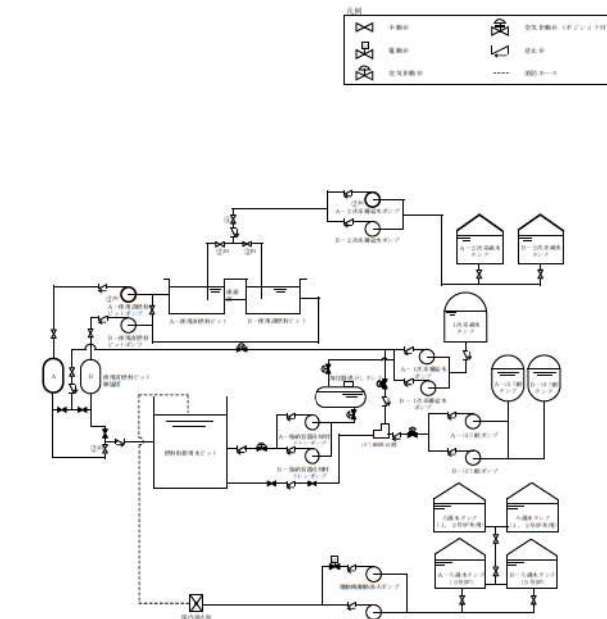
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.21図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピペットへの補給 (使用済燃料ピペット脱塩塔経由) タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には対応機具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.13図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピペットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.25図 No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第1.13.14図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 989 1971 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①*</td> <td>A-2 次系補給水ポンプ</td> <td>起動/停止</td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ</td> <td>起動/停止</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ出口燃料取替用水ピット及浄化槽リライン閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤*</td> <td>B-1 使用済燃料ピット補給ポンプ</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>使用済燃料ピット底層水補給</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：同一操作手順号内に複数の操作又は確認を実施する機軸があることを示す。 ※：どちらか一方を全開とする。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①*	A-2 次系補給水ポンプ	起動/停止	②*	A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	起動/停止	③*	A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ出口燃料取替用水ピット及浄化槽リライン閉鎖	全閉→全開	④*	A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	全閉→全開	⑤*	B-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	全閉→全開	⑥	使用済燃料ピット底層水補給	全閉→全開	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①*	A-2 次系補給水ポンプ	起動/停止																						
②*	A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	起動/停止																						
③*	A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ出口燃料取替用水ピット及浄化槽リライン閉鎖	全閉→全開																						
④*	A-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	全閉→全開																						
⑤*	B-1 使用済燃料ピット補給ポンプ	全閉→全開																						
⑥	使用済燃料ピット底層水補給	全閉→全開																						

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.23図 No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13.15 図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加 <p>【女川】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1422 949 1948 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^注</td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②^注</td> <td>A-びほう酸ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③^注</td> <td>びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^注</td> <td>びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^注</td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑥^注</td> <td>びほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^注	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ^注	A-びほう酸ポンプ	停止→起動	③ ^注	びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁	全閉→全開	④ ^注	びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	全閉→全開	⑤ ^注	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	⑥ ^注	びほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
① ^注	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																						
② ^注	A-びほう酸ポンプ	停止→起動																						
③ ^注	びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁	全閉→全開																						
④ ^注	びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	全閉→全開																						
⑤ ^注	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																						
⑥ ^注	びほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																						

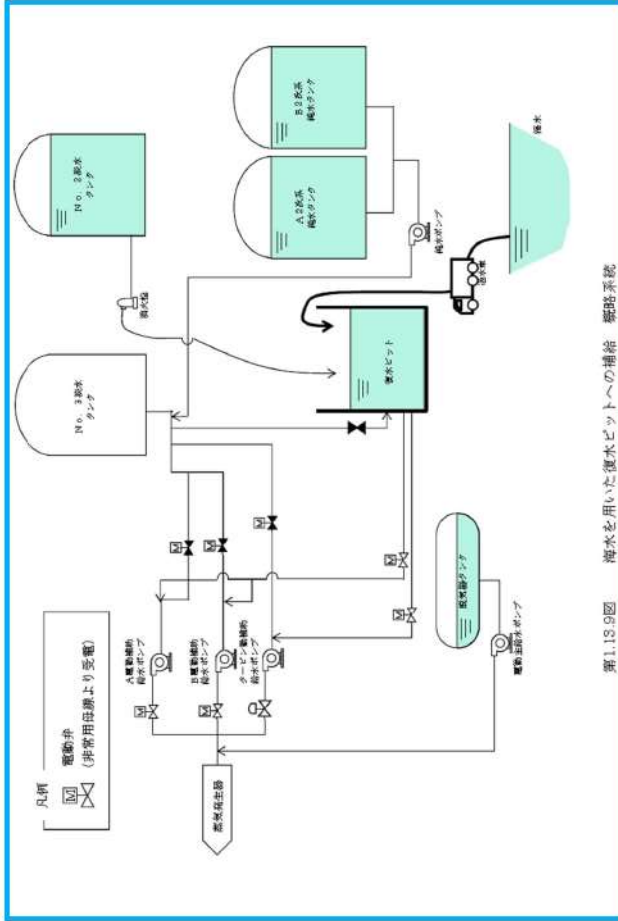
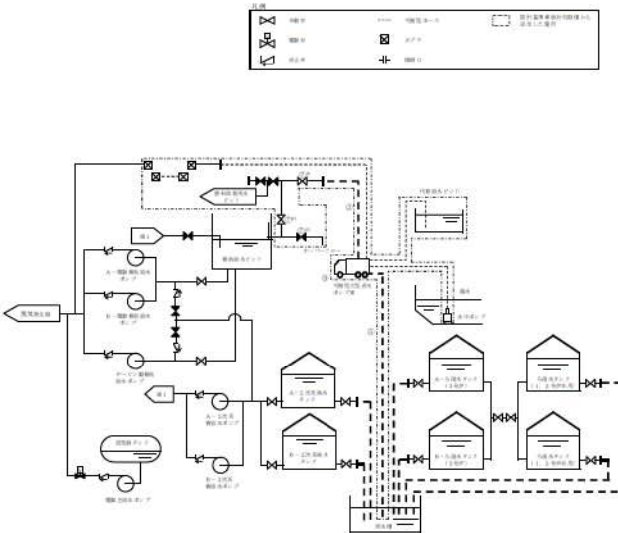
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防護員着脱時間を含む。</p> <p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸ポンプからの燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第1.13.18図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1478 973 1948 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>非水車種可搬型ポンプ車稼働用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ビットローライオン給水用止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>稼働→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：同一操作手順番号内に複数の操作又は順序を要する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	非水車種可搬型ポンプ車稼働用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④	補助給水ビットローライオン給水用止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑤	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	稼働→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③	非水車種可搬型ポンプ車稼働用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																						
④	補助給水ビットローライオン給水用止め弁 (SA対策)	全閉→全開																						
⑤	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	稼働→起動																						

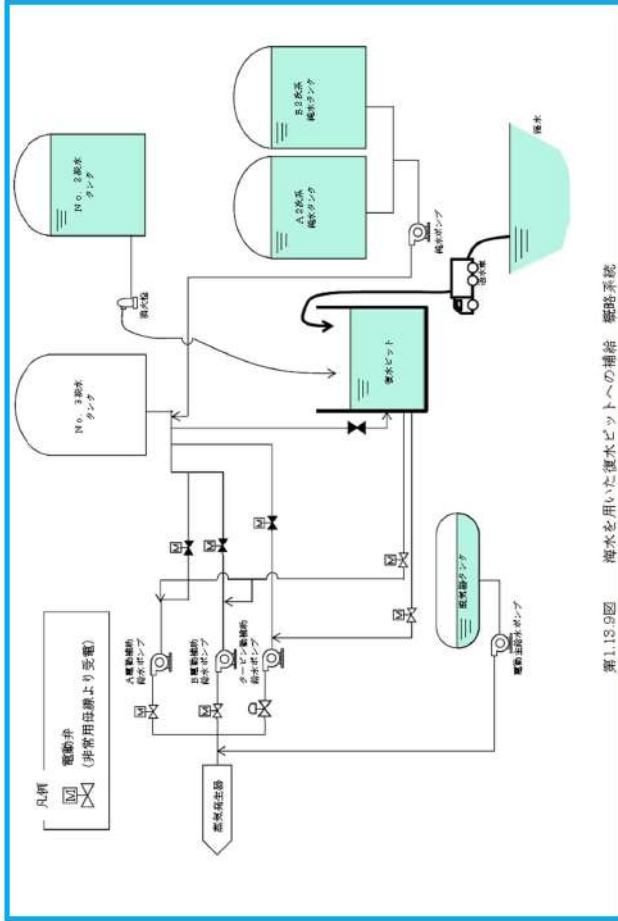
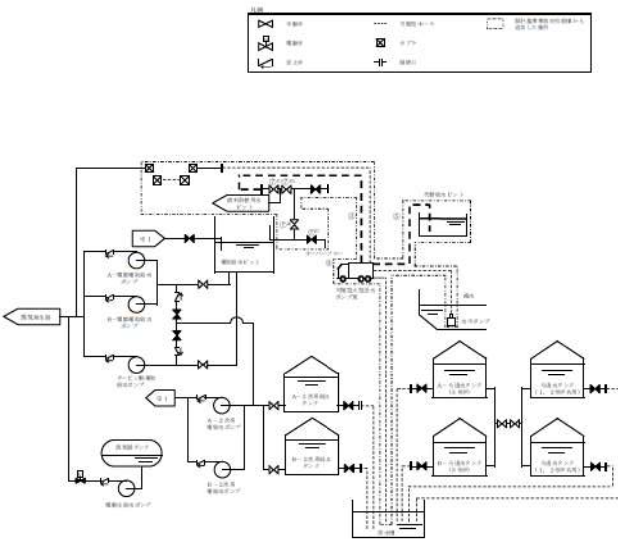
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防保保護具着用時間を含む。</p> <p>第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.19図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																									
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ピットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1456 981 1915 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の異化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>自動停止弁</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>自動停止弁</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>1号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>2号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>3号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>4号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>5号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>6号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>7号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>8号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>9号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>10号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>11号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>12号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>13号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>14号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>15号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>16号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>17号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>18号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>19号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>20号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>21号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>22号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>23号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>24号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>25号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>26号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>27号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>28号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>29号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>30号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>31号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>32号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>33号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>34号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>35号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>36号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>37号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>38号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>39号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>40号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>41号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>42号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>43号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>44号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>45号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>46号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>47号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>48号冷却水ポンプ</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.13.20図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	設備の異化	①	自動停止弁	あり	②	自動停止弁	あり	③	1号冷却水ポンプ	あり	④	2号冷却水ポンプ	あり	⑤	3号冷却水ポンプ	あり	⑥	4号冷却水ポンプ	あり	⑦	5号冷却水ポンプ	あり	⑧	6号冷却水ポンプ	あり	⑨	7号冷却水ポンプ	あり	⑩	8号冷却水ポンプ	あり	⑪	9号冷却水ポンプ	あり	⑫	10号冷却水ポンプ	あり	⑬	11号冷却水ポンプ	あり	⑭	12号冷却水ポンプ	あり	⑮	13号冷却水ポンプ	あり	⑯	14号冷却水ポンプ	あり	⑰	15号冷却水ポンプ	あり	⑱	16号冷却水ポンプ	あり	⑲	17号冷却水ポンプ	あり	⑳	18号冷却水ポンプ	あり	㉑	19号冷却水ポンプ	あり	㉒	20号冷却水ポンプ	あり	㉓	21号冷却水ポンプ	あり	㉔	22号冷却水ポンプ	あり	㉕	23号冷却水ポンプ	あり	㉖	24号冷却水ポンプ	あり	㉗	25号冷却水ポンプ	あり	㉘	26号冷却水ポンプ	あり	㉙	27号冷却水ポンプ	あり	㉚	28号冷却水ポンプ	あり	㉛	29号冷却水ポンプ	あり	㉜	30号冷却水ポンプ	あり	㉝	31号冷却水ポンプ	あり	㉞	32号冷却水ポンプ	あり	㉟	33号冷却水ポンプ	あり	㊱	34号冷却水ポンプ	あり	㊲	35号冷却水ポンプ	あり	㊳	36号冷却水ポンプ	あり	㊴	37号冷却水ポンプ	あり	㊵	38号冷却水ポンプ	あり	㊶	39号冷却水ポンプ	あり	㊷	40号冷却水ポンプ	あり	㊸	41号冷却水ポンプ	あり	㊹	42号冷却水ポンプ	あり	㊺	43号冷却水ポンプ	あり	㊻	44号冷却水ポンプ	あり	㊼	45号冷却水ポンプ	あり	㊽	46号冷却水ポンプ	あり	㊾	47号冷却水ポンプ	あり	㊿	48号冷却水ポンプ	あり	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	設備の異化																																																																																																																																																										
①	自動停止弁	あり																																																																																																																																																										
②	自動停止弁	あり																																																																																																																																																										
③	1号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
④	2号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑤	3号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑥	4号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑦	5号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑧	6号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑨	7号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑩	8号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑪	9号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑫	10号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑬	11号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑭	12号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑮	13号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑯	14号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑰	15号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑱	16号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑲	17号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
⑳	18号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉑	19号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉒	20号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉓	21号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉔	22号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉕	23号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉖	24号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉗	25号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉘	26号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉙	27号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉚	28号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉛	29号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉜	30号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉝	31号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉞	32号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㉟	33号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊱	34号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊲	35号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊳	36号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊴	37号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊵	38号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊶	39号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊷	40号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊸	41号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊹	42号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊺	43号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊻	44号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊼	45号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊽	46号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊾	47号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										
㊿	48号冷却水ポンプ	あり																																																																																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

		経過時間（時間）								備考
		1	2	3	4	5	6	7	8	
手順の項目	要員（数）	約3.4時間 海水を用いた復水ピットへの補給開始								
海水を用いた復水ピットへの補給	緊急安全対策要員 5									

※ 現場移動時間には防保保護具着用時間を含む。

第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート

		経過時間（時間）								備考
		1	2	3	4	5	6	7	8	
泊3号炉との比較対象なし										

		経過時間（時間）								備考
		1	2	3	4	5	6	7	8	
手順の項目	要員（数）	約3.4時間 海水を用いた復水ピットへの補給開始								
代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	運転員 (現員) B									

※1：可搬型大型送水ポンプ車の移動時間及び可搬型大型送水ポンプ車の設置、接続時間は、可搬型大型送水ポンプ車の移動時間及び可搬型大型送水ポンプ車の設置、接続時間を見込んで算出している。
 ※2：可搬型大型送水ポンプ車の運転時間は、可搬型大型送水ポンプ車の運転時間を見込んで算出している。
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車の運転時間は、可搬型大型送水ポンプ車の運転時間を見込んで算出している。
 ※4：可搬型大型送水ポンプ車の運転時間は、可搬型大型送水ポンプ車の運転時間を見込んで算出している。
 ※5：可搬型大型送水ポンプ車の運転時間は、可搬型大型送水ポンプ車の運転時間を見込んで算出している。

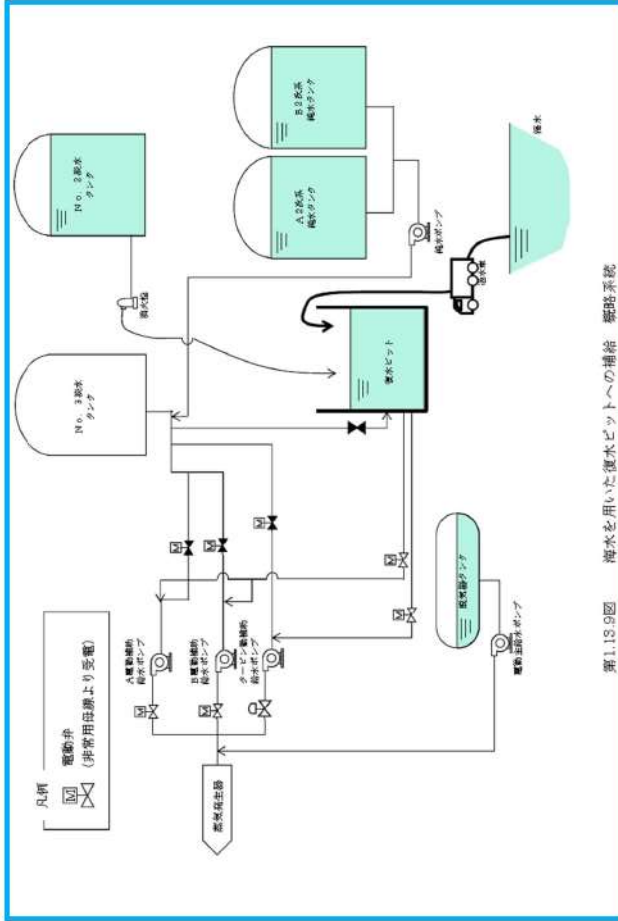
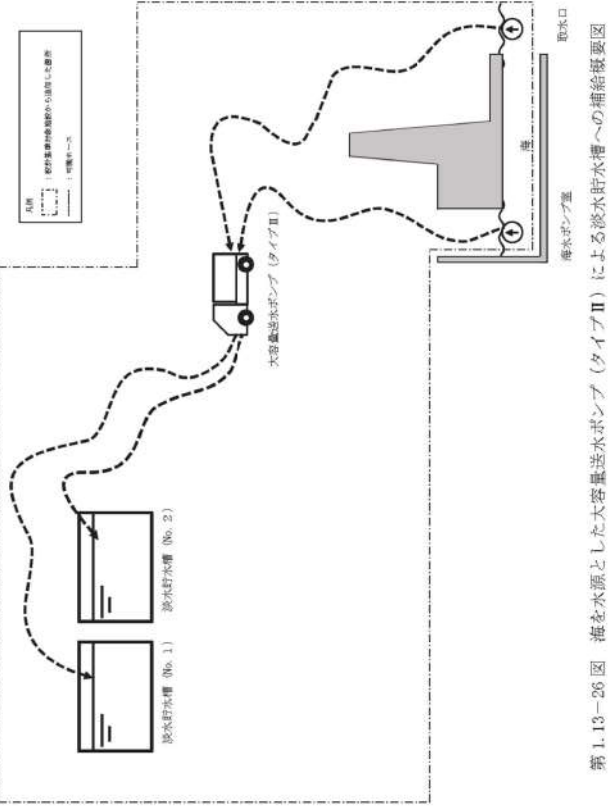
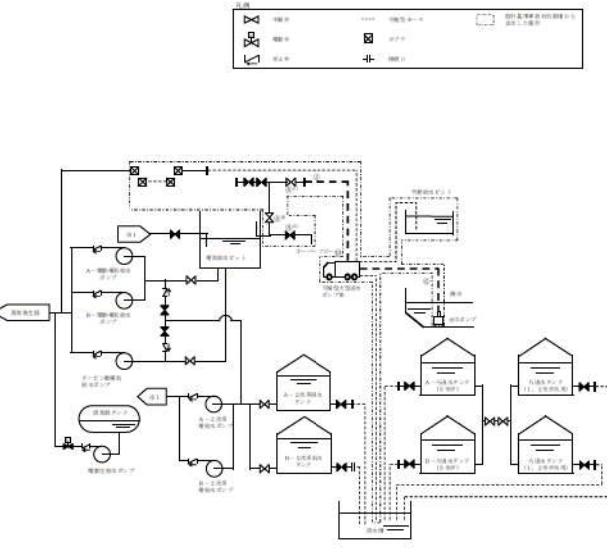
第1.13.21図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車

による補助給水ピットへの補給 タイムチャート

【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系統</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.26図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給概要図</p>	 <table border="1" data-bbox="1467 981 1937 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>③¹⁾</td> <td>可搬型可搬型ポンプ車送水用ライン止め弁（5A対策）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④¹⁾</td> <td>補助復水ビット用ライン送水用止め弁（5A対策）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤¹⁾</td> <td>補助復水ビット送水ライン止め弁（5A対策）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大用送水ポンプ車</td> <td>停止→稼働</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">①～⑤同一操作手順書内に複数の操作又は順序を規定する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第1.13.22図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	停止→稼働	②	可搬型ポンプ	停止→稼働	③ ¹⁾	可搬型可搬型ポンプ車送水用ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開	④ ¹⁾	補助復水ビット用ライン送水用止め弁（5A対策）	全閉→全開	⑤ ¹⁾	補助復水ビット送水ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開	⑥	可搬型大用送水ポンプ車	停止→稼働	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ポンプ	停止→稼働																						
②	可搬型ポンプ	停止→稼働																						
③ ¹⁾	可搬型可搬型ポンプ車送水用ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開																						
④ ¹⁾	補助復水ビット用ライン送水用止め弁（5A対策）	全閉→全開																						
⑤ ¹⁾	補助復水ビット送水ライン止め弁（5A対策）	全閉→全開																						
⑥	可搬型大用送水ポンプ車	停止→稼働																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>経過時間（時間）</p> <p>29.5分 海からの海水補給開始</p> <p>3.5分 保管場所への移動^{※1} 大容量海水ポンプ（タイプII）の起動、設置、防振壁の開放^{※4}</p> <p>4.5分 大容量海水ポンプ（タイプII）起動^{※5}</p> <p>5.5分 海水供給・送水（水張り・系圧監視）^{※6}</p> <p>6.5分 保管場所への移動^{※1} ホースの敷設、接続^{※5}</p> <p>7.5分 海水供給・送水（水張り・系圧監視）^{※6}</p> <p>8.5分 保管場所への移動^{※1} ホースの敷設、接続^{※5}</p> <p>9.5分 海水供給・送水（水張り・系圧監視）^{※6}</p> <p>10分</p> <p>備考</p> <p>②a, ②, ④</p> <p>③</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑤</p>		
<p>手順の項目</p> <p>重大事故等対応要員A~C</p> <p>重大事故等対応要員D~F</p> <p>重大事故等対応要員G~I</p>	<p>重大事故等対応要員A~C</p> <p>重大事故等対応要員D~F</p> <p>重大事故等対応要員G~I</p>		
<p>海を水取るした大容量海水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給</p> <p>（海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p>保管場所への移動^{※1}</p> <p>大容量海水ポンプ（タイプII）の起動、設置、防振壁の開放^{※4}</p> <p>大容量海水ポンプ（タイプII）起動^{※5}</p> <p>海水供給・送水（水張り・系圧監視）^{※6}</p> <p>保管場所への移動^{※1}</p> <p>ホースの敷設、接続^{※5}</p> <p>海水供給・送水（水張り・系圧監視）^{※6}</p> <p>保管場所への移動^{※1}</p> <p>ホースの敷設、接続^{※5}</p> <p>海水供給・送水（水張り・系圧監視）^{※6}</p>	<p>保管場所への移動^{※1}</p> <p>ホースの敷設、接続^{※5}</p> <p>保管場所への移動^{※1}</p> <p>ホースの敷設、接続^{※5}</p>	<p>相違理由</p>

第 1.13-28 図 海を水源とした大容量海水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給タイムチャート（2/2）
 （海水ポンプ室から海水を取水する場合）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.4図 No. 3 淡水タンクから復水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1478 1021 1948 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>A-2 二次補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>補助給水ピット配水補給ライン設置終了弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.24図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ¹⁾	A-2 二次補給水ポンプ	停止→起動	② ²⁾	補助給水ピット配水補給ライン設置終了弁	全閉→調整開	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化										
① ¹⁾	A-2 二次補給水ポンプ	停止→起動										
② ²⁾	補助給水ピット配水補給ライン設置終了弁	全閉→調整開										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">第1.13.5図 No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p> </div>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.25図 2次系純水タンクを水源とした2次系補助給水ポンプによる補助給水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="842 770 1252 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1377 399 1993 893" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1411 933 1915 1141" style="margin-top: 10px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">①</td> <td>A-1号過水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-1号過水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>A-2号次系純水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-2号次系純水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>A-1号過水タンクフューザ</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-1号過水タンクフューザ</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>ホース接続</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">③</td> <td>A-1号過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1号過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-2号次系純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-2号次系純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-1号過水タンクフューザ*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1号過水タンクフューザ*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">* 111号排水弁の存在を前提とする。</p> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-1号過水タンク排水弁	全閉確認	B-1号過水タンク排水弁	全閉確認	A-2号次系純水タンク排水弁	全閉確認	B-2号次系純水タンク排水弁	全閉確認	A-1号過水タンクフューザ	全閉確認	B-1号過水タンクフューザ	全閉確認	②	可搬型ホース	ホース接続	ホース接続	ホース接続	③	A-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開	B-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開	A-2号次系純水タンク排水弁*	全閉→全開	B-2号次系純水タンク排水弁*	全閉→全開	A-1号過水タンクフューザ*	全閉→全開	B-1号過水タンクフューザ*	全閉→全開	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																			
①	A-1号過水タンク排水弁	全閉確認																																			
	B-1号過水タンク排水弁	全閉確認																																			
	A-2号次系純水タンク排水弁	全閉確認																																			
	B-2号次系純水タンク排水弁	全閉確認																																			
	A-1号過水タンクフューザ	全閉確認																																			
	B-1号過水タンクフューザ	全閉確認																																			
②	可搬型ホース	ホース接続																																			
	ホース接続	ホース接続																																			
③	A-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開																																			
	B-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開																																			
	A-2号次系純水タンク排水弁*	全閉→全開																																			
	B-2号次系純水タンク排水弁*	全閉→全開																																			
	A-1号過水タンクフューザ*	全閉→全開																																			
	B-1号過水タンクフューザ*	全閉→全開																																			

第1.13.26図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給
 概要図

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

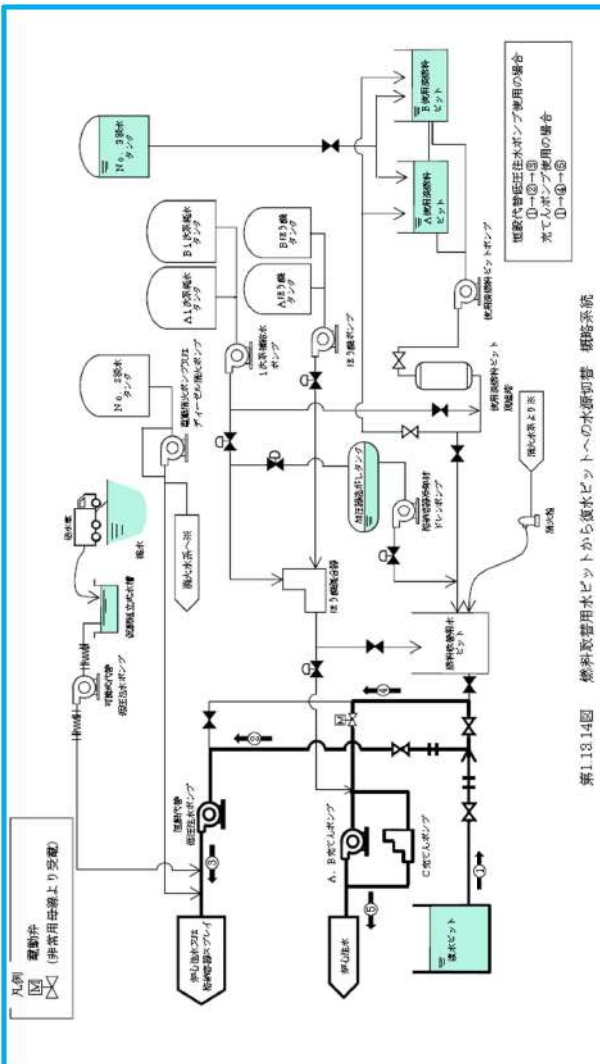
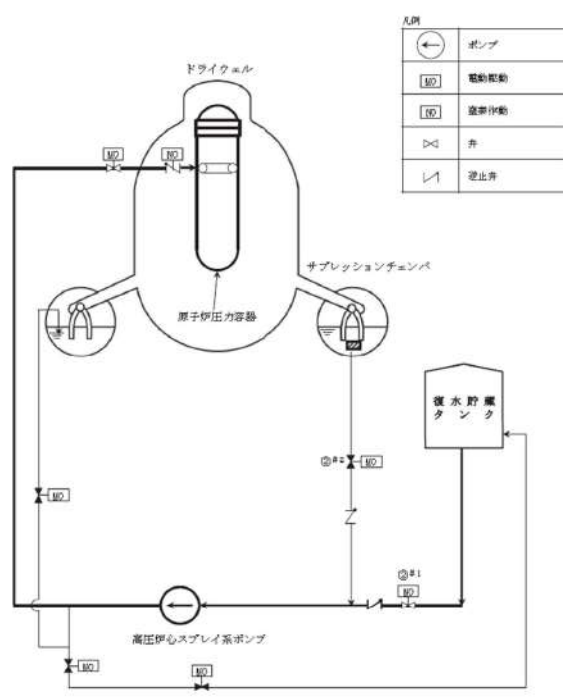
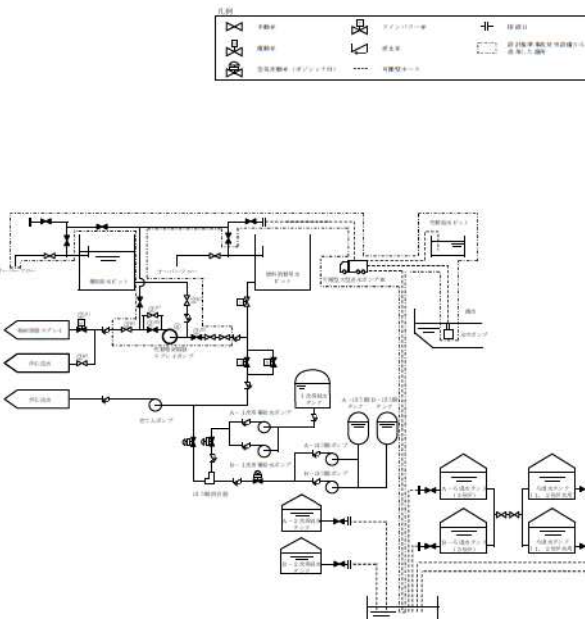
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> </div> <p style="font-size: small;"> ※1：ボース延長・回収車（送水車用）の保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉東側31mエリア(a)及び2号炉東側31mエリア(b)、可搬型ホースの保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉東側31mエリア(a)及び2号炉東側31mエリア(b) ※2：中央制御室から51m倉庫・車庫エリアまでの移動を想定した移動時間に見込んだ時間 ※3：ボース延長・回収車（送水車用）の移動時間として、51m倉庫・車庫エリアから原水槽付近までを想定した移動時間及び可搬型ホースの敷設手続を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※4：機器の操作時間に見込んだ時間 ※5：原水槽への送水を想定した作業時間に見込んだ時間 </p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p style="color: red;">【女川】 設備の相違（相違理由②）</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">タイムチャート</p>

第 1.13.27 図 2 次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13-29図 燃料取替用水ピットからの復水ピットへの水源切替 概略系統</p>	 <table border="1" data-bbox="918 1053 1164 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②#1</td> <td>HPCS ポンプ CST 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>HPCS ポンプ S/C 吸込弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.13-29図 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源の切替 概略図</p>	操作手順	弁名称	②#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁	②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁	 <table border="1" data-bbox="1433 1005 1926 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②#1</td> <td>炉心冷却スプレイポンプ出口OCV各種開閉弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>燃料取替スプレイポンプ補助放水ピット投入口止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#3</td> <td>燃料取替スプレイポンプ入口サステイム止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#4</td> <td>燃料取替スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#5</td> <td>炉心冷却停止弁起閉出口燃料取替スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#6</td> <td>燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#7</td> <td>燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#8</td> <td>燃料取替スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～1 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.28図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉容器への注水中の場合) 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②#1	炉心冷却スプレイポンプ出口OCV各種開閉弁	全閉→全開	②#2	燃料取替スプレイポンプ補助放水ピット投入口止め弁	全閉→全開	②#3	燃料取替スプレイポンプ入口サステイム止め弁	全閉→全開	②#4	燃料取替スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	②#5	炉心冷却停止弁起閉出口燃料取替スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	②#6	燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁	全閉→全開	②#7	燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁	全閉→全開	②#8	燃料取替スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																			
②#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁																																			
②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
②#1	炉心冷却スプレイポンプ出口OCV各種開閉弁	全閉→全開																																		
②#2	燃料取替スプレイポンプ補助放水ピット投入口止め弁	全閉→全開																																		
②#3	燃料取替スプレイポンプ入口サステイム止め弁	全閉→全開																																		
②#4	燃料取替スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開																																		
②#5	炉心冷却停止弁起閉出口燃料取替スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																		
②#6	燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁	全閉→全開																																		
②#7	燃料取替スプレイポンプ出口燃料取替スプレイ用取り弁	全閉→全開																																		
②#8	燃料取替スプレイポンプ	停止→起動																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから炉水ピットへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へのスプレイング中の場合) 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1029 1948 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイング補助給水ピット挿入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>代替格納容器スプレイングポンプ入口タスト止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納容器スプレイング接続ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納容器スプレイング出口格納容器スプレイング用取り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>日一格納容器スプレイング油封器出口の外側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替格納容器スプレイングポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	代替格納容器スプレイング補助給水ピット挿入口止め弁	全開→全閉	②	代替格納容器スプレイングポンプ入口タスト止め弁	全開→全閉	③	代替格納容器スプレイング接続ライン止め弁	全開→全閉	④	代替格納容器スプレイング出口格納容器スプレイング用取り弁	全開→調整開	⑤	日一格納容器スプレイング油封器出口の外側隔離弁	全開→全閉	⑥	代替格納容器スプレイングポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	代替格納容器スプレイング補助給水ピット挿入口止め弁	全開→全閉																						
②	代替格納容器スプレイングポンプ入口タスト止め弁	全開→全閉																						
③	代替格納容器スプレイング接続ライン止め弁	全開→全閉																						
④	代替格納容器スプレイング出口格納容器スプレイング用取り弁	全開→調整開																						
⑤	日一格納容器スプレイング油封器出口の外側隔離弁	全開→全閉																						
⑥	代替格納容器スプレイングポンプ	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

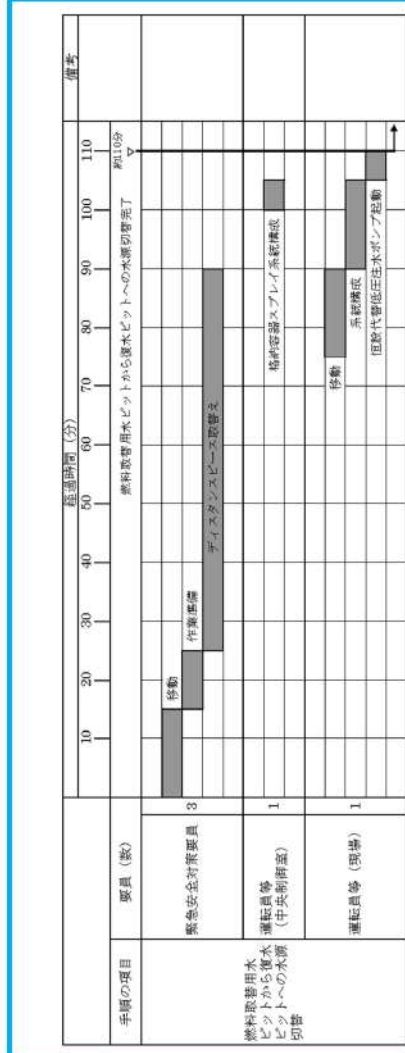
大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



第1.13.31図 燃料取扱普用水ピットから復水ピットへの水源切替 タイムチャート

※ 現場移動時間には防護器具着用時間を含む。

泊3号炉との比較対象なし

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)		備考
		開始	終了	
燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	運転員 (中央制御室) A	10	25	②
	運転員 (現場) B	10	25	②
	災害対策要員 A	10	25	④
		25	35	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分
		35	45	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分
		45	55	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分
		55	65	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分
		65	75	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分
		75	85	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分
		85	95	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分
		95	105	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分
		105	115	燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分

※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間

第1.13.31図 燃料取扱普用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合) タイムチャート

【大阪】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

【女川】
 記載内容の相違
 ・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.19図 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.32図 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 概要図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>③³⁾</td> <td>体積制御タンク出口側補給弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④⁴⁾</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤⁵⁾</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑤：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ¹⁾	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	② ²⁾	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	③ ³⁾	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開	④ ⁴⁾	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A	全開→全閉	⑤ ⁵⁾	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B	全開→全閉	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																			
① ¹⁾	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																			
② ²⁾	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																			
③ ³⁾	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開																			
④ ⁴⁾	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A	全開→全閉																			
⑤ ⁵⁾	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B	全開→全閉																			

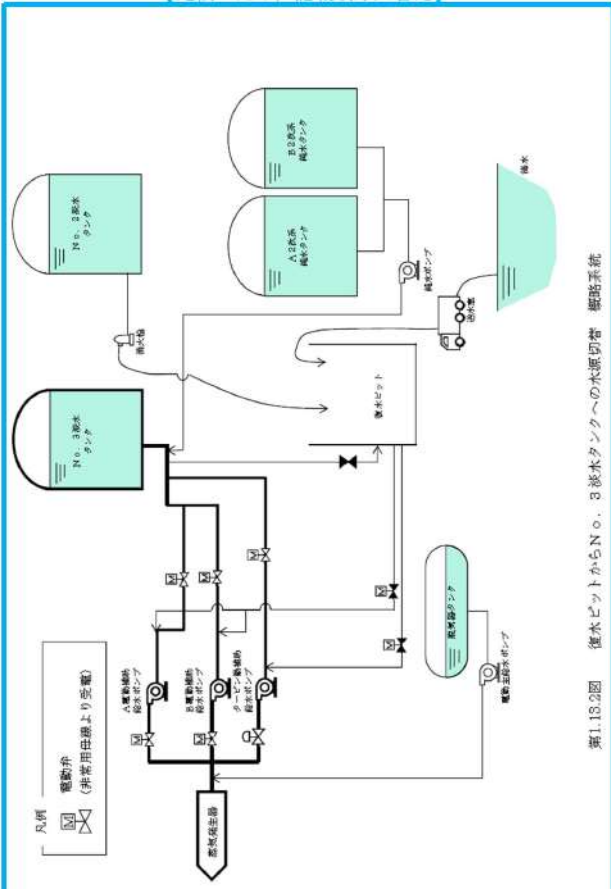
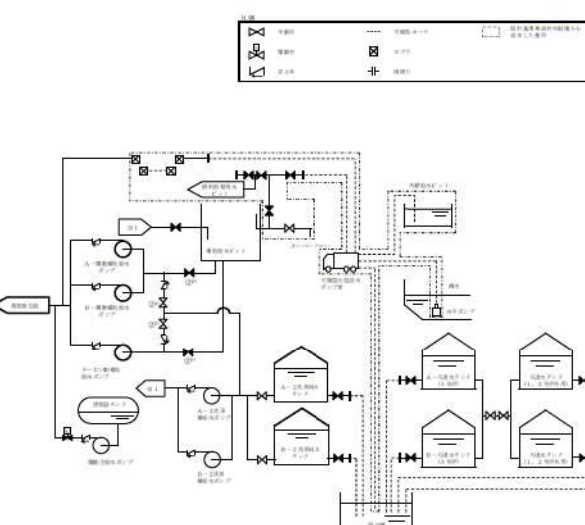
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由													
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="844 770 1254 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1541 331 1769 1262" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順の項目</th> <th style="width: 10%;">要員(敬)</th> <th style="width: 50%;">経過時間(分)</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> <td rowspan="2">運転員 (中央制御室) A</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td rowspan="2">燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 10分 ▽</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> <td></td> <td style="text-align: center;">50</td> <td>操作手順 ②</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p> </div> <div data-bbox="1809 464 1883 1219" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>第 1.13.33 図 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え タイムチャート</p> </div>	手順の項目	要員(敬)	経過時間(分)	備考	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	運転員 (中央制御室) A	10	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 10分 ▽	1	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え		50	操作手順 ②	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
手順の項目	要員(敬)	経過時間(分)	備考													
燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	運転員 (中央制御室) A	10	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 10分 ▽													
		1														
燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え		50	操作手順 ②													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p>  <p>第1.13.29図 復水ピットからNo.3減水タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第1.13.34図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1478 989 1948 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹</td> <td>タービン動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②²</td> <td>入、H-1電動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②³</td> <td>補助給水ピット電動補助給水ポンプ機出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②⁴</td> <td>補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ機出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹	タービン動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁	全閉→全開	② ²	入、H-1電動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁	全閉→全開	② ³	補助給水ピット電動補助給水ポンプ機出口弁	全閉→全開	② ⁴	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ機出口弁	全閉→全開	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																
② ¹	タービン動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁	全閉→全開																
② ²	入、H-1電動補助給水ポンプ2次蒸気減水タンクライン入口弁	全閉→全開																
② ³	補助給水ピット電動補助給水ポンプ機出口弁	全閉→全開																
② ⁴	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ機出口弁	全閉→全開																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 772 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="846 772 1256 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1512 327 1758 1252" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1758 662 1780 1252" style="font-size: small;">※1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p> <p data-bbox="1803 359 1904 1252" style="text-align: center;"> 第 1.13.35 図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補給水ポンプによる 蒸気発生器への注水時の水源の切替え タイムチャート </p>	<p data-bbox="2016 494 2161 574">【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p data-bbox="2016 606 2161 861">【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。</p> <p data-bbox="2016 893 2161 1037">【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1377 406 1892 1173" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1892 454 1937 1173" style="font-size: small;"> 第1.13.36図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用給水ポンプへの補給 ホース敷設ルート図(1/2) </div> <div data-bbox="1960 454 1982 837" style="font-size: small;"> □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2011 726 2161 805" style="color: red;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

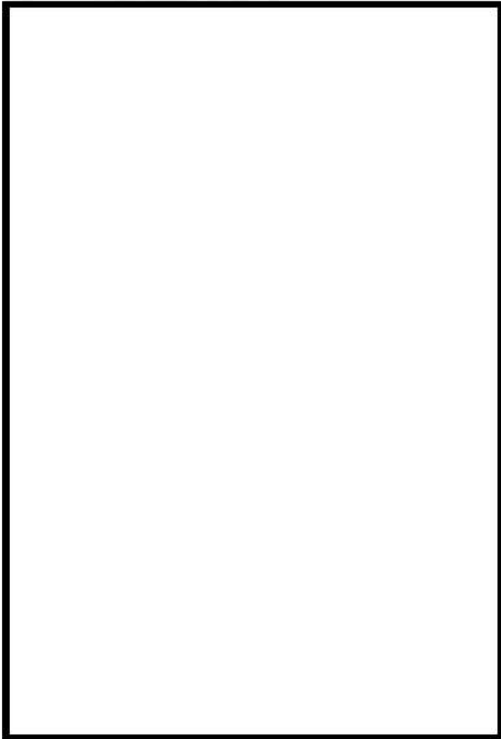
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1431 422 1856 1299" style="border: 2px solid black; width: 190px; height: 549px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1883 502 1939 1308" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.36図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給ホース敷設ルート図(2/2) </div> <div data-bbox="1966 462 1995 901" style="font-size: x-small; margin-top: 10px;"> ：幹囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2011 751 2163 831" style="font-size: small;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">第1.13.37図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給ホース敷設ルート図(1/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">：特開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大阪】</p> <p style="color: red;">設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.37図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用ホースからの補給ルートの図 (2/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大阪】</p> <p style="color: red;">設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1370 419 1877 1163" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1883 461 1935 1088" style="font-size: small;"> 第1.13.38図 海老水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3) </div> <div data-bbox="1957 464 1989 858" style="font-size: small;"> □：非開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2011 751 2161 831" style="color: red;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1420 368 1839 1225" style="border: 2px solid black; width: 187px; height: 537px; margin: 0 auto;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.38図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3) : 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p style="color: red; font-size: small;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </p>

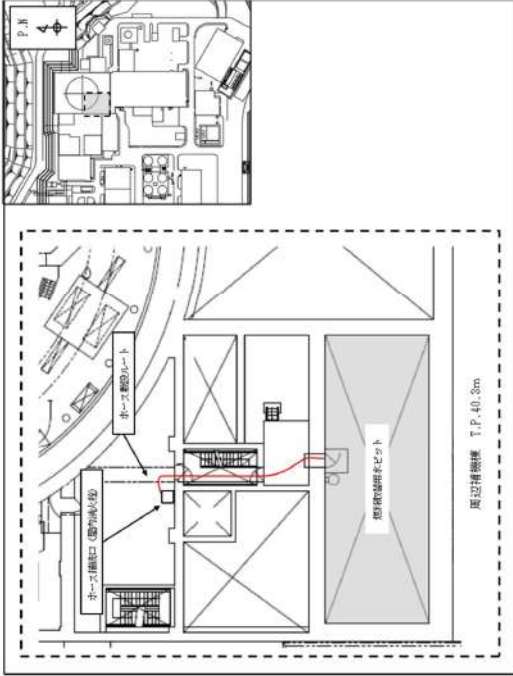
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1375 443 1859 1152" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1888 427 1989 1074" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.38図 梅を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給 ポース敷設ルート図 (3/3) □：詳細みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2013 751 2163 831" style="color: red; font-size: small;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 391 649 1257" style="border: 2px solid black; height: 543px; width: 242px;"></div> <p style="text-align: center;">特別みの範囲は機器に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p style="text-align: center;">第1.13.26図 No.2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 ホース駆設ルート</p>		 <p style="text-align: center;">第1.13.39図 No.2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 ホース駆設ルート図</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1375 422 1865 1169" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1877 438 1926 1053" style="font-size: small;">第1.13.40図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/2)</p> <p data-bbox="1960 422 1982 805" style="font-size: small;">□：参照みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2016 750 2161 829" style="color: red; font-size: small;">【大阪】 設備の相違(相違理由④)</p>

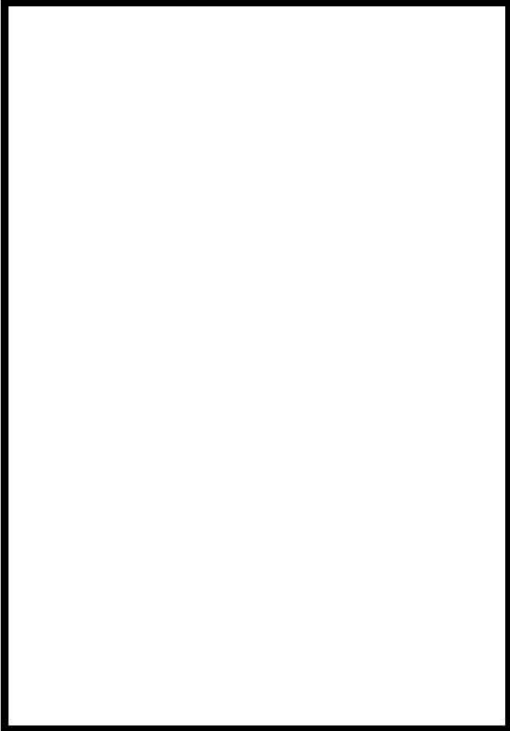
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 786 613 826" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1391 371 1821 1241" style="border: 2px solid black; height: 545px; width: 192px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1854 512 1906 1166" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 第1.13.40 図 尿水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/2) </div> <div data-bbox="1951 427 1980 890" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> ：詳細みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2013 767 2163 847" style="color: red;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由④) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; text-align: right; margin-top: 10px;"> 第1.13.41図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図(1/2) : 単回みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大阪】 設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

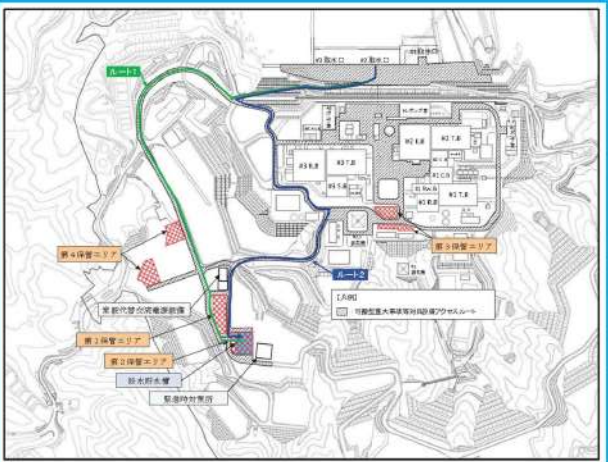
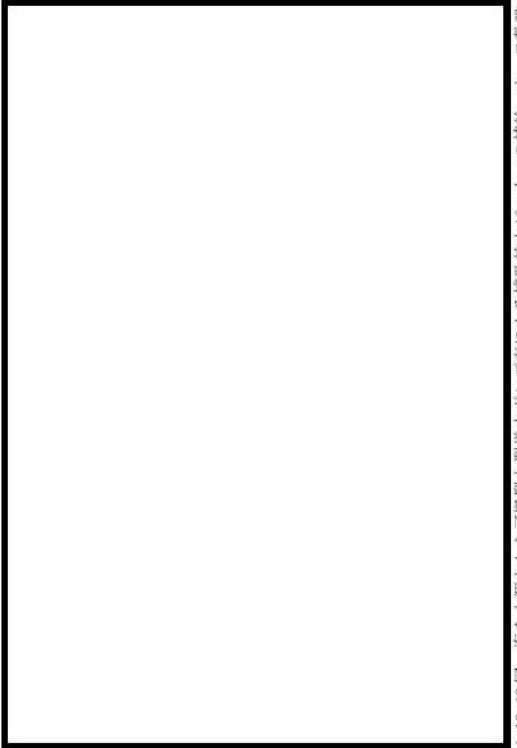
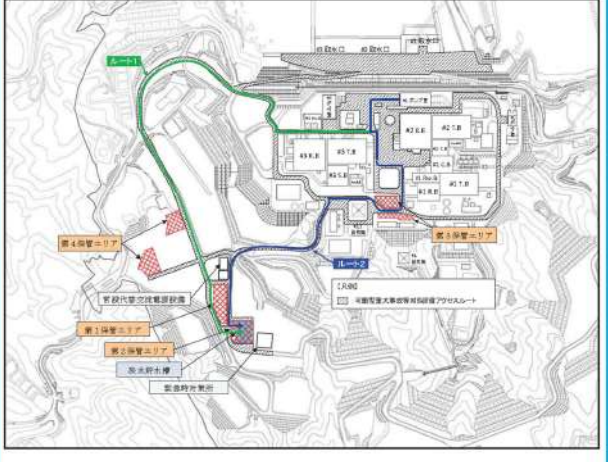
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1406 453 1861 1118" style="border: 2px solid black; width: 200px; height: 400px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1883 384 1935 1145" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 第1.13.41図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図（2/2） </div> <div data-bbox="1957 424 1989 874" style="font-size: x-small; margin-top: 10px;"> □：料簡みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2013 754 2163 831" style="color: red; font-size: small;"> 【大阪】 設備の相違(相違理由④) </div>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (1/2)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第1.13-33 図 海から淡水貯水槽ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (2/2)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (3/2)</p>	<p>第1.13-34 図 海から淡水貯水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (4/2)</p>			

第1.13-12図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3)

：※図面の内容は機密情報に属しますので公開できません。

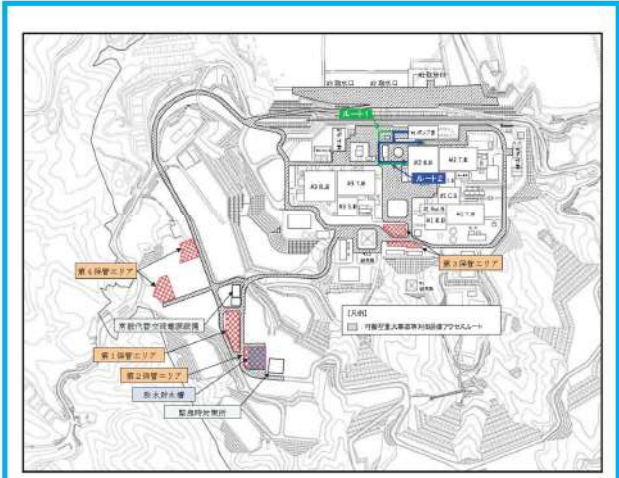
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 156 705 486" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="291 494 705 518" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="145 574 705 598" style="margin-top: 20px;"> 第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (5/22) </div> <div data-bbox="114 614 705 949" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="291 957 705 981" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="145 989 705 1013" style="margin-top: 20px;"> 第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (6/22) </div> <div data-bbox="114 1029 705 1364" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="291 1372 705 1396" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="145 1404 705 1428" style="margin-top: 20px;"> 第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (7/22) </div>	<div data-bbox="907 247 1198 279" style="text-align: center; color: blue;"> 【比較のため、記載順序入替え】 </div> <div data-bbox="750 295 1355 758" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="840 774 1265 805" style="text-align: center;"> 第 1.13-35 図 淡水貯水槽から各種注水ルート図 </div> <div data-bbox="750 837 1355 1300" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="784 1300 1310 1332" style="text-align: center;"> 第 1.13-36 図 海から各種注水ルート図 (1/2) (取水口取水) </div>	<div data-bbox="1456 375 1870 1220" style="border: 1px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>	<div data-bbox="1881 343 1937 1189" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 第 1.13.42 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3) </div> <div data-bbox="1960 335 1993 742" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> □ : 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (8/22)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (9/22)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第1.13-37図 海から各種注水ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (10/22)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>第1.13.42図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3)</p>	<p>□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (11/22)</p>			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 145 645 408" style="border: 2px solid black; height: 165px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="315 411 640 427" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <p data-bbox="181 472 613 488" style="font-size: small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (13/22)</p> <div data-bbox="174 496 645 759" style="border: 2px solid black; height: 165px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="315 767 640 783" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <p data-bbox="181 791 613 807" style="font-size: small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (13/22)</p> <div data-bbox="174 815 645 1078" style="border: 2px solid black; height: 165px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="315 1086 640 1102" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <p data-bbox="181 1110 613 1126" style="font-size: small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (14/22)</p> <div data-bbox="174 1134 645 1398" style="border: 2px solid black; height: 165px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="315 1406 640 1422" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <p data-bbox="181 1430 613 1445" style="font-size: small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p>		<div data-bbox="1451 743 1928 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto;"> 大飯 3 / 4号炉との比較対象は 泊 3号炉の第 1.13.42 図参照 </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等





大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 183 705 518" style="border: 2px solid black; height: 210px; width: 267px;"></div> <div data-bbox="286 523 698 545" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p data-bbox="129 598 676 622" style="margin-top: 20px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p> <div data-bbox="107 638 705 981" style="border: 2px solid black; height: 215px; width: 267px;"></div> <div data-bbox="286 986 698 1008" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p data-bbox="129 1013 676 1037" style="margin-top: 20px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (17/22)</p> <div data-bbox="107 1037 705 1388" style="border: 2px solid black; height: 220px; width: 267px;"></div> <div data-bbox="286 1393 698 1415" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <p data-bbox="129 1420 676 1444" style="margin-top: 20px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (18/22)</p>		<div data-bbox="1444 742 1926 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 100px auto; width: fit-content;"> 大飯3 / 4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.42図参照 </div>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (19/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (20/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>大飯3 / 4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.42図参照</p>	
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (21/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (22/22)</p>			

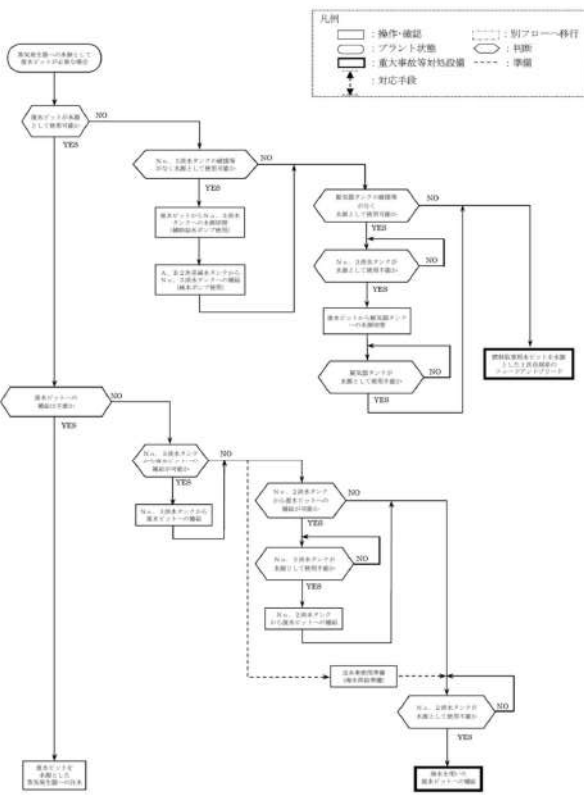

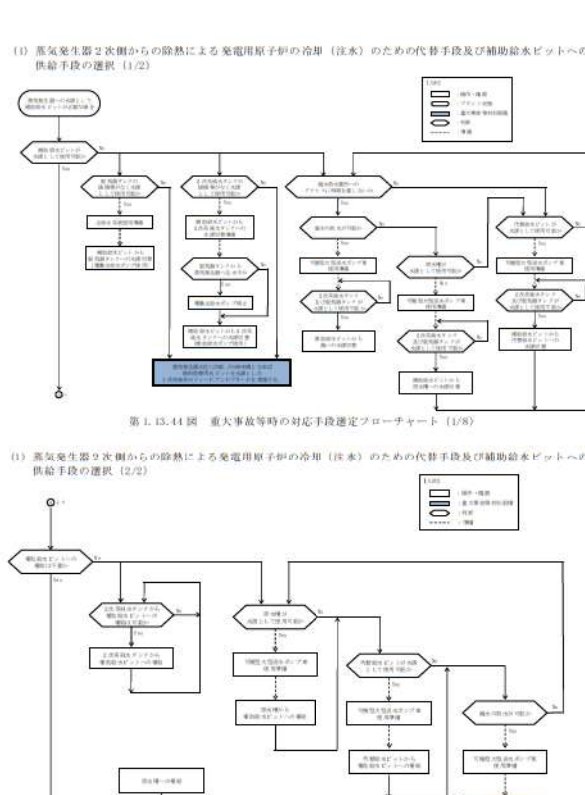
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1391 427 1899 1177" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1921 323 1989 1203" style="font-size: small;"> 第1.13.43図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給 ホース敷設ルート図 □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2011 751 2163 831" style="color: red;"> 【大阪】 設備の相違（相違理由⑤） </div>

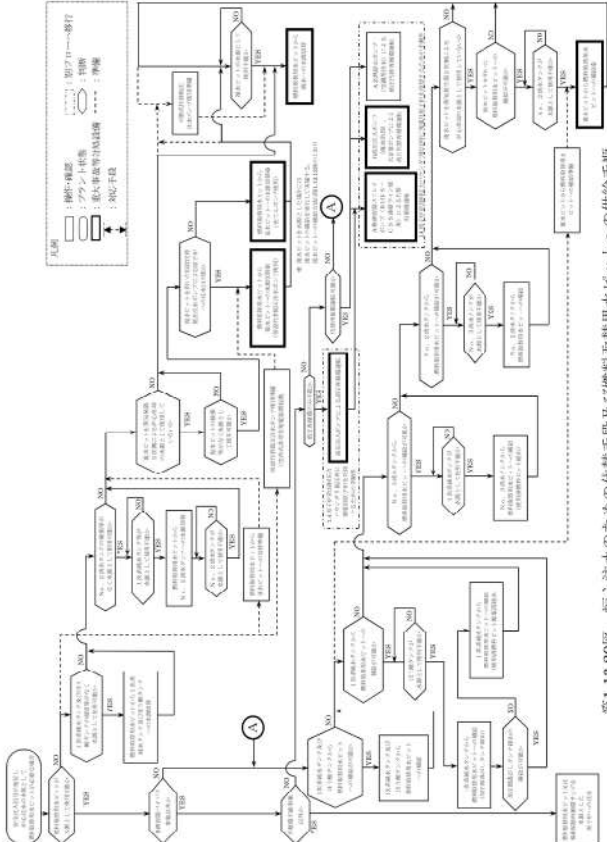
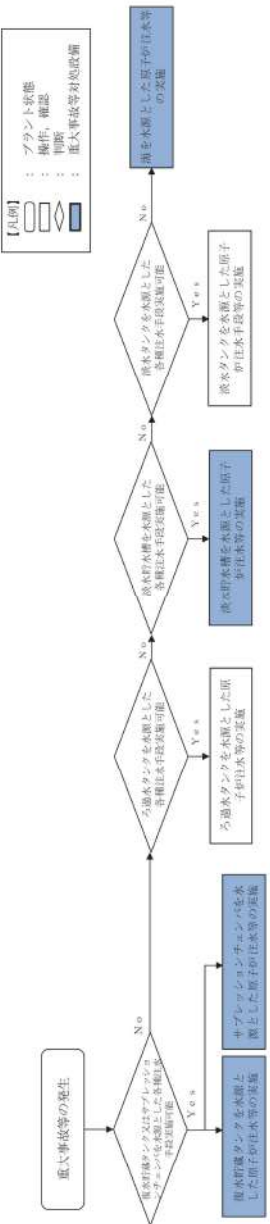
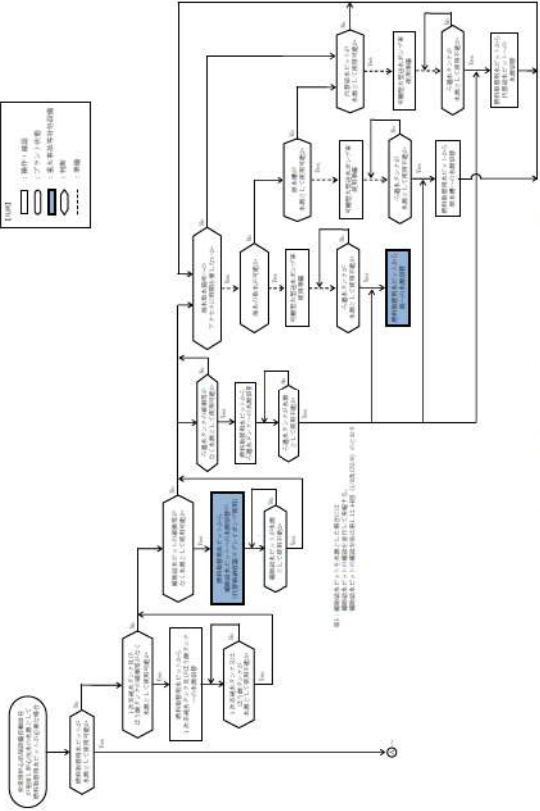
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p>	 <p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段決定フローチャート (1/8)</p>	 <p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段決定フローチャート (2/8)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>第1.13.29図 炉内注水のための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの供給手順</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1.13-31図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種注水用）</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>(2) 原子炉容器への注水のための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの供給手段の選択 (1/3)</p> <p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (3/8)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>

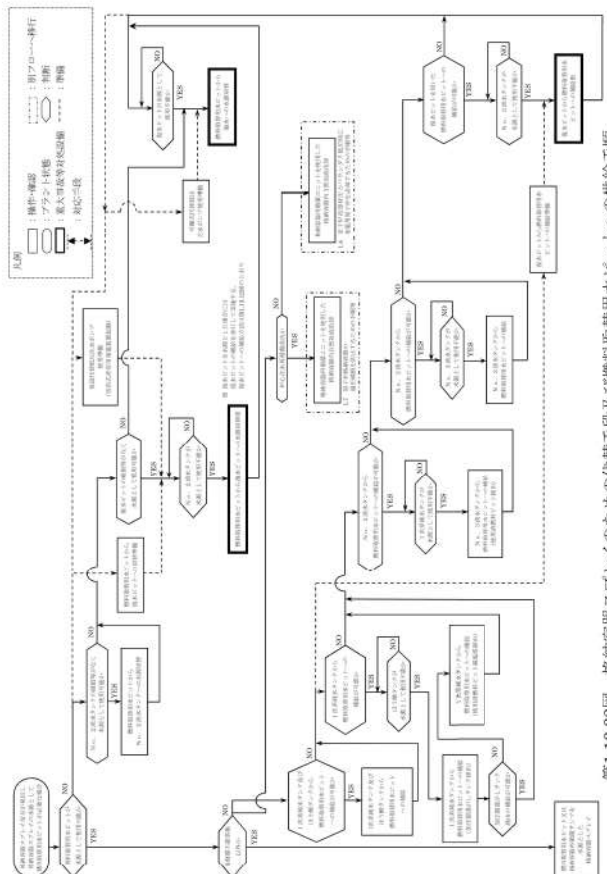
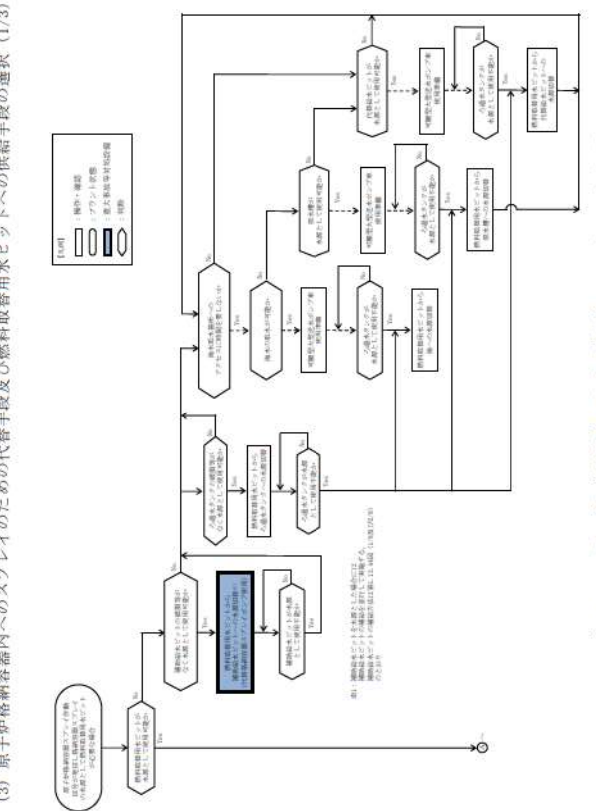
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 742 680 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大阪3/4号炉の第1.13.29図参照 </div>	<div data-bbox="745 316 1310 1276"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ : プラント状態 ○ : 操作、確認 ◇ : 判断 ■ : 重大事故等対応設備 </div>	<div data-bbox="1377 491 1937 1204"> <p>(2) 原子炉容器への注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの補給手段の選択 (2/3)</p> </div>	<div data-bbox="2011 726 2161 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p> </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>第1.13.32図 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給手順</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>(3) 原子炉格納容器内へのスプレイのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給手段の選択 (1/3)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (6/8)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 742 683 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照 </div>		<div data-bbox="1377 399 1982 1173"> <p>(3) 原子炉格納容器内へのスプレイのための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの供給手段の選択</p> </div>	<div data-bbox="2004 718 2161 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p> </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照 </div>		<div data-bbox="1377 375 1411 1204" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> (3) 原子炉格納容器内へのスプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給手段の選択 (3/3) </div> <div data-bbox="1422 462 1982 1173"> </div> <div data-bbox="1948 558 1982 1085" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (5/8) </div>	<div data-bbox="2016 750 2161 837" style="color: red;"> 【大飯】 設備の相違(相違理由⑥) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.1を掲載】

添付資料 1.13.1

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/6)

技術的能力審査基準 (1.13)	番号	設置許可基準規則 (56条)	技術基準規則 (71条)	番号
<p>【本文】 発電用原子炉設置者において、設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p>	①	<p>【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。</p>	<p>【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。</p>	⑧
<p>【解釈】 1 「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	—	<p>【解釈】 1 第56条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	<p>【解釈】 1 第71条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	—
a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できる手順等を整備すること。	②	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	⑨
b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	③	b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	⑩
c) 海を水源として利用できること。	④	c) 海を水源として利用できること。	c) 海を水源として利用できること。	⑪
d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑤	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑫
e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑥	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑬
f) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替え手順等を定めること。	⑦	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性又は多様性を確保すること。(PWR)	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性又は多様性を確保すること。(PWR)	—

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)

技術的能力審査基準 (1.13)	番号	設置許可基準規則 (五十六条)	技術基準規則 (七十一条)	番号
<p>【本文】 1 発電用原子炉設置者において、想定される重大事故等に対するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。想定される重大事故等に発生するために必要な設備を設けるものについては、当該設備が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p>	①	<p>【本文】 1 発電用原子炉施設には、次に掲げるものにより、想定される重大事故等に発生するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。</p>	<p>【本文】 1 発電用原子炉施設には、次に掲げるものにより、想定される重大事故等に発生するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。</p>	⑦
—	—	—	—	—
2 発電用原子炉設置者において、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に発生するために必要な設備を設けるために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	②	2 発電用原子炉施設には、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に発生するために必要な設備を設けるために必要な設備を設けなければならない。	2 発電用原子炉施設には、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に発生するために必要な設備を設けるために必要な設備を設けなければならない。	⑧
【解釈】 1 第1項に規定する「想定される重大事故等に発生するための水源」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に発生するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に発生するために必要な量の水をいう。	—	【解釈】 1 第1項に規定する「必要な量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に発生するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に発生するために必要な量の水をいう。	【解釈】 1 第1項に規定する「必要な量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に発生するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に発生するために必要な量の水をいう。	—
—	—	2 一次冷却回路大時に原子炉格納容器に水を切り替える必要がある発電用原子炉施設は、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に発生するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	2 一次冷却回路大時に原子炉格納容器に水を切り替える必要がある発電用原子炉施設は、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に発生するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	⑨
a) 第1項に規定する「想定される重大事故等に発生するための水源」として必要な量の水を貯留するための設備、及び第2項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等に発生するために必要な量の水を供給できる手順等を整備すること。この場合において、以下の事項を考慮すること。	③	—	—	—
1) 第2項に規定する「海その他の水源」として、海及び複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の候補であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）を利用できるものとする。	④	3 第2項に規定する「海その他の水源」とは、海及び複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の候補であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）であって、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に発生するために必要な量の水を取水できるものとする。	3 第2項に規定する「海その他の水源」とは、海及び複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の候補であって、第1項の設備に貯留されたもの以外のものをいう。）であって、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に発生するために必要な量の水を取水できるものとする。	⑩
1) 各水源からの移送ルートを提供し、移送ホース、ポンプ等の設備を用いた水の供給ができるものとする。	⑤	4 第2項の規定により設けられる設備は、同項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に発生するために必要な設備に供給するための移送ホース、ポンプ等の設備であって、当該各水源からの移送ルートが確保されたものでなければならない。	4 第2項の規定により設けられる設備は、同項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に発生するために必要な設備に供給するための移送ホース、ポンプ等の設備であって、当該各水源からの移送ルートが確保されたものでなければならない。	⑪
2) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替えができるようにする。	⑥	—	—	—

【女川】
 ・PWR と BWR に対する要求事項相違による附番の相違
 ・審査基準の改正による記載内容の相違

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）

・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉								泊発電所3号炉								相違理由			
【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】								審査基準、基準規則と対応設備との対応表(2/8)											
審査基準、基準規則と対応設備との対応表(2/6) ■ : 重大事故等対応設備 □ : 重大事故等対応設備(設計基準拡張)								■ : 重大事故等対応設備 □ : 重大事故等対応設備(設計基準拡張)											
対応手段	機器名称	既設	新設	解釈	対応手段	機器名称	既設	新設	解釈	対応手段	機器名称	既設	新設	解釈	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考		
自主対策	燃水貯留タンク	既設		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	ろ過水タンク					ろ過水タンク							自主対策とする理由は本文参照		
	高圧代替注水系(高圧代替注水ポンプ)	既設			ろ過水系(ろ過水ポンプ)	既設				ろ過水タンク							自主対策とする理由は本文参照		
	原子炉隔離時冷却系(原子炉隔離時冷却ポンプ)	既設								①③⑤⑥⑦	1次系と結合したタンクを						自主対策とする理由は本文参照		
	高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレー系ポンプ)	既設								②	2次系と結合したタンクを						自主対策とする理由は本文参照		
	残留熱除去系(残留熱除去ポンプ)	既設																	
	低圧代替注水系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	
	低圧代替注水系(既設)(送液駆動低圧注水ポンプ)	既設																	
	原子炉隔離時冷却系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	
	原子炉隔離時冷却系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	
	原子炉隔離時冷却系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	
自主対策	サブプレッションタンク	既設		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺															
	高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレー系ポンプ)	既設																	
	残留熱除去系(残留熱除去ポンプ)	既設																	
	低圧炉心スプレー系(低圧炉心スプレー系ポンプ)	既設																	
	代替熱除去系(代替熱除去ポンプ)	既設																	
	原子炉隔離時冷却系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	
	原子炉隔離時冷却系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	
	原子炉隔離時冷却系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	
	原子炉隔離時冷却系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	
	原子炉隔離時冷却系(既設)(復水移送ポンプ)	既設																	

※1：本文【解釈】1 b)項を満足するための代替注水源(措置)

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違(女川審査実績の反映)

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	所要時間 対応人数 備考
女川の水質と本装置とした対応	淡水貯水槽 (No.1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	淡水タンク	既設	自主対策設備とする理由は本文参照	自主対策設備とする理由は本文参照
	淡水貯水槽 (No.2) ②	新設		淡水タンク	既設		
	大容量送水ポンプ (タイプ1)	新設		大容量送水ポンプ (タイプ1)	可搬		
	ホース延長回収車	新設		ホース延長回収車	可搬		
	ホース・注水用ヘッド・接続口	新設		ホース・注水用ヘッド・接続口	可搬		
	—	—		ろ過ホース 配管・ホ	既設		
	—	—		給排水機器設置配管・ホ	既設		
	燃料補給設備	既設		燃料補給設備	既設		
	燃料補給設備	既設		燃料補給設備	既設		
	低圧代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	新設		低圧代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設		
	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	新設	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設			
	大容量送水ポンプ (タイプ1)	新設	大容量送水ポンプ (タイプ1)	可搬			
	ホース延長回収車	新設	ホース延長回収車	可搬			
	ホース・注水用ヘッド・接続口	新設	ホース・注水用ヘッド・接続口	可搬			
	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	新設	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設			
	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	新設	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設			
	燃料プール代替注水系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	新設	燃料プール代替注水系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設			
	燃料プール代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	新設	燃料プール代替注水系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設			
	燃料プールのスプレイ系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	新設	燃料プールのスプレイ系 (既設配管) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	既設			
	燃料プールのスプレイ系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	新設	燃料プールのスプレイ系 (可搬型) (大容量送水ポンプ (タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	既設			
—	—	大型化学処理設備	可搬				
—	—	化学消泡設備	可搬				
—	—	ホース・接続口	既設				
—	—	燃料プール冷却降化配管・ホ	既設				
—	—	スプレインゾル	既設				
—	—	常用消燃料プール	既設				

※1：本文【解釈】1 b)項を満足するための代替注水系（措置）

泊発電所3号炉

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	所要時間 対応人数 備考
女川の水質と本装置とした対応	可搬型大容量送水ポンプ車	新設	② ③ ④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑪	代替給水ピットを水源とした対応	代替給水ピット	既設	自主対策とする理由は本文参照
	可搬型ホース・接続口	新設		可搬型大容量送水ポンプ車	可搬		
	ホース延長・回収車 (送水専用)	新設		可搬型ホース・接続口	可搬		
	可搬型ホース	新設		ホース延長・回収車 (送水専用)	可搬		
	可搬型スプレインゾル	新設		可搬型ホース	可搬		
	原子炉格納容器冷却水ポンプ	既設		燃料補給設備	既設		
	原子炉格納容器冷却水ポンプ	既設		取水槽	既設		
	可搬型大容量送水ポンプ車	新設		可搬型大容量送水ポンプ車	可搬		
	取水槽	新設		可搬型ホース・接続口	可搬		
	既設合設機	既設		ホース延長・回収車 (送水専用)	可搬		
	燃料補給設備	既設		可搬型ホース	可搬		
	—	—		可搬型スプレインゾル	可搬		
	—	—		燃料補給設備	既設		
	—	—		—	既設		
	—	—		—	可搬		

【女川】
設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）

・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉										泊発電所3号炉										相違理由
【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】										審査基準、基準規則と対処設備との対応表（4/6）										相違理由
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										
対応手段	機器名称	既設新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 可稼	所要時間	対応人数	備考	対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 可稼	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	
女川	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大容量送水ポンプ（タイプ2）	既設																		
	ホース巻戻車	既設																		
	貯留槽	既設	①②③④																	
	取水口	既設	⑤⑥⑦																	
	取水ポンプ	既設																		
	海水ポンプ車	既設																		
	ホース・圧水用ヘッド・接続口	既設																		
	燃料補給設備	既設																		
	燃料代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設	-																	
	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設	-																	
	原子炉格納容器下部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設	-																	
	原子炉格納容器上部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設	-																	
	燃料プール代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設	-																	
	燃料プール代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設	-																	
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口、スプレイズル等）	既設	-																	
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口、スプレイズル等）	既設	-																	
	原子炉格納容器注水系（大容量送水ポンプ（タイプ1）、熱交換器ユニット、ホース巻戻車、ホース・圧水用ヘッド・接続口等）	既設	-																	
	大容量送水ポンプ（タイプ2）	既設																		
	ホース巻戻車	既設																		
取水口	既設																			
ホース	既設																			
送水用車両台設置	既設																			
燃料補給設備	既設																			
※1：本文【解釈】1 h)項を満足するための代替注水源（措置）																				
										審査基準、基準規則と対処設備との対応表（4/8）										相違理由
										■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										
対応手段	機器名称	既設新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 可稼	所要時間	対応人数	備考	対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 可稼	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	
水は揚ぐ機と機した対応	ほう機タンク	既設		-	-	-	-	-	-	-	-	-	①③⑤⑦	-	-	-	-	-	-	-
	ほう機ポンプ	既設																		
格納容器再循環ポンプを水廻とした対応	格納容器再循環ポンプ	既設		-	-	-	-	-	-	-	-	-	①③⑤⑦⑧	-	-	-	-	-	-	-
	B-格納容器スプレイポンプ	既設																		
	A-高圧注入ポンプ	既設																		
	可搬型大型送水ポンプ車	新設																		
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設																		
	可搬型ホース・接続口	既設																		
	非常用取水設備	既設																		
燃料補給設備	既設																			
余熱除去ポンプ	既設																			
高圧注入ポンプ	既設																			
格納容器スプレイポンプ	既設																			
										【女川】 設備の相違による対応手段の相違										相違理由
										【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準，基準規則と対処設備との対応表（5/6）

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策							
	機器名称	設計新設	解釈 対応番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	所要時間	対応人数	備考			
はう給水注入系貯蔵タンク	はう給水注入系貯蔵タンク	既設	①②③④⑤	-	ろ過水タンク	常設	300分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照			
	はう給水注入系（はう給水注入系ポンプ）	既設			純水タンク	常設						
はう給水注入系貯蔵タンク	ろ過水タンク	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	-	ろ過水タンク	常設				300分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照
	ろ過水タンク	既設			純水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
はう給水注入系貯蔵タンク	ろ過水タンク	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	-	ろ過水タンク	常設	300分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照			
	ろ過水タンク	既設			純水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						
	ろ過水タンク	既設			ろ過水タンク	常設						

※1：本文【解釈】1 b)項を満足するための代替水源（措置）

泊発電所3号炉

審査基準，基準規則と対処設備との対応表（5/8）

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				
	機器名称	設計新設	解釈 対応番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数に 使用可能か	備考
燃料取替用水ピットへの補給	燃料取替用水ピット	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	-	原水槽	常設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照
	可搬型大型送水ポンプ車	新設			ろ過水タンク	常設			
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設			2次系純水タンク	常設			
	可搬型ホース・接続口	新設			燃料取替用水ピット	常設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			可搬型大型送水ポンプ車	可設			
	非常用取水設備	既設 新設			可搬型ホース・接続口	可設			
	燃料補給設備	既設 新設			ホース延長・回収車（送水車用）	可設			
					非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設			
					給水処理設備 配管・弁	常設			
					燃料補給設備	常設 可設			
燃料取替用水ピットへの補給	燃料取替用水ピット	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	-	代替給水ピット	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照
	可搬型大型送水ポンプ車	新設			燃料取替用水ピット	常設			
	可搬型大型送水ポンプ車	新設			可搬型大型送水ポンプ車	可設			
	可搬型ホース・接続口	新設			可搬型ホース・接続口	可設			
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設			ホース延長・回収車（送水車用）	可設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設			
	燃料補給設備	常設 可設			燃料補給設備	常設 可設			
燃料取替用水ピットへの補給	燃料取替用水ピット	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	-	ろ過水タンク	常設	30分	1名	自主対策とする理由は本文参照
	燃料取替用水ピット	既設			燃料取替用水ピット	常設			
	電動機駆動消火ポンプ	常設			電動機駆動消火ポンプ	常設			
	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設			ディーゼル駆動消火ポンプ	常設			
	消防ホース	可設			消防ホース	可設			
	火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設			火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設			
	給水処理設備 配管・弁	常設			給水処理設備 配管・弁	常設			
	常用電源設備	常設			常用電源設備	常設			

【女川】
設備の相違による
対応手段の相違

【大飯】
記載方針の相違
（女川審査実績の
反映）

・大飯の比較対象
となる添付資料
1.13.2は後段に
掲載している。
・泊は女川の審査
実績を踏まえた
構成としている
ため、本資料の
比較対象は女川
としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>【比較のため女川の添付資料 1.13.2 を掲載】</p> <p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>施設種別</th> <th>施設用途</th> <th>所要時間</th> <th>対応人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">女川2号炉の機器</td> <td>大飯発電所ポンプ（ダイヤル）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース超長距離車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>洗水貯水罐 (No. 1) ①</td> <td>新設</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>洗水貯水罐 (No. 2) ①</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川2号炉の機器</td> <td>大飯発電所ポンプ（ダイヤル）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース超長距離車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>洗水貯水罐 (No. 1) ①</td> <td>新設</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>洗水貯水罐 (No. 2) ①</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女川2号炉の機器</td> <td>洗水貯水タンク</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オペレーションセンター</td> <td>新設</td> <td>①②③④</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高度中心マテリアル（高度中心マテリアルポンプ）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川2号炉の機器</td> <td>大飯発電所ポンプ（ダイヤル）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース超長距離車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>洗水貯水罐 (No. 1) ①</td> <td>新設</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>洗水貯水罐 (No. 2) ①</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女川2号炉の機器</td> <td>洗水貯水タンク</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オペレーションセンター</td> <td>新設</td> <td>①②③④</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高度中心マテリアル（高度中心マテリアルポンプ）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女川2号炉の機器</td> <td>大飯発電所ポンプ（ダイヤル）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース超長距離車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>洗水貯水罐 (No. 1) ①</td> <td>新設</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：本文【解釈】1) ①項を満足するための代替洗水罐（措置）</p>	重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策					対応手段	機器名称	施設種別	施設用途	所要時間	対応人数	備考	女川2号炉の機器	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設					コース超長距離車	新設					コース	新設					洗水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺				洗水貯水罐 (No. 2) ①	新設					貯留槽	新設					取水口	新設					燃料補給設備	新設					女川2号炉の機器	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設					コース超長距離車	新設					コース	新設					洗水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺				洗水貯水罐 (No. 2) ①	新設					貯留槽	新設					取水口	新設					燃料補給設備	新設					女川2号炉の機器	洗水貯水タンク	新設					オペレーションセンター	新設	①②③④				高度中心マテリアル（高度中心マテリアルポンプ）	新設					女川2号炉の機器	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設					コース超長距離車	新設					コース	新設					洗水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺				洗水貯水罐 (No. 2) ①	新設					貯留槽	新設					取水口	新設					燃料補給設備	新設					女川2号炉の機器	洗水貯水タンク	新設					オペレーションセンター	新設	①②③④				高度中心マテリアル（高度中心マテリアルポンプ）	新設					女川2号炉の機器	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設					コース超長距離車	新設					コース	新設					洗水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺				<p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/8)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重大事故等対処設備を用いた手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>施設種別</th> <th>施設用途</th> <th>所要時間</th> <th>対応人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">女川2号炉の機器</td> <td>1次系取水タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用ビット</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器誘がしタンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用ビット</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電動設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電動設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電池充電設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">女川2号炉の機器</td> <td>燃料取替用ビット</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次系取水タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用ビット</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用ビットポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電動設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">女川2号炉の機器</td> <td>1次系取水タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用ビット</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電動設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電動設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を用いた手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策					対応手段	機器名称	施設種別	施設用途	所要時間	対応人数	備考	女川2号炉の機器	1次系取水タンク	常設					燃料取替用ビット	常設					1次系補給水ポンプ	常設					1次系補給水ポンプ	常設					加圧器誘がしタンク	常設					燃料取替用ビット	常設					1次系補給水ポンプ	常設					1次系補給水ポンプ	常設					化学体積制御設備 配管・弁	常設					給水処理設備 配管・弁	常設					液体廃棄物処理設備 配管・弁	常設					燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設					常用電動設備	常設					非常用交流電動設備	常設					所内常設蓄電池充電設備	常設					女川2号炉の機器	燃料取替用ビット	常設					2次系取水タンク	常設					2次系補給水ポンプ	常設					燃料取替用ビット	常設					燃料取替用ビットポンプ	常設					給水処理設備 配管・弁	常設					燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設					常用電動設備	常設					女川2号炉の機器	1次系取水タンク	常設					ほう酸タンク	常設					燃料取替用ビット	常設					1次系補給水ポンプ	常設					ほう酸ポンプ	常設					化学体積制御設備 配管・弁	常設					非常用炉心冷却設備 配管	常設					給水処理設備 配管・弁	常設					常用電動設備	常設					非常用交流電動設備	常設					<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯の比較対象となる添付資料 1.13.2 は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
対応手段	機器名称	施設種別	施設用途	所要時間	対応人数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
女川2号炉の機器	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	コース超長距離車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	コース	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	洗水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	洗水貯水罐 (No. 2) ①	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	貯留槽	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	取水口	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料補給設備	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	女川2号炉の機器	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		コース超長距離車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
コース		新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
洗水貯水罐 (No. 1) ①		新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
洗水貯水罐 (No. 2) ①		新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
貯留槽		新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
取水口		新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
燃料補給設備		新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
女川2号炉の機器		洗水貯水タンク	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		オペレーションセンター	新設	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	高度中心マテリアル（高度中心マテリアルポンプ）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
女川2号炉の機器	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	コース超長距離車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	コース	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	洗水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	洗水貯水罐 (No. 2) ①	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	貯留槽	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	取水口	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料補給設備	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	女川2号炉の機器	洗水貯水タンク	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		オペレーションセンター	新設	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
高度中心マテリアル（高度中心マテリアルポンプ）		新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
女川2号炉の機器	大飯発電所ポンプ（ダイヤル）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	コース超長距離車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	コース	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	洗水貯水罐 (No. 1) ①	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
重大事故等対処設備を用いた手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
対応手段	機器名称	施設種別	施設用途	所要時間	対応人数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
女川2号炉の機器	1次系取水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料取替用ビット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	1次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	1次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	加圧器誘がしタンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料取替用ビット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	1次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	1次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	化学体積制御設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	液体廃棄物処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	常用電動設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	非常用交流電動設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	所内常設蓄電池充電設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
女川2号炉の機器	燃料取替用ビット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	2次系取水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	2次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料取替用ビット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料取替用ビットポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	常用電動設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	女川2号炉の機器	1次系取水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		ほう酸タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		燃料取替用ビット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		1次系補給水ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		ほう酸ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		化学体積制御設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		非常用炉心冷却設備 配管	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
給水処理設備 配管・弁		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
常用電動設備		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
非常用交流電動設備		常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

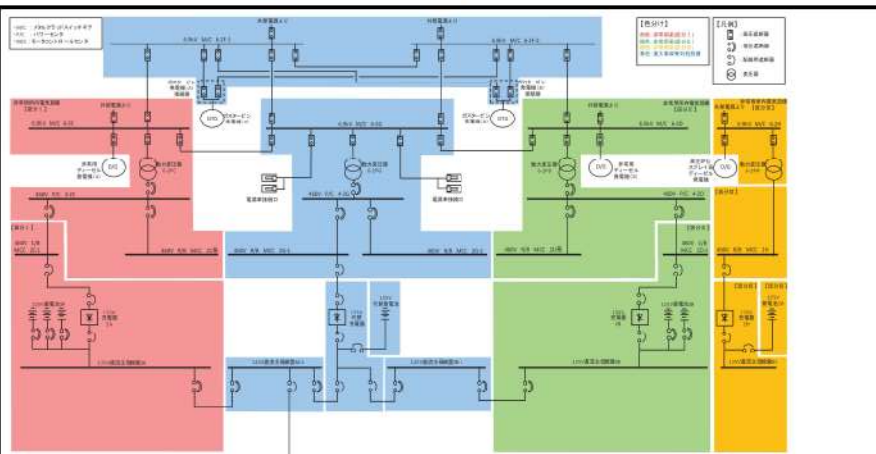
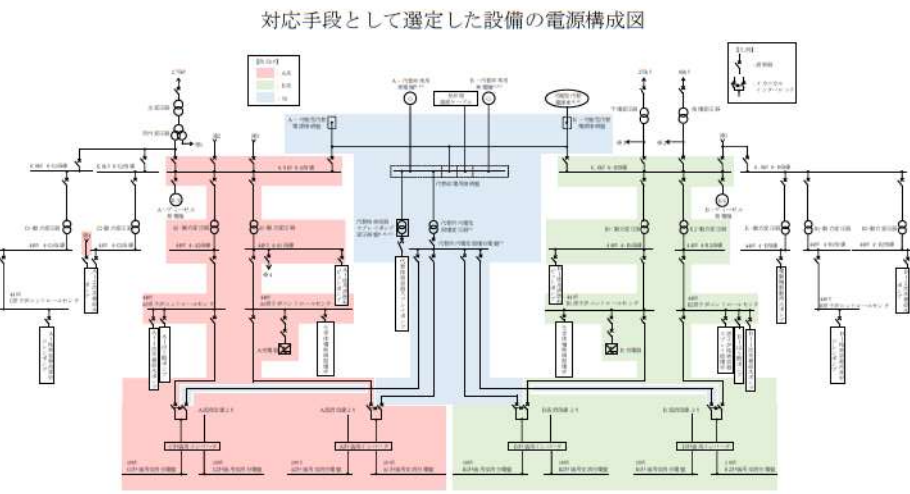
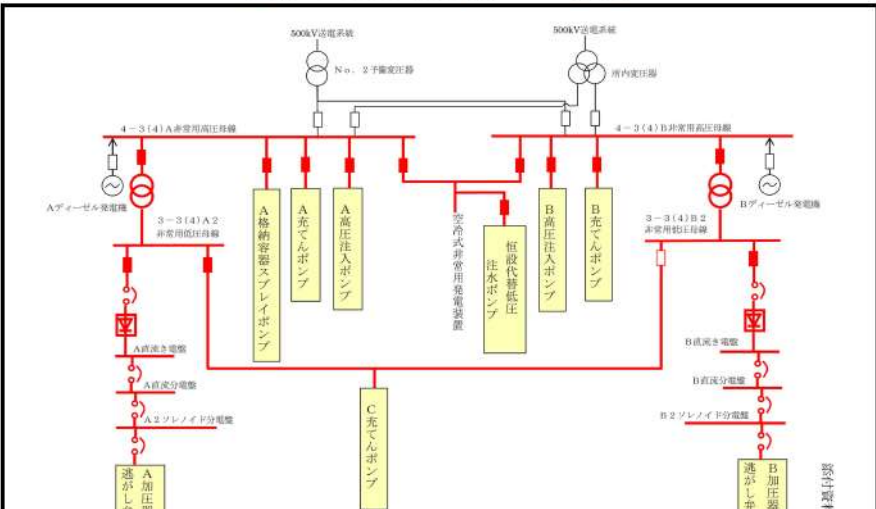
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																												
審査基準、基準規則と対応設備との対応表 (8/8) ■ : 重大事故等対応設備 ■ : 重大事故等対応設備（設計基準拡張）																																																																																																																																														
燃料取替用水ピット 補助給水ピット 代替格納容器スプレイポンプ 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用冷却設備 配管・弁 非常用冷却設備（低圧注入系）配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 原子炉容器 1次冷却設備 非常用交流電機設備 常設代替交流電機設備 可搬型代替交流電機設備 代替所内電気設備 燃料取替用水ピット 補助給水ピット 代替格納容器スプレイポンプ 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用冷却設備 配管・弁 非常用冷却設備（低圧注入系）配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 スプレイノズル スプレイリニア 原子炉格納容器 非常用交流電機設備 常設代替交流電機設備 可搬型代替交流電機設備 代替所内電気設備 -	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="7">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設/新設</th> <th>解釈/対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設/可能</th> <th>必要時期限内に使用可能か</th> <th>対応可能な人数で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">① ③ ⑤ ⑥ ⑦</td> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>既設</td> <td rowspan="14">① ③ ⑤ ⑥ ⑦</td> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>常設</td> <td rowspan="14">10分</td> <td rowspan="14">1名</td> <td rowspan="14">自主対策とする理由は本文参照</td> <td rowspan="14"></td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td>1次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> <td>ほう龍タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設/新設</td> <td>1次系補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用冷却設備 配管・弁</td> <td>既設/新設</td> <td>ほう龍ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用冷却設備（低圧注入系）配管・弁</td> <td>既設/新設</td> <td>表てんポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設/新設</td> <td>再生熱交換器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器</td> <td>既設</td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備</td> <td>既設</td> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電機設備</td> <td>既設/新設</td> <td>非常用冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電機設備</td> <td>既設/新設</td> <td>1次冷却設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電機設備</td> <td>既設/新設</td> <td>原子炉容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>既設/新設</td> <td>常用電機設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>既設</td> <td>非常用交流電機設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td>常設代替交流電機設備</td> <td>常設可能</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> <td>所内常設蓄電池直流電機設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設/新設</td> <td>補助給水ピット</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">40分</td> <td rowspan="10">1名</td> <td rowspan="10">自主対策とする理由は本文参照</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>非常用冷却設備 配管・弁</td> <td>既設</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用冷却設備（低圧注入系）配管・弁</td> <td>既設/新設</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設/新設</td> <td>タービン動機補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>スプレイノズル</td> <td>既設</td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>スプレイリニア</td> <td>既設</td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>既設</td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電機設備</td> <td>既設/新設</td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電機設備</td> <td>既設/新設</td> <td>補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電機設備</td> <td>既設/新設</td> <td>非常用交流電機設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>既設/新設</td> <td>常設代替交流電機設備</td> <td>常設可能</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>所内常設蓄電池直流電機設備</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策							対応手段	機器名称	既設/新設	解釈/対応番号	対応手段	機器名称	常設/可能	必要時期限内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取替用水ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取替用水ピット	常設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照		補助給水ピット	既設	1次系純水タンク	常設	代替格納容器スプレイポンプ	新設	ほう龍タンク	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設/新設	1次系補助給水ポンプ	常設	非常用冷却設備 配管・弁	既設/新設	ほう龍ポンプ	常設	非常用冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設/新設	表てんポンプ	常設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設/新設	再生熱交換器	常設	原子炉容器	既設	給水処理設備 配管・弁	常設	1次冷却設備	既設	化学体積制御設備 配管・弁	常設	非常用交流電機設備	既設/新設	非常用冷却設備 配管・弁	常設	常設代替交流電機設備	既設/新設	1次冷却設備	常設	可搬型代替交流電機設備	既設/新設	原子炉容器	常設	代替所内電気設備	既設/新設	常用電機設備	常設	燃料取替用水ピット	既設	非常用交流電機設備	常設	補助給水ピット	既設	常設代替交流電機設備	常設可能	代替格納容器スプレイポンプ	新設	所内常設蓄電池直流電機設備	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設/新設	補助給水ピット	常設	40分	1名	自主対策とする理由は本文参照		非常用冷却設備 配管・弁	既設	2次系純水タンク	常設	非常用冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設/新設	電動補助給水ポンプ	常設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設/新設	タービン動機補助給水ポンプ	常設	スプレイノズル	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	常設	スプレイリニア	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設	原子炉格納容器	既設	給水処理設備 配管・弁	常設	非常用交流電機設備	既設/新設	蒸気発生器	常設	常設代替交流電機設備	既設/新設	補助給水ポンプ	常設	可搬型代替交流電機設備	既設/新設	非常用交流電機設備	常設	代替所内電気設備	既設/新設	常設代替交流電機設備	常設可能	-	-	所内常設蓄電池直流電機設備	常設
	重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策																																																																																																																																											
対応手段	機器名称	既設/新設	解釈/対応番号	対応手段	機器名称	常設/可能	必要時期限内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考																																																																																																																																					
① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取替用水ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取替用水ピット	常設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																						
	補助給水ピット	既設		1次系純水タンク	常設																																																																																																																																									
	代替格納容器スプレイポンプ	新設		ほう龍タンク	常設																																																																																																																																									
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設/新設		1次系補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																									
	非常用冷却設備 配管・弁	既設/新設		ほう龍ポンプ	常設																																																																																																																																									
	非常用冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設/新設		表てんポンプ	常設																																																																																																																																									
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設/新設		再生熱交換器	常設																																																																																																																																									
	原子炉容器	既設		給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																									
	1次冷却設備	既設		化学体積制御設備 配管・弁	常設																																																																																																																																									
	非常用交流電機設備	既設/新設		非常用冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																																									
	常設代替交流電機設備	既設/新設		1次冷却設備	常設																																																																																																																																									
	可搬型代替交流電機設備	既設/新設		原子炉容器	常設																																																																																																																																									
	代替所内電気設備	既設/新設		常用電機設備	常設																																																																																																																																									
	燃料取替用水ピット	既設		非常用交流電機設備	常設																																																																																																																																									
補助給水ピット	既設	常設代替交流電機設備	常設可能																																																																																																																																											
代替格納容器スプレイポンプ	新設	所内常設蓄電池直流電機設備	常設																																																																																																																																											
2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設/新設	補助給水ピット	常設	40分	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																								
非常用冷却設備 配管・弁	既設	2次系純水タンク	常設																																																																																																																																											
非常用冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設/新設	電動補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																											
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設/新設	タービン動機補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																											
スプレイノズル	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																											
スプレイリニア	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																											
原子炉格納容器	既設	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																											
非常用交流電機設備	既設/新設	蒸気発生器	常設																																																																																																																																											
常設代替交流電機設備	既設/新設	補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																											
可搬型代替交流電機設備	既設/新設	非常用交流電機設備	常設																																																																																																																																											
代替所内電気設備	既設/新設	常設代替交流電機設備	常設可能																																																																																																																																											
-	-	所内常設蓄電池直流電機設備	常設																																																																																																																																											
<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の比較対象となる添付資料 1.13.2 は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。 																																																																																																																																														

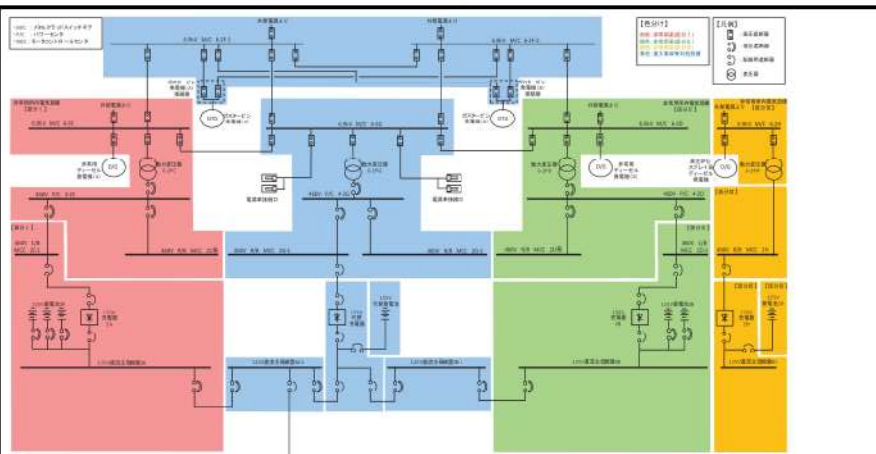
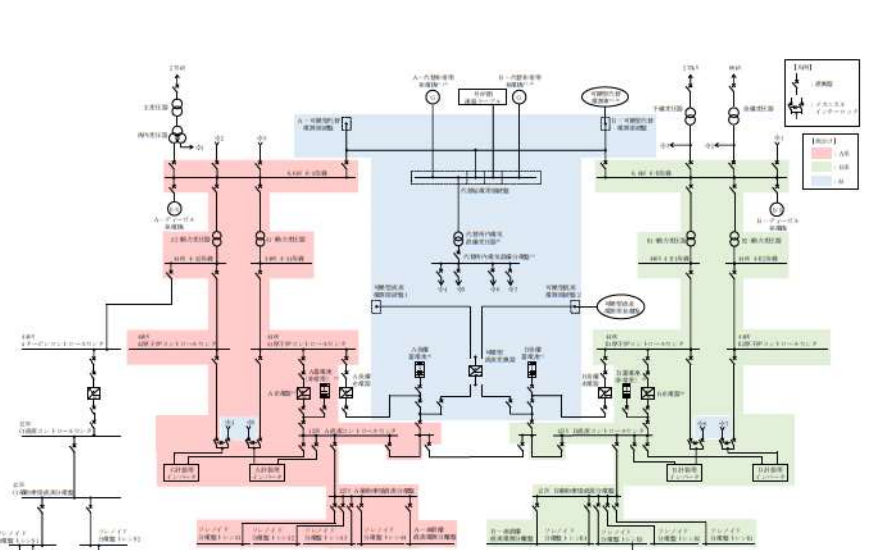
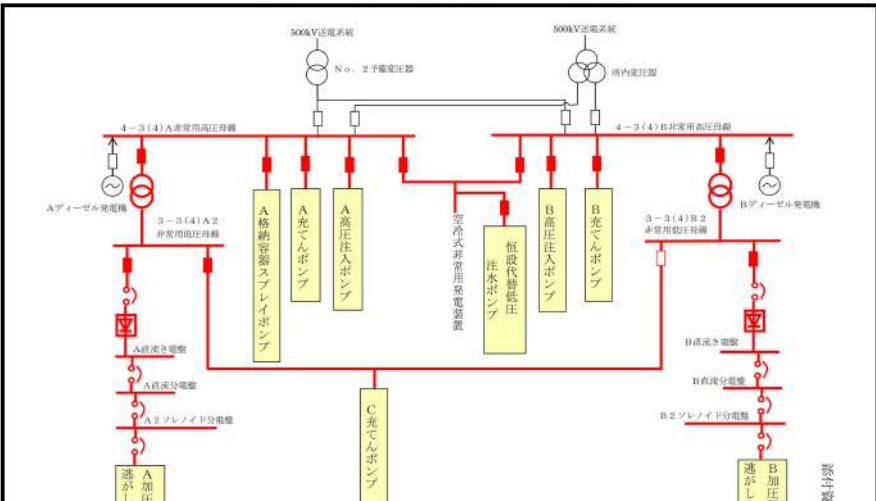
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p> <p>添付資料 1.13.2</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1.13.2</p> <p>対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p>第1図 電源構成図（交流電源）</p> <p>※：常設代替交流電源設備の主要設備 ◎：稼働代替交流電源設備の主要設備 ○：代替所内電気設備の主要設備</p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は交流と直流で分割 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
<p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.2</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第2図 電源構成図（直流電源）</p> <p>●1：常設代替交流電源設備の主要設備 ●2：可搬型代替交流電源設備の主要設備 ●3：代替用内電気設備の主要設備 ●4：所内設置常電式直流電源設備の主要設備</p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は交流と直流で分割 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
<p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.1</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>500kV送電系統 No. 2 予備変圧器 500kV送電系統 所内変圧器</p> <p>4-3(4)A非常用高圧母線 4-3(4)B非常用高圧母線</p> <p>Aダイーゼル発電機 3-3(4)A2非常用低圧母線 A格精ろ器スプレイポンプ A充てんポンプ A高圧注入ポンプ 空冷式非常用発電装置 恒設代替低圧注水ポンプ B高圧注入ポンプ B充てんポンプ 3-3(4)B2非常用低圧母線 Bダイーゼル発電機 A直流充電機 A直流分電盤 A2ソレノイド分電盤 A加圧器 逃がし弁 C充てんポンプ B直流充電機 B直流分電盤 B2ソレノイド分電盤 B加圧器 逃がし弁</p> <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>	<p>比較表 p 1.13-538 から p 1.13-539 にて比較</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

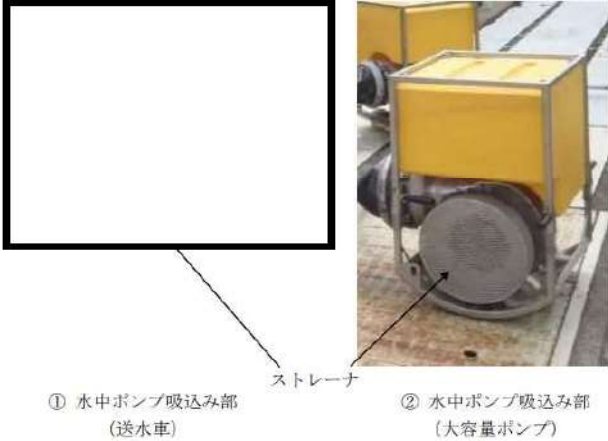
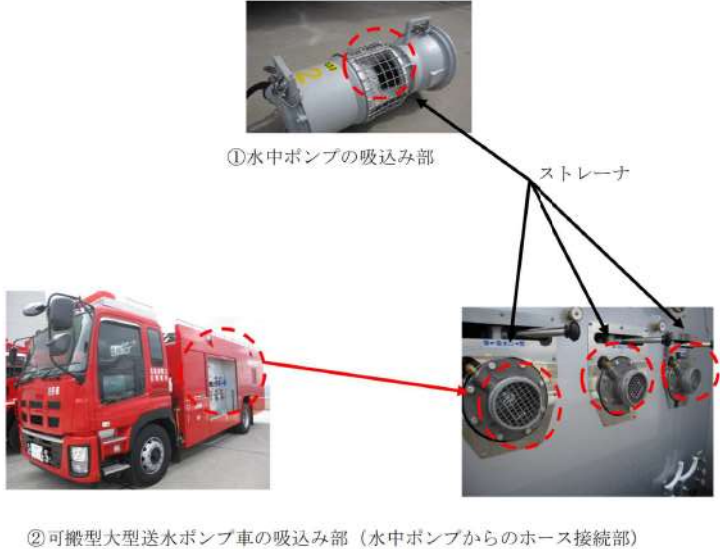
1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
添付資料 1.13.3						添付資料1.13.3						
多様性拡張設備仕様						自主対策設備仕様						
機器名称	常設／可搬	耐震性	容量	揚程	台数	機器名称	常設／可搬	耐震性	容量	揚程	台数	
N o . 3 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m ³	—	1基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	2基	
電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約140m ³ /h	約950m	2台	タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約115m ³ /h	約900m	1台	
タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約250m ³ /h	約950m	1台	電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約90m ³ /h	約900m	2台	
A、B2次系純水タンク	常設	Cクラス	8,500m ³	—	2基	代替給水ビット	常設	Cクラス	約473m ³	—	1基	
純水ポンプ	常設	Cクラス	約220m ³ /h	約140m	3台	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m ³ /h	吐出圧力 約1.3MPa[gage]	4台+予備2台	
脱気器タンク	常設	Cクラス	約600m ³	—	1基	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m ³	—	2基	
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,300m ³ /h	約620m	1台	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	4基	
N o . 2 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m ³	—	1基	燃料取替用水ビット	常設	Sクラス	約2,000m ³	—	1基	
電動消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m ³ /h	83m	1台	2次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	265m ³ /h	92m	2台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m ³ /h	55m	1台	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m ³	—	1基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m ³	—	2基	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m ³ /h	95m	2台	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m ³ /h	80m	2台	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m ³	—	2基	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約100m ³	—	2基	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	72m	2台	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	80m	2台	電動機駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	138m	1台	
A、B充てんポンプ	常設	Sクラス	約45m ³ /h	1,770m	2台	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	133m	1台	
C充てんポンプ	常設	Sクラス	約14m ³ /h	—	1台	使用済燃料ビットポンプ	常設	Bクラス	約550m ³ /h	75m	2台	
加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	51m ³	—	1基	加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	約37m ³	—	1基	
格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m ³ /h	90m	2台	格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m ³ /h	95m	2台	
使用済燃料ビットポンプ	常設	Bクラス	約546m ³ /h	60m	2台							
格納容器再循環サンプ	常設	Sクラス	—	—	2基							
格納容器再循環サンプスクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基							
A余熱除去ポンプ	常設	Sクラス	約1,020m ³ /h	約91m	1台							
ポンプ車	可搬	—	120m ³ /h	85m	1台							

記載表現の相違（女川審査実績の反映）
 ・多様性拡張設備から自主対策設備に変更。
 ・設備名称のため中央及び現場手動操作の記載を削除
 設備の相違（相違理由①）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、炉心冷却、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を送水車で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、大容量ポンプを使用して海水を原子炉補機冷却水系に通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、送水ポンプ及び送水ホースには影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>① 水中ポンプ吸込み部 (送水車)</p> <p>② 水中ポンプ吸込み部 (大容量ポンプ)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、発電用原子炉の冷却、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を可搬型大型送水ポンプ車で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、可搬型大型送水ポンプ車を使用して海水を原子炉補機冷却水系へ通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐にわたる。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースには影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>① 水中ポンプの吸込み部</p> <p>ストレーナ</p> <p>② 可搬型大型送水ポンプ車の吸込み部 (水中ポンプからのホース接続部)</p> </div>	<p>記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.5</p> <p>電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</p> <p>【水源切替操作】</p> <p>1. 操作概要 補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替準備のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P. 10. 3m, T.P. 24. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等）: 21分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 24. 8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>設備の相違(相違理由⑩)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替え操作は現場作業を伴うため、操作の成立性について記載している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた復水ビットへの補給</p> <p>【No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 No. 3淡水タンクを水源とした、復水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：15分 操作時間（実績）：8分（現場移動時間を含む。）</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.6</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</p> <p>1. 操作概要 2次系純水タンクを水源とした、2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p>	<p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、各水源から復水ビットへの補給手段をまとめて記載している。 ・泊は、各水源から補助給水ビットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。（伊方3号炉と同様） <p>設備の相違（相違理由①）</p> <p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場所の追加 ・以降、同様の相違理由は省略する。 <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。（女川と同様） ・放射線防護具着用時間を含めていることを記載。（伊方、玄海と同様） ・以降、同様の相違理由は省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="320 507 795 826" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="385 849 725 908" data-label="Caption"> <p>復水ピット補給弁開操作 (原子炉周辺建屋 E.L.+26.0m)</p> </div>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1332 531 1688 798" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1397 805 1621 879" data-label="Caption"> <p>補助給水ピット供給 ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P. 24.8m)</p> </div>	<p>記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス性を移動経路と記載する。 ・建屋内照明消灯時でもアクセス可能であることを記載。 ・アクセスルート上に支障となる設備がないことを記載。 ・防護具は必要に応じて着用する記載としている。 ・連絡手段の記載充実。 ・以降、同様の相違理由は省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由															
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(2)</p> <p>【No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 No. 2淡水タンクから復水ピットへ補給するため、消火栓から復水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：45分 作業時間（実績）：35分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <table border="1" data-bbox="309 786 844 912"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="385 933 553 1061"></div> <div data-bbox="602 933 768 1061"></div> <div data-bbox="385 1096 553 1224"></div> <div data-bbox="602 1096 768 1224"></div> <div data-bbox="385 1268 553 1396"></div> <div data-bbox="602 1268 768 1396"></div> </div>	号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由③）</p>
号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数													
3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													
4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 原水槽水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.10.3m 屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 原水槽へ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="436 746 689 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1429 177 1617 197" style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</div> <table border="1" data-bbox="1140 199 1906 296" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口</td> <td>約 600m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 12本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1393 387 1644 576" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1272 587 1765 635" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1207 660 1462 849" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1200 863 1464 888" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1570 660 1825 849" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1568 863 1830 888" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1207 932 1462 1120" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1196 1133 1469 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1561 925 1834 1129" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1590 1133 1807 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間(想定) : 40分 操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>原水槽から補助給水ピットへの補給系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要 2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 ：3名 作業時間（想定） ：180分 作業時間（訓練実績等）：135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性 ：可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 代替給水ピット水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m 屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 145分 作業時間（訓練実績等）: 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 代替給水ピットへ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 3本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150 A）接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150 A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ビットへの吸管挿入 （屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 3本×1系統 約 5本×1系統	<p>設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 3本×1系統 約 5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 40分 操作時間 (訓練実績等) : 20分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具 (全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 967 1675 1206" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから 補助給水ピットへの補給系統構成 (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(3)</p> <p>【海水を用いた復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 海水を復水ピットに補給するための送水車、可搬型ホース等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：5名/ユニット 作業時間(想定)：3.4時間 作業時間(実績)：3.4時間以内(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 なお、建屋への入口扉は2箇所からアクセス可能であり、これが両方とも使用できない場合でも、十分に距離のある別の入口扉からアクセス可能である。建屋入口扉の配置を「建屋入口扉へのアクセス箇所」に示す。 また、復水ピット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。</p> <p>作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：送水車の水中ポンプの設置要領は、他の水中ポンプ設置と同等であり、作業は実施可能である。 また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話(アイサットフォン)を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置(水中ポンプの設置含む。)]</p> <p>1. 作業概要 海水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。海水取水箇所へ水中ポンプを設置し、可搬型大型送水ポンプ車へ接続する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m、T.P.10.3m 屋外(海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺)</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名 作業時間(想定)：200分 作業時間(訓練実績等)：160分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。 屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車(送水車用)を使用することから、容易に実施可能である。 また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは、軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備(携帯型)、衛星電話設備(携帯型)を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違 ・大飯は添付資料1.5.6の中で水中ポンプ設置の記載をしている。 泊は各添付資料にて記載する。 記載内容は同様である。 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>運用の相違 ・泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。(伊方3号炉同様)</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>設備の相違 ・泊は結合金具式である。(女川同様)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p data-bbox="369 156 763 180">建屋入口扉へのアクセス箇所（3号炉の例）</p> <div data-bbox="147 204 987 671" style="border: 2px solid black; height: 293px; width: 375px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="403 683 983 710" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="1386 780 1637 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p data-bbox="2000 140 2089 161">運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="2000 169 2136 308"> ・ 泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉				泊発電所 3号炉				相違理由												
3号炉	海水ポンプ室前～復水ピット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約48本	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 8本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table>				敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統
			敷設ルート						敷設長さ	ホース口径	本数									
			海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口						約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統									
	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統																
	150mm																			
	200mm																			
	古見橋付近～復水ピット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約47本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約39本																
			150mm																	
			200mm																	
放水路ピット～復水ピット (D/G室前経由)	約300m	100mm	約17本																	
		150mm																		
		200mm																		
4号炉	海水ポンプ室前～復水ピット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約43本																
			150mm																	
			200mm																	
	古見橋付近～復水ピット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約42本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約37本																
			150mm																	
200mm																				
放水路ピット～復水ピット (D/G室前経由)	約700m	100mm	約25本																	
		150mm																		
		200mm																		



① 送水車外観



② 可搬型ホース接続 (接続前)



③ 可搬型ホース接続 (接続後)



④ 復水ピット入口扉



⑤ 可搬型ホース～復水ピット

②、③の写真はイメージ



ホース延長・回収車（送水車用）による
可搬型ホース敷設
(屋外)



ホース延長・回収車（送水車用）による
可搬型ホース敷設
(屋外)



可搬型ホース（150 A）接続前



可搬型ホース（150 A）接続後



可搬型大型送水ポンプ車の設置
ポンプ車周辺のホース敷設
(屋外)



海水取水箇所への水中ポンプ設置
(屋外)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 40分 操作時間 (訓練実績等) : 20分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具 (全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 976 1675 1219" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ピットへの補給 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>相違理由</p> <p style="color: red;">運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は可搬型ホースを給水ラインに接続後, 系統構成を実施する必要がある。 (伊方3号炉同様)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.6</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから代替水源への水源切替</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：90分 作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>③ ディスタンスピース取替え （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>④ パンティンダホース接続 （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1.13.10</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉容器への注水又は原子炉格納容器内へのスプレイ)</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（炉心注水））】</p> <p>1. 操作概要 炉心注水のため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [恒設代替低圧注水ポンプの水源とする場合] 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。） [充てんポンプの水源とする場合] 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：26分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携帯していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携帯型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> <p>② 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p>【燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m、T.P.17.8m 原子炉補助建屋T.P.10.3m、T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 原子炉容器への注水時 必要要員数：2名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） (2) 原子炉格納容器内へのスプレイ時 必要要員数：2名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：23分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携帯していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携帯して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携帯型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 水源切替系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。 泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（格納容器スプレイ））】</p> <p>1. 操作概要 格納容器スプレイのため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：35分 操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="248 794 524 999"> </div> <div data-bbox="600 794 875 999"> </div> </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> <p>② 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。 ・泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.7</p> <p>復水ピットから燃料取替用水ピット間のディスタンスピースの必要性及び取替え作業の確実性について</p> <p>復水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるためディスタンスピースによる隔離を選択した。</p> <p>【ディスタンスピースの必要性】</p> <p>○復水ピットと燃料取替用水ピットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として信頼性の高いディスタンスピースを設置することにより、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p>【ディスタンスピース取替え作業の確実性】</p> <p>○ディスタンスピース取替え作業は、一般的なガスケット取替え作業と同様であるため、適切な工具を使用すれば、容易かつ確実に作業が可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、ダブルチェックにより確実に実施可能である。</p> <p>○さらに、訓練用モックアップ（新設）又は実機によるディスタンスピース取替え作業及び系統構成作業について、定期的な訓練を実施し、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. ディスタンスピースの必要性</p> <p>復水ピット（純水内包）と燃料取替用水ピット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として信頼性の高いディスタンスピースを設置した。</p> <p>バルブによる隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、ディスタンスピースは物理的障壁として信頼性が高く、2次側への放射性物質の混入による汚染拡大を確実に防止可能であり、通常時の管理区域の区分設定を厳格に管理できる。</p> <p>PWRプラントには、設計思想として、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する配管は設けない。ただし、一部機器の洗浄ラインやポンプのシール水ラインについては、放射性物質を含む系統と接続しているものの、非放射性側の系統圧力を高くすることで、放射性物質の漏えい防止を図っている。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.11</p> <p>補助給水ピットから燃料取替用水ピット間の接続配管について</p> <p>補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるため直列に2個設置した隔離弁による隔離を選択した。</p> <p>【補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離】</p> <p>補助給水ピットと燃料取替用水ピットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として直列に2個設置した隔離弁により、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p>【切替えの容易性】</p> <p>運転員が実施する弁操作による系統構成作業は、通常時に行う弁操作と同様であるため、容易かつ確実に実施可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、確実に実施可能である。</p> <p>さらに、系統構成作業について、定期的な訓練を実施するとともに、通常時に行う弁操作経験を積むことにより、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. 補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離</p> <p>補助給水ピット（純水内包）と燃料取替用水ピット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として隔離弁を直列に2個設置した。</p> <p>弁による隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、直列に2個設置した隔離弁で隔離し、通常時開閉操作をしないことから異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと及び施錠管理をすることで誤操作を防止できることから、ディスタンスピース及びスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できると考えている。</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>


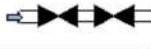



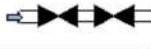



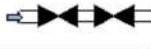


灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>(1) 放射性物質を含む配管と含まない配管との接続に対する設計上の考慮 泊発電所3号炉の既設設備における放射性物質を含む系統と放射性物質を含まない系統が接続している場合の隔離は、以下のとおりとしている。</p> <p>①放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統に導く配管 放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管については、放射性物質が放射性物質を含まない系統に逆流することを防止するため、逆止弁を設置し隔離する設計としていることから、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準」という。）第三十条について満足している。</p> <table border="1" data-bbox="1220 446 1836 798"> <thead> <tr> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</th> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(逆止め弁)</td> <td>第30条(逆止め弁)</td> </tr> <tr> <td>第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。</td> <td>1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; color: red;">既設の系統における同様な例との比較を以下に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1075 909 1982 1141"> <thead> <tr> <th></th> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>逆流防止の系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">既設の例*</td> <td>蓄圧タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統（窒素ガス）</td> <td>窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバガスの供給用</td> <td>4.9MPa/132℃</td> <td>逆止弁及び空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク</td> <td>原子炉補給水系統（1次系純水）</td> <td>加圧器逃がしタンク減圧用</td> <td>0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃</td> <td>逆止弁 空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>体積制御タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統等（水素ガス）</td> <td>水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用</td> <td>0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃</td> <td>逆止弁 手動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>今回設置</td> <td>代替格納容器 スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器 スプレイポンプ 試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>補助給水ピット側 逆止弁及び手動弁（1個）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：他にも、タンク等へに補給（2次系純水）及びカバガス（窒素ガス等）等の例が多数ある。</p>	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈	(逆止め弁)	第30条(逆止め弁)	第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。		放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成	既設の例*	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁及び空気作動弁（1個）	加圧器逃がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器逃がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃	逆止弁 空気作動弁（1個）	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁 手動弁（1個）	今回設置	代替格納容器 スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器 スプレイポンプ 試験用	0MPa/95℃	補助給水ピット側 逆止弁及び手動弁（1個）	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由②）</p>
実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈																																			
(逆止め弁)	第30条(逆止め弁)																																			
第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。																																			
	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成																															
既設の例*	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁及び空気作動弁（1個）																															
	加圧器逃がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器逃がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃	逆止弁 空気作動弁（1個）																															
	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁 手動弁（1個）																															
今回設置	代替格納容器 スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器 スプレイポンプ 試験用	0MPa/95℃	補助給水ピット側 逆止弁及び手動弁（1個）																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>②放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管</p> <p>泊発電所3号炉の既設の系統には、上記の例とは逆に、非常時に放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管として、燃料取替用水ピットから原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給。この場合は、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない系統に誤って漏えいすることを防止するため、直列に2個設置した隔離弁で隔離を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="1137 331 1951 448"> <thead> <tr> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給</td> <td>1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃</td> <td>手動弁 手動弁</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器 スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器 スプレイポンプ試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>燃料取替用水ピット側 手動弁（3個）</td> </tr> </tbody> </table> <p>代替格納容器スプレイポンプの入口配管である燃料取替用水ピットと補助給水ピットが接続されている重大事故等対処設備の配管も、上記と同様に放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管であることから、逆止弁を設けるとともに、手動弁1個を常時閉止することとしており、「技術基準」第三十条について満足している。さらに、燃料取替用水ピット側の配管に直列に2個設置した隔離弁を常時閉止することで、ディスタンスピースやスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できる。</p> <table border="1" data-bbox="1104 767 1957 1166"> <thead> <tr> <th></th> <th>ディスタンスピース</th> <th>手動弁</th> <th>スプールピース</th> <th>フレキシブル配管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概要図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>隔離の信頼性</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業性</td> <td>作業内容</td> <td>ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）</td> <td>半操作（2箇所）</td> <td>スプールピース取替作業 半操作（2箇所）</td> <td>カブラ取替作業 半操作（2箇所）</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>半操作のみであり、作業性に優れる</td> <td>半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>半操作に加えてカブラ取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成	燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃	手動弁 手動弁	代替格納容器 スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器 スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側 手動弁（3個）		ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管	概要図					隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）	半操作（2箇所）	スプールピース取替作業 半操作（2箇所）	カブラ取替作業 半操作（2箇所）	評価	半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作のみであり、作業性に優れる	半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作に加えてカブラ取替作業が必要のため、手動弁より劣る	評価結果	○	◎	○	○	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成																																												
燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃	手動弁 手動弁																																												
代替格納容器 スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器 スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側 手動弁（3個）																																												
	ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管																																												
概要図																																																
隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能																																												
作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）	半操作（2箇所）	スプールピース取替作業 半操作（2箇所）	カブラ取替作業 半操作（2箇所）																																											
	評価	半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作のみであり、作業性に優れる	半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作に加えてカブラ取替作業が必要のため、手動弁より劣る																																											
評価結果	○	◎	○	○																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="309 146 810 651" style="border: 2px solid black; height: 316px; width: 224px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="322 667 745 687" style="font-size: small;">復水ピットから燃料取替用水ピット間ディスタンスピース設置箇所（1/2）</div> <div data-bbox="501 703 1012 735" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="344 847 719 1225"> </div> <div data-bbox="353 1257 770 1278" style="font-size: small;">復水ピットから燃料取替用水ピット間ディスタンスピース設置箇所（2/2）</div>	<div data-bbox="1106 156 1957 746" style="border: 2px solid black; height: 370px; width: 380px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="1256 762 1794 783" style="font-size: small;">補助給水ピットから燃料取替用水ピット間弁設置箇所（1/2）</div> <div data-bbox="1137 831 1921 1225"> </div> <div data-bbox="1256 1241 1794 1262" style="font-size: small;">補助給水ピットから燃料取替用水ピット間弁設置箇所（2/2）</div> <div data-bbox="1384 1278 1951 1310" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2002 762 2145 815" style="color: red; font-size: small;"> 設備の相違（相違理由②） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

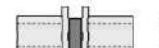


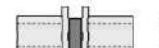

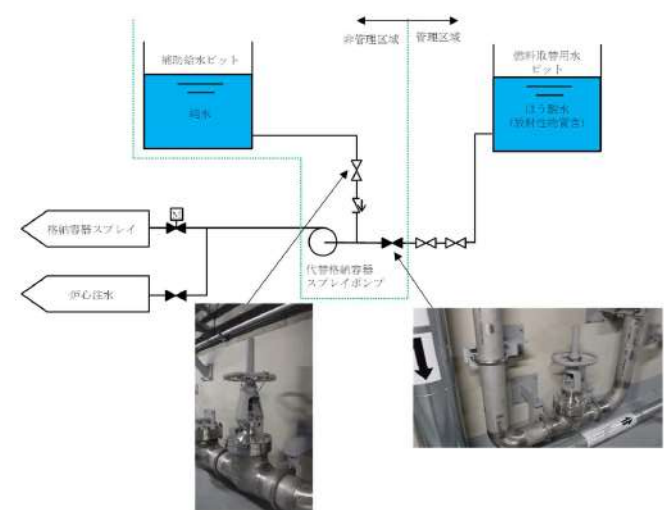
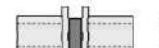

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>(2) 放射性物質を含む配管と含まない配管の隔離に用いる弁の施設管理 放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管に設置する逆止弁等の施設管理は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1093 268 1944 499"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>系統圧力/温度</th> <th>対象隔離弁</th> <th>隔離弁名称内容</th> <th>頻度（回/定期）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">既設の例</td> <td rowspan="2">加圧タンク 薬液ガスライン</td> <td>逆止弁（リフト式）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁（玉形弁）</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧漏洩がしタンク 1次系補給水ライン</td> <td>空気作動弁（玉形弁）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>逆止弁（スイング式）</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">今回設置</td> <td rowspan="2">代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン</td> <td>逆止弁（リフト式）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁（ゴムダイヤフラム弁）</td> <td>分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）</td> <td>1/7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料冷却用ポンプからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン</td> <td>逆止弁（リフト式）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/20</td> </tr> <tr> <td>手動弁（玉形弁）</td> <td>分解点検 （シート面の写り確認含む。）</td> <td>1/10</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、今回設置する代替格納容器スプレイポンプ入口配管については、上記に加えて、直列に2個設置した隔離弁の間にリーク確認用のドレン配管を設けており、弁を分解点検した場合は、水張り後に漏えい確認を行うこととしている。</p>	系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁名称内容	頻度（回/定期）	既設の例	加圧タンク 薬液ガスライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10	空気作動弁（玉形弁）		1/6	加圧漏洩がしタンク 1次系補給水ライン	空気作動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10	逆止弁（スイング式）		1/6	今回設置	代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10	手動弁（ゴムダイヤフラム弁）	分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）	1/7	燃料冷却用ポンプからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/20	手動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁名称内容	頻度（回/定期）																																	
既設の例	加圧タンク 薬液ガスライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10																																	
		空気作動弁（玉形弁）		1/6																																	
	加圧漏洩がしタンク 1次系補給水ライン	空気作動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10																																	
		逆止弁（スイング式）		1/6																																	
今回設置	代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10																																	
		手動弁（ゴムダイヤフラム弁）	分解点検 （ダイヤフラム交換含む。）	1/7																																	
	燃料冷却用ポンプからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	逆止弁（リフト式）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/20																																	
		手動弁（玉形弁）	分解点検 （シート面の写り確認含む。）	1/10																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p>2. ディスタンスピース取替え作業の確実性</p> <p>(1) ディスタンスピース取替え作業</p> <p>ディスタンスピースの取替え作業は、以下のとおり一般的なガスケット取替え作業と同様であり、系統の圧力もかからないため容易に実施することができる。</p> <p>○作業内容</p> <p>①ボルト緩め(8本)及びボルト取外し(そのうち4本)</p> <p>②フランジ面間を広げる(シノ使用)</p> <p>③ディスタンスピース及びガスケット取替え(閉止用⇒通水用)</p> <p>④ボルト取付け及びボルト締付け</p> <p>〔ボルト材質はSCM435(クロモリ鋼)であり管理区域内の湿度及び温度が一定の場所に設置されているため腐食の懸念はほとんどなく、また、日常パトロール及び定期的な訓練での取替え作業にて健全性は確認可能である。〕</p> <p>ディスタンスピース(通水用)及び工具が入った工具箱は、作業場所付近に固縛して備え付け、速やかに取替え作業ができるようにしている。また、工具の員数については日常パトロール等で確認している。</p> <div data-bbox="291 702 716 861"> <table border="1"> <tr> <th>通常時</th> <th>使用時</th> </tr> <tr> <td>ディスタンスピース (閉止用)</td> <td>ディスタンスピース (通水用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="257 877 851 1013">  </div>	通常時	使用時	ディスタンスピース (閉止用)	ディスタンスピース (通水用)			<p>2. 切替えの容易性</p> <p>(1) 水源切替え操作</p> <p>弁操作は、通常時に行う運転操作と同様であり、容易に実施することができる。</p> <p>操作内容</p> <p>①燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの水源切替として、補助給水ビット側の入口止め弁を「開」とする。</p> <p>②燃料取替用水ビット側の入口止め弁を「閉」とする。</p> <div data-bbox="1209 430 1870 941">  </div>	<p>設備の相違(相違理由②)</p>
通常時	使用時							
ディスタンスピース (閉止用)	ディスタンスピース (通水用)							
								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>(2) 工具の最適性</p> <p>○ボルト緩め及び締付け工具（作業①、④）</p> <p>ボルトの緩め及び締付け作業を実施するためには、一般工具である片ロメガネレンチ及びソケットレンチが最適である。</p> <table border="1" data-bbox="268 300 828 466"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>作業時間（緩め）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ</td> <td>5分</td> <td>・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="259 483 555 620"> <p>片ロメガネレンチ(30mm)</p> </div> <div data-bbox="562 483 857 620"> <p>ソケットレンチ(30mm)</p> </div> </div> <p>○フランジ面間を広げる工具（作業②）</p> <p>シノは、フランジ面に接着し押し広げることにより、セッティング及び取外しが可能であり、一般工具であるシノで確実かつ信頼性の高い作業が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="259 794 857 963"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>原理</th> <th>作業時間（セッティング、面間広げ）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シノ</td> <td>上流側と下流側のフランジの面間を広げる</td> <td>2分</td> <td>・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="300 991 589 1110"> <p>シノ付きラチェット(30mm)</p> </div>	工具	作業時間（緩め）	作業性	評価	・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎	工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価	・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
工具	作業時間（緩め）	作業性	評価																	
・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎																	
工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価																
・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉				泊発電所 3号炉		相違理由
(3) ディスタンスピースの検討						
概略図						
取替要領	閉止用を引き抜き、通水用を差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、引き抜いて方向を変えて差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、ボルトを支点に回すことで取替え作業を実施。	配管上にバーを設置し、そこを支点に回すことで取替え作業を実施。		
設備面	一体でないため紛失の恐れ有。ただし、通水側は保管しているため傷がつくおそれは少ない。	△ 地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損の恐れ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	× 重量が重くなり、ボルトにかかる負担が大きくなり、ボルト損傷の可能性大。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	× 地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損のおそれ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	×	
作業性	取替えはガスケットを含み2分程度。ボルトは8本中4本は取り外さない。	◎ 引き抜いて差し込む作業は変わらないが、重量が重く、作業性が悪いため作業時間は長くなる。	× 取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルト2本を除き取外す必要があるためトータルの作業時間はほとんど変わらない。	× 取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルトを全て取外す必要があるためトータルの作業時間は長くなる。	×	
評価	◎	×	×	×		
<p>ディスタンスピースの形状について検討を行った結果、閉止用と通水用とを分離しておくことが、取替えの作業性及び取替え時間に関して最適であることを確認した。</p>						
比較対象なし						設備の相違（相違理由②）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>(4) ディスタンスピース取替え作業の訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ディスタンスピースの訓練用モックアップを新規に製作した。 ○今後、訓練用モックアップの使用も含めて、重大事故等対策要員が年1回以上の頻度で訓練を実施し、習熟度の向上及び確実な作業の技能維持を図る。  <p>ディスタンスピース訓練用モックアップ</p> <p>写真はイメージ</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>[参考] 作業詳細</p> <p>① 燃料取替用水ピット側閉止用ディスタンスピース締付けボルト緩め及び取外し。(8本中上部4本抜き取り)</p> <p>a. 取替え前のフランジ面間寸法測定</p>  <p>燃料取替用水補給ライン 作業箇所 閉止板 フランジ 幅目安:220mm 測定した値は記録すること</p> <p>フランジ間幅値の測定 直尺(150mm) 直尺を用いてフランジの上下左右の4点で幅値を測定し記録してください。 記録した値は、ディスタンスピース取り付け時のボルト締め付けの際に参考値として使用する。</p> <p>b. 片口メガネレンチ及びソケットレンチにてボルト緩め</p>  <p>閉止板を取外すのでボルトナットを全て緩めます。 メガネレンチで一方を固定し、ソケットレンチでナットを緩める。 ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを取り外す。 メガネレンチ(30mm)で一方を固定</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>② ディスタンスピース（閉止用）及びガスケット取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランジ上部より抜き出す。  <p>閉止板を先に抜き取り、その後ガスケット2枚を取り外す。</p> <p>閉止板及びガスケットの取出し</p> <p>フランジ 閉止板 フランジ</p> <p>ガスケット</p> <p>ガスケットは新品と取替えるため、閉止板とともに取り外す。(旧品は再使用しない)</p>		
<p>③ ディスタンスピース（通水用）及びガスケット取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランジ上部から挿入し、ボルト上部に乗せるだけで位置決め完了。(シート面を傷つけないよう注意する。)  <p>ガスケット及びディスタンスピースをフランジ間に挿入する。</p> <p>ディスタンスピース及びガスケットの取付け</p> <p>ディスタンスピース(穴空側)</p> <p>ガスケット ガスケット</p> <p>フランジ</p> <p>ガスケットでディスタンスピースを挟み込むように組み、その状態で挿入する。</p> <p>1. ガスケットは新品と取替える。(旧品を再使用しない) 2. ディスタンスピース取付けの際はガスケットのシール部を傷つけないように注意する。取り付けづらい際はシノ等でフランジ間隙を広げながら取り付けを行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>④ 締付けボルト取付け及び締付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締付けボルト取付け（8本中上部4本取付け） ・片締めにならないよう対角に締め付ける。 <div data-bbox="264 248 853 695" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボルトをフランジに取付け、ガスケットの圧縮率に注意しながらナットを締める。</p>  <p>ボルトナットの取付け</p> <p>ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを締める。</p> <p>メガネレンチ(30mm)で一方のナットを固定する。</p> <p>ボルト締め付け時は、手順で記録した値を参考にする。また、そのフランジ部幅がガスケット圧縮率の規定値を満たしていることを直尺で確認する。</p> <p>フランジ幅確認値 裏り側...目標22.0mm (21.5mm~22.5mm)</p> </div>	<div data-bbox="1391 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載




赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：20分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.12</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）)</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段をまとめて記載している。 泊は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。（伊方3号炉と同様） 以下、添付資料1.13.12～19まで同様の相違であるため相違理由を省略する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため、下段の添付資料 1.13.8-(3)を再掲</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット脱塩塔を経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：70分 操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.13</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.17.8m 周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：55分 操作時間（訓練実績等）：33分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる 補給系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる補給 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(2)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器逃がしタンク経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：47分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.14</p> <p>1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.17.8m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：17分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m（中間床）)</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要 1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット脱塩塔を経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：70分 操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>添付資料1.13.13にて比較</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(4)</p> <p>【No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要 No. 3淡水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間(想定)：50分 操作時間(実績)：38分(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.15</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要 2次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.24.8m, T.P.10.3m(中間床) 原子炉補助建屋T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間(想定)：65分 操作時間(訓練実績等)：42分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P. 10.3m(中間床))</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(5)</p> <p>【No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要 No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、消火栓から燃料取替用水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：45分 作業時間（実績）：36分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.16</p> <p style="text-align: center;">ろ過水タンクを水源とした 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 作業概要 ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、屋内から燃料取替用水ピットまで消防ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.40.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：1名 作業時間（想定）：30分 作業時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備または携行して作業を行う。</p> <p>作業性：消防ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉					泊発電所3号炉				相違理由
号 炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	消防ホース敷設箇所				
3号炉	屋内消火栓～燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	
4号炉	屋内消火栓～燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	屋内消火栓（HC-64）～燃料取替用水ピット	約10m	65A	1本	
 <p>① 消火栓接続口（常時接続）</p>  <p>② 消火栓～可搬型ホース施設</p>  <p>③ 可搬型ホース（40A）接続口</p>  <p>④ 可搬型ホース（40A）接続後</p>  <p>⑤ 燃料取替用水ピット入口扉</p>					 <p>消火ポンプ起動 （周辺補機棟 T.P. 40.3m）</p>  <p>消火栓接続口（常時接続）</p>  <p>消防ホース（40A）接続前</p>  <p>消防ホース（40A）接続後</p>  <p>ろ過水タンクによる補給 （周辺補機棟 T.P. 40.3m）</p>				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 原水槽水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.10.3m 屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 原水槽へ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1137 177 1901 300" style="text-align: center; border: 1px solid black; margin-bottom: 10px;"> <p>可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">敷設ルート</th> <th style="width: 20%;">敷設長さ</th> <th style="width: 20%;">ホース口径</th> <th style="width: 30%;">本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口</td> <td>約600m×1系統 約50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約12本×1系統 約5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1391 389 1637 576" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1265 587 1758 635" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1202 660 1458 850" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1202 865 1458 890" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1570 660 1825 850" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1570 865 1825 890" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1202 932 1458 1121" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1202 1134 1458 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1561 925 1834 1131" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1570 1134 1825 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設（屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口	約600m×1系統 約50m×1系統	150A	約12本×1系統 約5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口	約600m×1系統 約50m×1系統	150A	約12本×1系統 約5本×1系統							





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 960 1671 1201" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ピットへの補給 系統構成 （周辺補機棟 T.P. 17.8m）</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要 2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 180分 作業時間（訓練実績等） : 135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性 : 可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(1)</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 代替給水ピット水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m 屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 145分 作業時間（訓練実績等）：115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 代替給水ピットへ挿入する吸管は、可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 3.3m 接続口</td> <td>約 150m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150 A</td> <td>約 3 本×1 系統 約 5 本×1 系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置代替給水ビットへの吸管挿入（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 3.3m 接続口	約 150m×1 系統 約 50m×1 系統	150 A	約 3 本×1 系統 約 5 本×1 系統	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 3.3m 接続口	約 150m×1 系統 約 50m×1 系統	150 A	約 3 本×1 系統 約 5 本×1 系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 40分 操作時間 (訓練実績等) : 14分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具 (全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 963 1675 1203" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから 補助給水ピットへの補給系統構成 (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違 (相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を行うため、可搬型大型送水ポンプ車の設置、海水取水箇所への水中ポンプ設置、可搬型ホース等の敷設等を行い、補給する。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m, T.P.10.3m 屋外（海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。 屋外の可搬型ホースの敷設は、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、容易に実施可能である。 海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは、軽量なものであり人力で降下設置できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由												
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1146 188 1890 424"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 8本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 499 1453 687"> <p data-bbox="1160 699 1496 767">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1565 499 1825 687"> <p data-bbox="1525 699 1861 767">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 783 1453 971"> <p data-bbox="1205 991 1453 1011">可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1565 783 1825 971"> <p data-bbox="1565 991 1825 1011">可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 1054 1453 1243"> <p data-bbox="1205 1257 1453 1326">可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1565 1054 1825 1243"> <p data-bbox="1565 1257 1825 1302">海水取水箇所への水中ポンプ設置（屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統	<p data-bbox="2000 751 2141 799">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 40分 操作時間 (訓練実績等) : 20分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具 (全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 962 1673 1203" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ピットへの補給 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違 (相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(6)</p> <p>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：90分 作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>③ ディスタンスピース取替え (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(7)</p> <p>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：25分 操作時間（実績）：18分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.9</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>大飯3号炉及び4号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</p> <p>(6) 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続、高圧及び低圧再循環運転不能において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉及び格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に原子炉及び格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による1次冷却系減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏洩の程度（漏洩量）によらず、比較的小流量（約30m³/h）である1次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p> <p style="text-align: center;">【比較のため高浜3 / 4号炉の添付資料 1.13.9の抜粋を掲載】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一方、格納容器バイパス事象以外の事故（LOCA等）については、燃料取替用水タンク水が格納容器再循環サンプに溜まり、基本的には再循環への切り替えが期待できるため格納容器バイパス事象ほどの緊急性はないものの、再循環切替失敗に対するリスクを考慮すると補給操作は事故対応上も考慮すべきである。運転員の事故対応の優先順位等も考慮し、事象や事故の規模（冷却材の漏洩量等）に関係なく対応できるよう「燃料取替用水タンクの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合」を補給の判断基準として取り込んでいる。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.20</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>泊発電所3号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</p> <p>e. 1次系補給ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>(1) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び蓄圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉容器及び原子炉格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に発電用原子炉及び原子炉格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が原子炉格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉容器等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉容器等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏えいの程度（漏えい量）によらず、比較的小流量（約30m³/h）である1次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p>	<p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違（相違理由⑦）</p> <p>【高浜】 設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉		泊発電所 3号炉		相違理由	
添付資料1.13.10		添付資料1.13.21			
水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表		水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (1/5)			
1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文 番号 手順名称	1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文 番号 手順名称		
復水ピットへの供給に係る手順等 蒸気発生器2次側による炉心冷却	復水ピットからNo. 3 淡水タンクへの水源切替	1.13 本条文中で整備	1.1 ほう酸水注入		
	A、B 2次系純水タンクからNo. 3 淡水タンクへの補給	1.13 本条文中で整備	1.2 1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用炉心の冷却		
	復水ピットから脱気器タンクへの水源切替	1.2 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1.2 1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用炉心の冷却		
	1次冷却系のフィードアンドブリード	1.2 1次冷却系のフィードアンドブリード	1.3 加圧器補助スプレイ管による原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧		
	No. 3 淡水タンクから復水ピットへの補給	1.13 本条文中で整備	1.4 復てんポンプによる原子炉容器への注水 B-1格納容器スプレイポンプ (BWR5-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 B-1充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水 B-1格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (BWR5-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 燃料取替用水ピットからの取排水による原子炉容器への注水 自然減圧ポンプによる原子炉容器への注水		
	No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給	1.13 本条文中で整備		1.8 高圧注入ポンプ又は自然減圧ポンプによる原子炉容器への注水	
	海水を用いた復水ピットへの補給	1.13 本条文中で整備		1.6 燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	
		1.6 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ			
炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	1.13 本条文中で整備	1.6 燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却		
	燃料取替用水ピットからNo. 2 淡水タンクへの水源切替	1.4 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	1.6 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ		
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13 本条文中で整備	1.6 燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却		
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.4 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	1.6 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ		
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13 本条文中で整備	1.7 格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ		
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13 本条文中で整備	1.4 格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存遊離炉心の冷却		
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13 本条文中で整備	1.8 燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器下部への注水		
	No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13 本条文中で整備	1.11 燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水		
	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13 本条文中で整備	1.1 燃料取替用水ポンプ (自動) 燃料取替用水ポンプ (手動)		
	復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13 本条文中で整備	1.2 加圧器補助用水高圧ポンプによる蒸気発生器への注水 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 緊急手動操作によるタービン駆動補助給水ポンプの機能回復 緊急代替安設電源設備による電動補助給水ポンプの機能回復		
		1.2 加圧器補助用水高圧ポンプによる蒸気発生器への注水 緊急手動操作によるタービン駆動補助給水ポンプの機能回復			
		1.2 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 緊急代替安設電源設備による電動補助給水ポンプの機能回復			
		1.2 加圧器補助用水高圧ポンプによる蒸気発生器への注水 1.4 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			
		1.2 加圧器補助用水高圧ポンプによる蒸気発生器への注水 タービン駆動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			
		1.4 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水			
		1.6 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ			
		1.6 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ			
		1.8 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水			
		1.11 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水			

記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・各手段構成の相違による相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉			泊発電所 3号炉			相違理由
1.13 手順名称			水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (2/5)			
		詳細手順を整備する条文			詳細手順を整備する条文	
		番号			番号	
		手順名称			手順名称	
燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替	1.6	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレー	代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13	本条文中整備		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.6	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレー		1.4	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13	本条文中整備		1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13	本条文中整備		1.6	代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却
	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		1.6	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
	No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		1.8	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水
	復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		1.11	代替給水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー
	1.4	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	1.4		A格納容器スプレーポンプ (R H R S - C S S 連絡ライン使用) による代替再循環運転	1.11
水源とした再循環運転に係る手順等	A格納容器スプレーポンプ (R H R S - C S S 連絡ライン使用) による代替再循環運転	1.4	A格納容器スプレーポンプ (R H R S - C S S 連絡ライン使用) による代替再循環運転	原水槽を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	B高圧注入ポンプ (海水冷却) 、大容量ポンプによる高圧代替再循環運転	1.4	B高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転		1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による低圧代替再循環運転	1.4	A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による低圧代替再循環運転		1.4	原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉格納容器への注水
					1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
使用済燃料ピットへの水の供給時に係る手順等	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	原水槽を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー	1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 (艦内消火栓)	1.11	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 (艦内消火栓)		1.2	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水		1.6	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水		1.6	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水		1.8	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水
	海水から使用済燃料ピットへの注水	1.11	海水から使用済燃料ピットへの注水		1.11	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水
					1.11	原水槽を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制

記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・各手段構成の相違による相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉			泊発電所 3号炉			相違理由	
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文		
		番号	番号	番号	番号		
使用時の燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー及び放水に係る手順等	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー	1.11	送水車による使用済燃料ピットへのスプレー	1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・各手段構成の相違による相違	
		1.12	送水車及びスプレーヘッドによる大気への拡散抑制	1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水		
	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水		1.11	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水	1.11		2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水
			1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	1.2		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
炉心の著しい損傷及び格納容器への格納水に係る手順等	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	水 脱気したタンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
				脱気タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.2		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
				脱気タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
				脱気タンクを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5		電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
				海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2		海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
				海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.2		海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
				海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	1.4		海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水
				海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.2		海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
				海水を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	
				海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	1.2	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	
海水を水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却					
海水を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却					
海水を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水					
海水を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水					
海水を水源とした原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却海水確保	1.5	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレーノズルによる使用済燃料ピットへのスプレー					
			1.5	原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却海水確保			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
	<p style="text-align: center;">水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（4/5）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 5%;">番号</th> <th style="width: 75%;">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却</td> <td>海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却</td> <td>1.7</td> <td>可搬型大口径送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器内蓄電ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td>海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却</td> <td>1.5</td> <td>可搬型大口径送水ポンプ車によるA一級排気圧縮機への補機冷却水（海水）通水 可搬型大口径送水ポンプ車によるA一高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水 補機冷却水（可搬型大口径送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンジを用いた代替炉心冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制</td> <td>1.11</td> <td>海水を用いた可搬型大口径送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾムによる大気への放射性物質の拡散抑制</td> </tr> <tr> <td>1.12</td> <td>可搬型大口径送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制</td> </tr> <tr> <td>海を水源とした航空機燃料火災への消滅</td> <td>1.12</td> <td>可搬型大口径送水ポンプ車、放水砲及び混合液噴霧による航空機燃料火災への消滅</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">水ほうとう酸タンク対応手順</td> <td>ほうとう酸タンクを水源とした発電用原子炉を未臨界にするための原子炉管部へのほうとう酸水注入</td> <td>1.1</td> <td>ほうとう酸水注入</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">格納容器再蓄電システム対応手順</td> <td>格納容器再蓄電システムを水源とした再蓄電運転</td> <td>1.4</td> <td>余熱除去ポンプによる低圧再蓄電運転 高圧注入ポンプによる高圧再蓄電運転</td> </tr> <tr> <td>格納容器再蓄電システムを水源とした格納容器スプレインゾム再蓄電運転</td> <td>1.6</td> <td>格納容器スプレインゾムによる原子炉格納容器内へのスプレイン</td> </tr> <tr> <td>格納容器再蓄電システムを水源とした代替再蓄電運転</td> <td>1.4</td> <td>日一格納容器スプレインポンプ（0808-CSS連絡ライン使用）による代替再蓄電運転 可搬型大口径送水ポンプ車を用いたA一高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再蓄電運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">へ熱水料の取替対応用寸水補給ビット</td> <td>可搬型大口径送水ポンプ車による燃料取替用寸水ビットへの補給</td> <td>1.13</td> <td>本条文中整備</td> </tr> <tr> <td>電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給</td> <td>1.13</td> <td>本条文中整備</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給</td> <td>1.13</td> <td>本条文中整備</td> </tr> <tr> <td>2次系補給水ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給</td> <td>1.13</td> <td>本条文中整備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">水補給の補助水ポンプ対応手順</td> <td>可搬型大口径送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>1.13</td> <td>本条文中整備</td> </tr> <tr> <td>2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> <td>1.13</td> <td>本条文中整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	手順名称	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.7	可搬型大口径送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器内蓄電ユニットによる格納容器内自然対流冷却	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.5	可搬型大口径送水ポンプ車によるA一級排気圧縮機への補機冷却水（海水）通水 可搬型大口径送水ポンプ車によるA一高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水 補機冷却水（可搬型大口径送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンジを用いた代替炉心冷却	海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.11	海水を用いた可搬型大口径送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾムによる大気への放射性物質の拡散抑制	1.12	可搬型大口径送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	海を水源とした航空機燃料火災への消滅	1.12	可搬型大口径送水ポンプ車、放水砲及び混合液噴霧による航空機燃料火災への消滅	水ほうとう酸タンク対応手順	ほうとう酸タンクを水源とした発電用原子炉を未臨界にするための原子炉管部へのほうとう酸水注入	1.1	ほうとう酸水注入	格納容器再蓄電システム対応手順	格納容器再蓄電システムを水源とした再蓄電運転	1.4	余熱除去ポンプによる低圧再蓄電運転 高圧注入ポンプによる高圧再蓄電運転	格納容器再蓄電システムを水源とした格納容器スプレインゾム再蓄電運転	1.6	格納容器スプレインゾムによる原子炉格納容器内へのスプレイン	格納容器再蓄電システムを水源とした代替再蓄電運転	1.4	日一格納容器スプレインポンプ（0808-CSS連絡ライン使用）による代替再蓄電運転 可搬型大口径送水ポンプ車を用いたA一高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再蓄電運転	へ熱水料の取替対応用寸水補給ビット	可搬型大口径送水ポンプ車による燃料取替用寸水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	1次系補給水ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	2次系補給水ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	水補給の補助水ポンプ対応手順	可搬型大口径送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	<p>記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・各手段構成の相違による相違</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																																																									
		番号	手順名称																																																								
海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.7	可搬型大口径送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器内蓄電ユニットによる格納容器内自然対流冷却																																																								
	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.5	可搬型大口径送水ポンプ車によるA一級排気圧縮機への補機冷却水（海水）通水 可搬型大口径送水ポンプ車によるA一高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水 補機冷却水（可搬型大口径送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンジを用いた代替炉心冷却																																																								
	海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.11	海水を用いた可搬型大口径送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾムによる大気への放射性物質の拡散抑制																																																								
		1.12	可搬型大口径送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制																																																								
海を水源とした航空機燃料火災への消滅	1.12	可搬型大口径送水ポンプ車、放水砲及び混合液噴霧による航空機燃料火災への消滅																																																									
水ほうとう酸タンク対応手順	ほうとう酸タンクを水源とした発電用原子炉を未臨界にするための原子炉管部へのほうとう酸水注入	1.1	ほうとう酸水注入																																																								
格納容器再蓄電システム対応手順	格納容器再蓄電システムを水源とした再蓄電運転	1.4	余熱除去ポンプによる低圧再蓄電運転 高圧注入ポンプによる高圧再蓄電運転																																																								
	格納容器再蓄電システムを水源とした格納容器スプレインゾム再蓄電運転	1.6	格納容器スプレインゾムによる原子炉格納容器内へのスプレイン																																																								
	格納容器再蓄電システムを水源とした代替再蓄電運転	1.4	日一格納容器スプレインポンプ（0808-CSS連絡ライン使用）による代替再蓄電運転 可搬型大口径送水ポンプ車を用いたA一高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再蓄電運転																																																								
へ熱水料の取替対応用寸水補給ビット	可搬型大口径送水ポンプ車による燃料取替用寸水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																								
	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																								
	1次系補給水ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																								
	2次系補給水ポンプによる燃料取替用寸水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																								
水補給の補助水ポンプ対応手順	可搬型大口径送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																								
	2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p style="text-align: center;">水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（5/5）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1095 248 1541 272">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" data-bbox="1541 248 1946 272">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th data-bbox="1095 272 1182 292"></th> <th data-bbox="1182 272 1541 292"></th> <th data-bbox="1541 272 1592 292">番号</th> <th data-bbox="1592 272 1946 292">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1095 292 1182 408">水の補給水槽への対応手順</td> <td data-bbox="1182 292 1541 408">2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</td> <td data-bbox="1541 292 1592 408">1.13</td> <td data-bbox="1592 292 1946 408">本文文で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1095 408 1182 557">燃料補助給替用水ビレットへの切替</td> <td data-bbox="1182 408 1541 483">燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉容器への注水時の場合）</td> <td data-bbox="1541 408 1592 483">1.13</td> <td data-bbox="1592 408 1946 483">本文文で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1095 483 1182 557"></td> <td data-bbox="1182 483 1541 557">燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉格納容器内へのスプレイ時の場合）</td> <td data-bbox="1541 483 1592 557">1.13</td> <td data-bbox="1592 483 1946 557">本文文で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1095 557 1182 716">1次系純水タンクへの切替</td> <td data-bbox="1182 557 1541 716">燃料取替用水ビレットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替</td> <td data-bbox="1541 557 1592 716">1.13</td> <td data-bbox="1592 557 1946 716">本文文で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1095 716 1182 876">電動補助給水ポンプの切替</td> <td data-bbox="1182 716 1541 876">電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替</td> <td data-bbox="1541 716 1592 876">1.13</td> <td data-bbox="1592 716 1946 876">本文文で整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	手順名称	水の補給水槽への対応手順	2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	1.13	本文文で整備	燃料補助給替用水ビレットへの切替	燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文文で整備		燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉格納容器内へのスプレイ時の場合）	1.13	本文文で整備	1次系純水タンクへの切替	燃料取替用水ビレットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替	1.13	本文文で整備	電動補助給水ポンプの切替	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替	1.13	本文文で整備	<p>記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・各手段構成の相違による相違</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																												
		番号	手順名称																											
水の補給水槽への対応手順	2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	1.13	本文文で整備																											
燃料補助給替用水ビレットへの切替	燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文文で整備																											
	燃料取替用水ビレットから補助給水ビレットへの切替（原子炉格納容器内へのスプレイ時の場合）	1.13	本文文で整備																											
1次系純水タンクへの切替	燃料取替用水ビレットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替	1.13	本文文で整備																											
電動補助給水ポンプの切替	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替	1.13	本文文で整備																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉					泊発電所 3号炉					相違理由		
添付資料 1.13.11-(1)					添付資料 1.13.22-(1)							
各タンク等配置図及び仕様					各タンク等配置図及び仕様							
<p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）、炉心注水、格納容器スプレー及び使用済燃料ピットへの注水に使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>重大事故等時に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）、炉心注水、格納容器スプレー及び使用済燃料ピットへの注水・スプレーに使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>記載内容の相違 ・基準改正による相違 記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>設備の相違（相違理由④⑤）</p>		
No.	タンク等名称	容量	分類	用途	No.	タンク等名称	容量	分類	用途			
				SA時					通常時			
1	No. 2 淡水タンク※	8,000m ³	淡水	<ul style="list-style-type: none"> 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 復水ピット補給 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 消火水供給 淡水供給 	1	A-ろ過水タンク（3号炉）	約1,500m ³	淡水	<ul style="list-style-type: none"> 原水槽補給 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 消火水供給 淡水供給 	
2	No. 3 淡水タンク※			2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器注水 復水ピット補給 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 2次系補給水供給 使用済燃料ピット補給 	2	B-ろ過水タンク（3号炉）	約1,500m ³	淡水	<ul style="list-style-type: none"> 原水槽補給 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 消火水供給 淡水供給
3	A 2次系純水タンク	8,500m ³	2次系純水	No. 3 淡水タンク補給	2次系補給水供給	3	A-ろ過水タンク（1, 2号炉共用）	約1,500m ³	淡水	<ul style="list-style-type: none"> 原水槽補給 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 消火水供給 淡水供給 	
4	B 2次系純水タンク					2	B-ろ過水タンク（1, 2号炉共用）	約1,500m ³	淡水	<ul style="list-style-type: none"> 原水槽補給 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 消火水供給 淡水供給 	
5	3号炉 脱気器タンク	約600m ³	2次系純水	蒸気発生器注水	蒸気発生器注水	5	A-2次系純水タンク	約1,500m ³	2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器注水 補助給水ピット補給 原水槽補給 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 2次系補給水供給 使用済燃料ピット補給 	
6	4号炉 脱気器タンク					6	B-2次系純水タンク	約1,500m ³	2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器注水 補助給水ピット補給 原水槽補給 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 2次系補給水供給 使用済燃料ピット補給 	
7	A 1次系純水タンク	328m ³	1次系純水	炉心注水	原子炉補給水供給	7	脱気器タンク	約400m ³	2次系純水	蒸気発生器注水	蒸気発生器注水	
8	B 1次系純水タンク					8	1次系純水タンク	約300m ³	1次系純水	<ul style="list-style-type: none"> 炉心注水 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉補給水供給 燃料取替用水ピット補給 	
9	3号炉 Aほう酸タンク	約100m ³	ほう酸水	炉心注水	原子炉補給水供給	9	A-ほう酸タンク	約40m ³	ほう酸水	<ul style="list-style-type: none"> 炉心注水 燃料取替用水ピット補給 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉補給水供給 燃料取替用水ピット補給 	
10	3号炉 Bほう酸タンク					10	B-ほう酸タンク	約40m ³	ほう酸水	<ul style="list-style-type: none"> 炉心注水 燃料取替用水ピット補給 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉補給水供給 燃料取替用水ピット補給 	
11	4号炉 Aほう酸タンク					11	燃料取替用水ピット	約2,000m ³	ほう酸水	<ul style="list-style-type: none"> 炉心注水、代替炉心注水 格納容器スプレー、代替格納容器スプレー 	<ul style="list-style-type: none"> 炉心注水 格納容器スプレー 使用済燃料ピット補給 	
12	4号炉 Bほう酸タンク					12	補助給水ピット	約600m ³	2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器注水 補助給水ピット補給 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 	蒸気発生器注水	
13	3号炉 燃料取替用水ピット	約2,900m ³	ほう酸水	炉心注水、代替炉心注水	格納容器スプレー	使用済燃料ピット補給	13	A-原水槽	約5,000m ³	淡水	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器注水 補助給水ピット補給 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 使用済燃料ピットスプレー 	淡水供給
14	4号炉 燃料取替用水ピット	約2,100m ³					14	B-原水槽	約5,000m ³	淡水	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器注水 補助給水ピット補給 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 使用済燃料ピットスプレー 	淡水供給
15	3号炉 復水ピット	約1,200m ³	2次系純水	蒸気発生器注水	蒸気発生器注水	15	代替給水ピット	約473m ³	淡水	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器注水 補助給水ピット補給 代替炉心注水 代替格納容器スプレー 燃料取替用水ピット補給 使用済燃料ピット注水 使用済燃料ピットスプレー 	—	
16	4号炉 復水ピット											

※1号炉および2号炉建設時にNo.1～3 淡水タンクとして運用開始したが、その後、No.2, 3 淡水タンクを純水タンクとして使用することになり、新規制基準下の溢水対策として現在の運用としている。





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="168 175 862 734" style="border: 2px solid black; height: 350px; width: 310px; margin-bottom: 20px;"></div> <div data-bbox="324 821 705 853" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（2 / 4）</div> <div data-bbox="112 853 974 1284" style="border: 2px solid black; height: 270px; width: 385px;"></div> <div data-bbox="123 1284 571 1316" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="929 598 952 742" style="text-align: center; font-size: small;">添付資料 1.13.11-(2)</div> <div data-bbox="996 1252 1019 1412" style="text-align: center; font-size: small;">添付資料 1.13.11-(3)</div>	<div data-bbox="1780 135 1982 167" style="text-align: right; font-size: small;">添付資料1.13.22-(2)</div> <div data-bbox="1142 215 1870 694" style="border: 2px solid black; height: 300px; width: 325px; margin-bottom: 20px;"></div> <div data-bbox="1142 718 1870 1316" style="border: 2px solid black; height: 375px; width: 325px;"></div> <div data-bbox="1400 1380 1971 1412" style="border: 2px solid black; padding: 2px; font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	<div data-bbox="1993 399 2139 454" style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（3 / 4）</p>  <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(3)</p> 	
<p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（4 / 4）</p>  <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p style="text-align: center;">[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

添付資料 1.13.11-(4)

添付資料 1.13.11-(5)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉 添付資料 1.13.12-(1)	泊発電所 3号炉 添付資料 1.13.23-(1)	相違理由																																																											
<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）に使用する復水ビット及び炉心注水、格納容器スプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順の内、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。 また、復水ビット及び燃料取替用水ビットは、上部点検扉を開放し可搬型ホースを導く。</p>	<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等時に必要となる水の供給手順等のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）に使用する補助給水ビット及び炉心注水、格納容器スプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順のうち、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。 また、ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時は、アクセスドアを開放し消防ホースを導く。 原水タンク、代替給水ビット又は海水を用いた補助給水ビット又は燃料取替用水ビットへの補給時は、可搬型ホースを代替給水・注水配管接続口へ接続する。</p>	<p>記載内容の相違 ・基準改正による相違</p> <p>設備の相違 ・大飯3/4号炉は、No.2淡水タンク及び海水による補給は扉を開放して直接各ビットに補給する。 ・泊3号炉はろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時のみ扉を開放して直接補給するが、その他補給手順は、可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</p>																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No.2淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(2)</td> </tr> <tr> <td>海水を用いた復水ビットへの補給</td> <td>送水車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td>1.13.12-(3)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送水車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>ツイスター金具</td> <td>1.13.12-(5)</td> </tr> <tr> <td>No.2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(7)</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	No.2淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)	海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)		送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)	No.2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="4">1.13-7-(1) 1.13-17-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>ろ過水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="3">1.13-8-(1) 1.13-18-(1)</td> </tr> <tr> <td>2次蒸気タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="3">1.13-9-(1) 1.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">1.13-9-(1) 1.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>屋内消火栓と消防ホース接続</td> <td>ワンタッチ式</td> <td>1.13-16</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	原水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	原水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)	2次蒸気タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	ワンタッチ式	1.13-16
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																										
No.2淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)																																																										
海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)																																																										
	送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)																																																										
No.2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)																																																										
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																										
原水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)																																																										
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																											
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続																																																											
	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続																																																											
原水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)																																																										
	2次蒸気タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続																																																											
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続																																																											
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)																																																										
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																											
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続																																																											
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)																																																										
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車33m接続口接続	結合金具接続																																																											
ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	ワンタッチ式	1.13-16																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(2)</div> <div data-bbox="1093 263 1765 1273" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1809 478 1839 1042" style="text-align: center; font-size: small;"> 原水槽から補助給水ピット又は燃料取扱替用水ピットへの補給(1/2) </div> <div data-bbox="1877 284 1906 869" style="text-align: center; font-size: small;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2000 750 2136 798" style="color: red; font-size: small;"> 設備の相違（相違理由④⑥） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 818" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(3)</div> <div data-bbox="1182 300 1715 1385" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 20px auto;"></div> <div data-bbox="1765 512 1794 1070" style="text-align: center; font-size: small;"> 原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2) </div> <div data-bbox="1834 323 1863 810" style="text-align: center; font-size: small;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2000 751 2136 799" style="color: red; font-size: small;"> 設備の相違（相違理由④⑤） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 820" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 165" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(4)</div> <div data-bbox="1088 288 1827 1394" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1877 580 1906 1110" style="text-align: center; margin-top: 20px;">ろ過水タンク又は2次系純水タンクから原水槽への補給</div>	<div data-bbox="2002 754 2141 804" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 778 685 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(5)</div> <div data-bbox="1055 284 1794 1401" style="border: 2px solid black; height: 700px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1832 491 1868 1197" style="text-align: center;"> 代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2) </div> <div data-bbox="1910 363 1944 1002" style="text-align: center;"> <div data-bbox="1910 906 1944 1002" style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; display: inline-block; margin-right: 5px;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2002 767 2136 815" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 778 685 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1975 162" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(6)</div> <div data-bbox="1077 280 1816 1370" style="border: 2px solid black; height: 683px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1848 344 1928 1126" style="text-align: center; font-size: small;"> 代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2) 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<div data-bbox="2002 767 2136 815" style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; left: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);"> 可搬型ホース接続口配置図 No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給 </div> <div style="position: absolute; right: 5px; top: 50px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④）</p>